

市勢要覽

昭和 30 年(1955 年)版

広島市

2/2

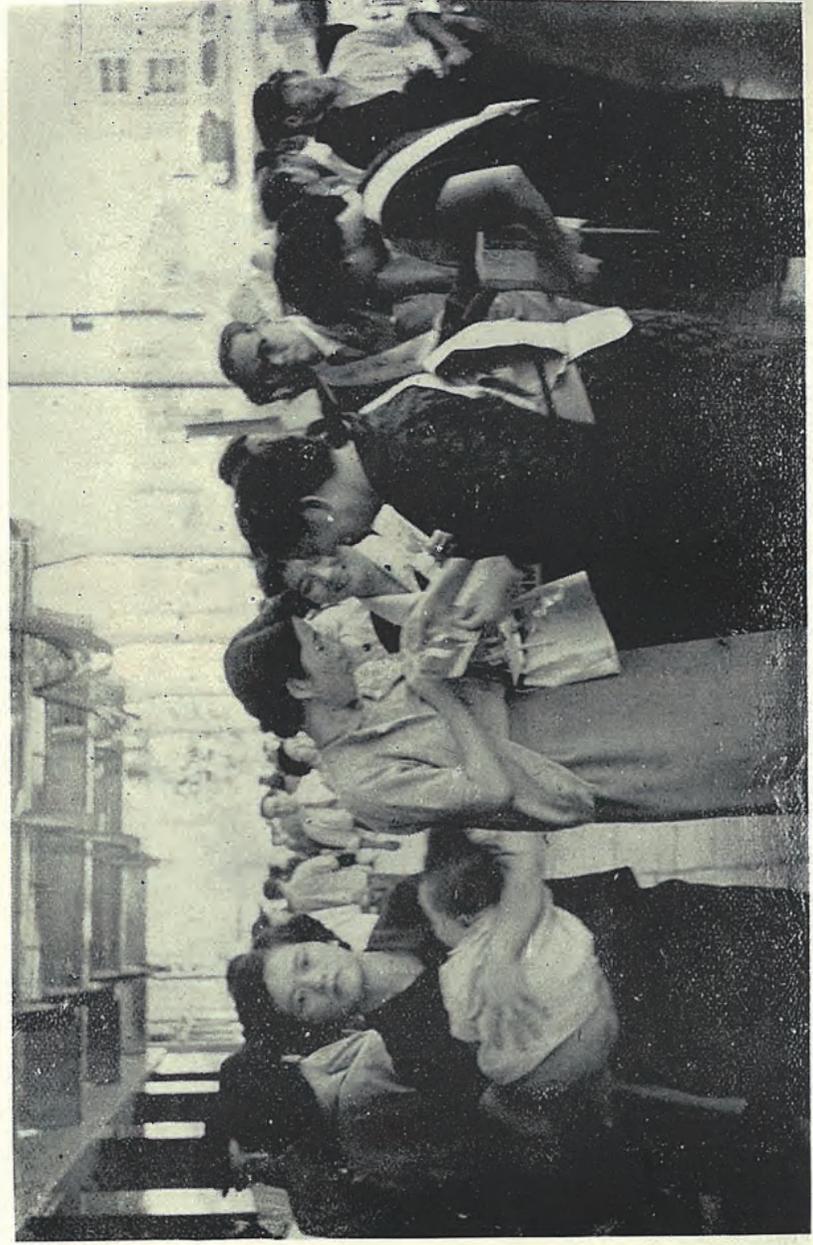
主要文化財

指 定 別	種 類	名 称	所 在 地	所 有 者	指 定 年 月 日
重 要 文 化 財 (国 指 定)	建 物	不 動 産 金 堂	牛 田 新 町 不 動 院	院	明 治 33. 4. 7
〃	彫 刻	木 造 薬 師 如 来 坐 像	〃	〃	大 正 6. 8. 13
〃	工 芸	銅 製 梵 鐘	〃	〃	明 治 32. 8. 1
名 勝 蹟	建 物	不 動 産 鐘 樓	〃	〃	昭 和 27. 1. 17
(国 指 定)	庭 園	縮 島 景 園	上 流 川 町	管 理 者 広 島 県	15. 7. 12
(国 指 定)	城 跡	広 島 城 跡	基 町	市	28. 3. 31
〃	家 跡	頼 山 陽 居 室 跡	袋 町	県	2. 9. 3
史 蹟	墓	頼 家 一 族 の 墓	比 治 山 本 町 多 聞 院	市	15. 2. 27
(県 指 定)	〃	植 田 良 背 の 墓	〃	〃	17. 6. 9
〃	〃	浅 野 長 晟 の 墓	小 町 国 泰 寺	〃	24. 8. 12
〃	〃	比 治 山 山 貝 の 塚	比 治 山 本 町	〃	25. 3. 22
天 然 記 念 物 (県 指 定)	木 塚	比 治 山 山 貝 の 黒 松	元 寇 軍 比 治 山 作 業 場 比 治 山 本 町 字 比 治 山	県 市	28. 8. 11

資料=広島市教育委員会

第12編 社会福祉

策士会館



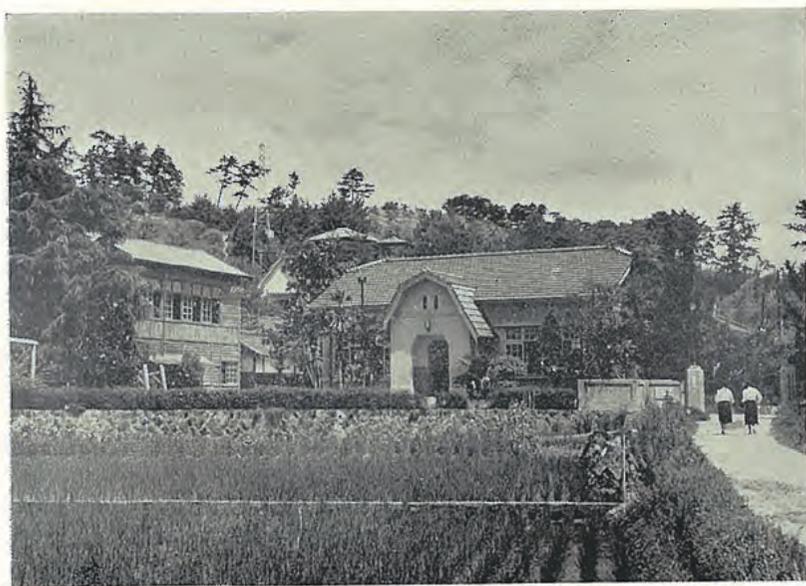
共同券金



喜 生 園 (佐伯郡観音村)



母 子 寮



戦 災 児 育 成 所 (佐伯郡五日市町)



移 動 保 育 園

種類別社会福祉施設一覽表

施設の種類	施設数			収容者数		
	総数	市営	民営	総数	市営	民営
保育所	42	19	23	3,134	1,388	1,746
養護施設	5	1	4	521	56	465
精神薄弱児施設	1	—	1	99	—	99
し体不自由児施設	1	※	1	75	※	75
母子寮	3	1	2	369	88	281
母子住宅	2	1	1	106	28	78
助産施設	1	1	—	(出産児)555	555	—
乳児院	2	1	1	40	22	18
養老施設	2	1	1	131	89	42
医療保護施設	4	1	3	553	32	521
身体障害者収容授産施設	1	1	—	14	14	—
隣保施設	2	2	—	—	—	—
診療施設	2	2	—	—	—	—
公益質屋	2	2	—	—	—	—

資料=厚生局社会課
備考 市営欄の※印は県営を示す。

児童福祉施設

保育施設

保育園	所在地	職員措置		保育園	所在地	職員措置	
		数	幼児数			数	幼児数
総数		170	3,134	已斐保育園	已斐上町	4	109
市営計		68	1,388	草津	草津東町	10	191
青崎保育園	仁保町向洋	3	62	江波	江波南町	3	101
仁保	淵崎	3	75	神崎	河原町	3	49
楠那	楠那	3	56	古田	古田町高須	3	39
大河	大河	3	79	竹屋	昭和町	4	54
元宇品	元宇品町	3	40	三篠	楠木町	3	48
基町	基町	4	114	こぼと	宇品町	4	70

保育園

遊戯 (桃太郎の鬼退治)



小山羊を囲む子供達



東隣保館保育園	尾長町	3	75	光明学園保育園	牛田町	3	69
西隣保館	福島町	3	86	法輪	南観音町	6	96
庚午	庚午北町	3	50	真和	横川町	5	85
わかくさ	若草町	3	35	和光園保育所	基町	4	76
南三篠	南三篠町	3	55	さくら寮	草津東町	2	46
民 営 計		102	1,746	微妙保育園	東雲町	5	63
宇品学園	宇品町	8	197	ゆりかご	大手町	8	103
曙光園	曙町	4	57	報恩	舟入幸町	3	60
天使園	楠木町	8	61	二葉	二葉の里	2	47
ひかり保育園	西天満町	4	69	中島	木挽町	4	66
みなみ愛児園	皆実町	3	76	Y.M.C.A	基町	4	35
知恩保育園	猫屋町	6	127	千田	千田町	4	58
若葉	東観音町	4	108	南観音	南観音町	3	50
ときは	牛田町	4	59	まこと	皆実町	5	88
京橋	比治山町	3	50				

資料=厚生局社会課

養護施設

養護施設	所在地	経営組織	職員数	収容者数					
				総数	6才未満	7~12	13~15	16~18	19~20
総 数	—	—	人	人	人	人	人	人	人
広島市戦災児育成所	佐伯郡五日市町	市 営	10	56	7	27	13	5	4
似島学園	似島町	民 営	31	206	11	96	61	36	2
新生学園	基 町	〃	15	83	21	21	17	20	4
広島修道院	若草町	〃	21	101	55	18	17	10	1
光の園	基 町	〃	18	75	19	33	16	7	—

資料=厚生局社会課

精神薄弱児及びし体不自由児施設

精神薄弱児及びし体不自由児施設	所在地	経営組織	職員数	収容者数					
				総数	6才未満	7~12	13~15	16~18	19~20
総 数	—	—	人	人	人	人	人	人	人
(精神薄弱児) 六方学園 (し体不自由児) 若草園	古田町高須	民 営	22	99	2	42	34	20	1
	尾長町	県 営	35	75	15	37	18	4	1

資料=厚生局社会課

母子寮及び母子住宅

母子寮及び母子住宅	所在地	経営組織	職員数	収容者数及び措置原因別世帯数					
				人員	世帯合計	引揚	戦災	戦没	その他
総 数	—	—	人	人	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯
広島市母子寮	基 町	市 営	5	88	29	3	4	6	16
広島市大芝母子住宅	大 芝 町	〃	3	28	11	1	1	6	3
和光園母子寮	基 町	民 営	5	192	58	10	19	12	17
さくら母子寮	草津東町	〃	6	89	26	5	6	4	11
広島市江波母子住宅	江 波 町	〃	1	78	24	3	7	10	4

資料=厚生局社会課

助産施設

助産施設	所在地	経営組織	職員数	昭和29年入院(外来)延人員	出産及び死産児数		
					計	出産	死産
広島市産院	宇品町	市 営	人	人	人	人	人
			15	4,829 (3,695)	618	555	63

資料=厚生局社会課

乳児施設

乳児施設	所在地	経営組織	職員数	措置原因別収容者数							
				総数	捨子	家庭の貧困	父または母の死亡	父または母の受刑	父または母の労働	家庭に障害のあるもの	その他
総数	—	—	人22	人40	人6	人5	人6	人4	人70	人5	人4
広島市乳児院	宇品町	市営	14	22	—	—	1	2	10	5	4
広島修道院附属 広島乳児院	若草町	民営	8	18	6	5	5	2	—	—	—

資料=厚生局社会課

生活保護施設

養老施設

養老施設	所在地	経営組織	職員数	収容者数			
				総数	10才未満	71~80	81~90
総数	—	—	人16	人137	人36	人57	人38
広島市喜生園	佐伯郡五日市町	市営	11	89	23	35	31
寿老園老人ホーム	尾長町	民営	5	42	13	22	7

資料=厚生局社会課

医療保護施設

医療保護施設	所在地	経営組織	職員数	収容者数				
				総数	30才未満	31~50	51~70	70才以上
総数	—	—	人774	人553	人236	人184	人88	人45
広島市保養院	宇品町	市営	14	32	—	1	15	16
比治山病院	東雲町	民営	3	24	3	11	9	1
静養院	安芸郡府中町	〃	61	393	165	148	52	28
同愛会病院	水主町	〃	36	104	68	24	12	—

資料=厚生局社会課

身体障害者授産施設

授産施設	所在地	経営組織	職員数	収容者数				
				総数	し自由者	不自由者	ろあ	う者
広島市身体障害者更生授産所	江波町	市営	人4	人14	人10	—	人3	人1

資料=厚生局社会課

隣保施設

隣保施設	所在地	経営組織	職員数	昭和29年中利用延人
総数	—	—	人6	人175,489
東隣保館	尾長町	市営	3	70,030
西隣保館	福島町	〃	3	105,459

資料=厚生局社会課

診療施設

診療施設	所在地	経営組織	職員数	昭和29年中延治療者数			
				総数	内科	小児科	その他
総数	—	—	人6	人11,359	人8,060	人1,421	人1,878
東診療所	尾長町	市営	3	4,886	3,341	624	921
西診療所	福島町	〃	3	6,473	4,719	797	957

資料=厚生局社会課

公益質屋

公益質屋	所在地	経営組織	職員数	昭和29年中における貸付及び弁済状況			
				貸付日数	貸付金額	弁済口数	弁済金額
総数	—	—	人2	口7,978	千円70,354	口6,402	千円8,403
東公益質屋	稲荷町	市営	1	4,351	5,833	3,412	4,535
西公益質屋	天満町	〃	1	3,627	4,521	2,990	3,868

資料=厚生局社会課

精神養子
施設別精神養子縁組

年次	総数	光の園	新生園	広島市 震災児 育成所	広島 修道院	似島 学園	六方 学園	ピースセン ター一 般孤 児
昭和25年末	202	10	24	71	40	57	1	—
26	263	15	33	72	40	102	1	—
27	383	15	69	76	40	131	3	49
28	409	17	62	72	44	142	3	69
29	340	16	42	41	41	110	3	87

資料=厚生局社会課

- 備考 1. 本表に示す精神養子縁組はすべて米国の篤志家との間に結ばれたものである。
2. 本表に示す精神養子縁組の外に「子供を守る会」の斡旋により国内において縁組した数は71組（一般家庭に預けられている孤児）である。
3. 昭和28年末現在に比べて本年未現在の縁組数が減少した原因は、関係孤児が就職等をして施設を退所したためである。

養育資金の送金状況

年次	総額	一般養育資金	特別指定資金
総額	円 12,089,074	円 10,763,678	円 1,325,396
昭和25年	2,874,100	2,195,081	679,019
26	2,036,089	1,978,697	57,392
27	2,509,150	2,430,416	78,734
28	2,645,771	2,387,507	258,264
29	2,023,964	1,771,977	251,987

資料=厚生局社会課

里親制度

里親に委託されている児童数

年次	里親 申込数	里親 登録数	児童を委託し ている里親数	里親に委託されている児童数		
				総数	男	女
昭和25年末	50	47	47	63	33	30
26	51	48	41	58	28	30

27	52	49	39	53	28	25
28	53	50	36	48	26	22
29	53	50	32	42	22	20

資料=広島県中央児童相談所

募 金

共同募金及び日赤募金の実績

募金の種類	目標額	募 金 額				目標額に 対する募 金実績
		総 額	街頭募金	戸別募金	特 別 寄 附 金	
共同募金	円 5,749,500	円 5,007,819	円 1,486,350	円 3,514,905	円 6,564	% 87.1
日赤募金	2,368,000	2,113,777	999,927	962,850	151,000	89.3

資料=厚生局社会課

備考 昭和29年度における取扱高

共同募金の配分状況

被配分施設及び 団 体	配分額	被配分施設及び 団 体	配分額	被配分施設及び 団 体	配分額
総 額	円 777,952	広島市連合未亡人会	円 20,000	広島地区保護司会	円 25,000
保育所(20カ所)	308,600	〃 民生委員連盟	80,352	尾長町協和会	10,000
広島市 遺族厚生連合会	18,000	〃 身体障害者 福祉協会	20,000	福島町一致協会	13,000
広島市保育連盟	13,000	〃 社会福祉協議会	200,000	広島衛生協会 総 連 合 会	10,000

資料=厚生局社会課

遺 族 援 護

遺族年金及び弔慰金の交付状況(昭和29年中)

区 分	請 求	交 付	不適当 による 却 下	未裁定
軍人、軍属の公務による死没	件 5,148	件 4,265	件 361	件 522
遺族年金	6,255	5,778	303	174
国民義勇隊、学徒の疎開作業中原爆 による死没	4,756	4,979	30	478
学徒、徴用工、女子挺身隊の公務に よる死没	750			

資料=厚生局社会課

生活保護

「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する……」（憲法第25条/項）。

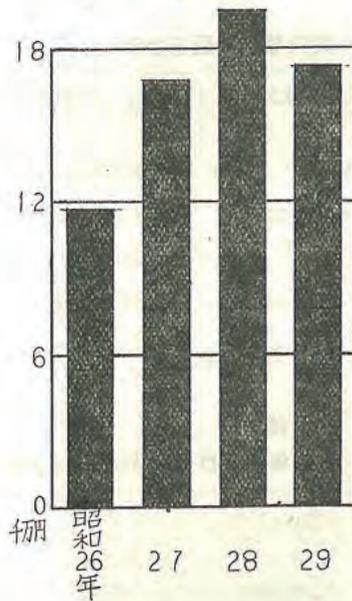
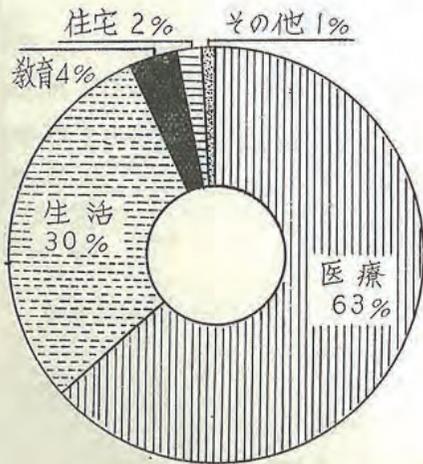
この憲法に記された条文の精神を忠実に保証することが社会福祉事業の使命である。

最近の傾向として国民全体の生活水準は、統計的に見ると確かに向上していることがうかがえるが、これはもちろん全体を平均してみた場合のことであつて、必ずしも国民一人一人の生活水準が向上し、生活が安定したとは考えられない。いつの時代においても不幸にして生まれながらに精神的あるいは肉体的に十字架を背負い、また、きびしい人生競争において落伍する者が多かれ少なかれているということは宿命的な社会現象であると思われる。それが戦後には戦争のもたらしたいろいろな原因も加わつて一層増加し、昭和29年末現在本市には約6千人の被保護者があり、これは市民総数の約1.7%にあたる数字で、戦前昭和11年頃の0.1%強に比べるとちょうど17倍に膨張している。

なお、この年/年間に支払われた保護費総額は約1億7,378万円（前年に比べ11%減少）で、そのうち医療保護費が63%にあたる約1億960万円を占めている。

年別保護費

保護種類別保護費
(昭和29年)



被保護世帯及び人員の推移 (昭和29年)

月別	生活扶助		住宅扶助		教育扶助		医療扶助		その他		実数	
	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員
1月	2,051	6,047	859	2,831	956	1,951	1,734	2,175	16	21	2,970	7,133
2	2,030	6,038	837	2,826	956	1,949	1,687	2,166	15	15	2,975	7,126
3	1,882	5,749	787	2,701	924	2,006	1,437	2,075	31	60	2,830	6,865
4	1,887	5,326	795	2,507	832	1,928	1,534	2,004	27	56	2,759	6,441
5	1,865	4,713	792	2,290	833	1,597	1,500	1,761	26	58	2,761	5,885
6	1,819	4,799	765	2,326	826	1,625	1,457	1,731	35	64	2,764	5,912
7	1,924	4,769	790	2,216	831	1,621	1,478	1,653	10	10	2,731	5,856
8	1,905	4,790	816	2,245	836	1,613	1,518	1,678	17	17	2,760	5,886
9	1,867	4,786	831	2,303	881	1,607	1,566	1,735	16	16	2,736	5,868
10	1,799	4,479	834	2,221	794	1,545	1,392	1,640	15	15	2,600	5,530
11	1,827	4,606	808	2,297	813	1,583	1,426	1,690	8	8	2,619	5,643
12	1,861	4,667	817	2,379	831	1,603	1,539	1,779	21	21	2,640	5,731

資料=広島市福祉事務所

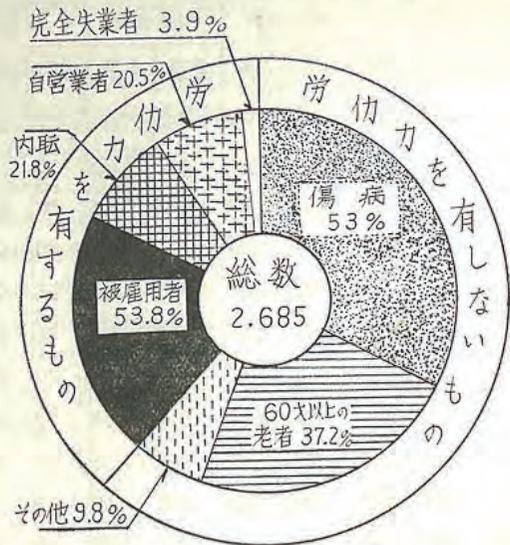
備考 世帯、人員欄の数字は、月末現在を表わす。

被保護世帯の世帯主の状態

年次	総数	労働力を有する場合								労働力を有しない場合				
		小計		被雇用者				内職者	完全失業者	小計	60才以上者	傷病者	その他	
		自営業者	農業者	常雇	日雇	農業者	非農業者							
昭和28年末	3,389	1,579	41	272	3	470	12	353	357	71	1,810	699	919	192
29	2,685	1,028	28	183	11	239	12	291	224	40	1,657	616	879	162

資料=広島市福祉事務所

被保護世帯世帯主の労働力状態



保護種別別世帯、人員及び保護費

区分	年次	総数	医療	生活	教育	住宅	その他
(世帯)	昭和26年	72,672	18,784	27,332	15,195	11,099	262
	27	75,191	17,123	29,959	13,911	14,070	128
	28	73,099	21,761	27,847	12,503	10,856	132
世帯数	29	67,266	18,268	22,717	10,313	9,731	237
	昭和26年	155,214	19,344	76,073	30,144	29,391	262
	27	160,839	18,050	80,799	28,553	33,309	128
人員	28	148,869	23,564	70,537	23,809	30,827	132
	29	132,993	22,093	60,769	20,628	29,142	361
	昭和26年	117,227	67,888	42,689	5,153	1,005	491
保護費	27	168,597	106,361	51,123	8,246	2,376	491
	28	195,217	130,331	53,244	7,931	3,245	466
	29	173,777	109,596	52,417	7,238	4,066	460

資料=広島市福祉事務所

備考 1. 世帯、人員は昭和26年~28年までは月現在数の合計を示し、昭和29年は月末現在数の合計を示す。
2. 保護費は1,000円未満は4捨5入しているので総数に合致しないこともある。

身体障害者保護件数

区分	総数	身体障害	視力障害	聴力障害	言語障害
身体障害者手帳交付数	1,760	991	465	291	13
運賃割引証交付数	2,762	1,138	620	391	13
総数	2,779	1,217	461	496	5
更生指導	426	284	58	83	1
職業指導	100	75	10	14	1
租税問題	71	3	2	6	—
指 導	167	70	60	37	—
補装具等給付	6	5	1	—	—
施設入所	2	1	—	1	—
専売品販売	2	1	—	1	—
その他	1,467	779	330	355	3

資料=広島市福祉事務所

行旅病人・死亡者及び困窮者

年次	病 人					死 亡 者			困 窮 者	
	新救護人員	処 置				総数	変死	その他	人員	一時扶助費支給額
		総数	解放	死亡	引渡					
昭和25年	89	65	51	14	—	30	14	16	—	—
26	48	57	50	7	—	38	16	22	—	—
27	38	50	41	9	—	15	9	6	—	—
28	61	55	42	10	3	25	12	13	778	88,130
29	57	72	39	15	18	13	11	2	928	59,330

資料=広島市福祉事務所

備考 1. 病人欄で新救護人員より処置人員が多いのは前年よりの越人員があるためである。
2. 昭和29年のみは4月~12月までの数字である。

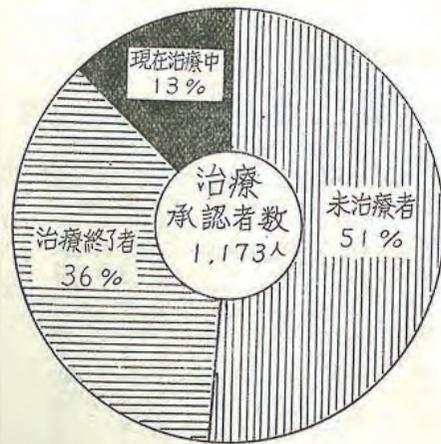
原爆障害者

この年の2月から5月にかけて実施された原爆障害者の実態調査によると、その数は完全に調査は掘された者だけでも約3,700人の多くに上っている。これはもちろん広島市内のみについて調査された数であるから、広島に次ぐ被災都市長崎市をはじめ全国各地には相当数の原爆障害者がいることは容易にうなずくことができる。そして、これら障害者の大多数は治療費の負担に苦しい生活を迫られ、また、中には療養のかいもなく死亡するものがあとを断たない状況で、本市ではこの1年間だけでも約20名近くの人が原爆後遺症のために死亡している。

この間にあつて世論はようやく原爆障害者の救済問題に向けられ、本市では昭和28年1月に広島市医師会等を中心に「原爆障害者治療対策協議会」(略称「原対協」)が結成され障害者の治療救済に当ることになった。

しかし、前記の通り市内だけでも約3,700人の障害者がいるため、全員の治療費を負担することは資金が十分に確立していない原対協としての最も大きな悩みである。したがつて、原対協としては障害者全員について厳密な診査を行い、とりあえず別表の通り早急に治療をしなければならないものを治療希望者の中から選定して極力治療の促進に努めているが、前述の通り財政的に裏付けのないことは今後の運営がはなはだ憂慮されるので、この問題は国家的な社会問題として緊急に解決されることが強く関係者の間で要望されている。

原爆障害者治療状況



障害者の実態調査

性 別	調査対象人員	内 訳		
		完 全 調 査	死 亡	調 査 困 難
総 数	4,435人	3,703人	87人	645人
男	1,966	1,610	54	302
女	2,469	2,093	33	343

資料=原爆障害者治療対策協議会

備考 1. 本表の中に死亡とあるのは、昭和29年2月～5月までの実態調査の際既に死亡しているため調査不能であつたものを示す。
2. 調査困難とは、転居あるいは不在その他により完全調査のできなかったものを示す。

治療承認者数

科 目	総 数	合同診察会によるもの	随時診察会によるもの
総 数	1,173人	637人	536人
内 科	664	369	295
外 科	421	249	172
眼 科	85	19	66
そ の 他	3	—	3

資料=原爆障害者治療対策協議会

治療状況

科 別	治療承認患者数	現在治療中の患者数	現在治療中の入院患者数	治療終了者数	未治療者数
総 数	1,173人	146人	23人	425人	602人
内 科	664	131	16	243	290
外 科	421	11	5	145	265
眼 科	85	4	2	36	45
そ の 他	3	—	—	1	2

資料=原爆障害者治療対策協議会

地区別社会福祉協議会一覧表

地区	会長名	事務所所在地	地区	会長名	事務所所在地
三	篠 西川 文二	市役所 篠出張所	福島南三篠	福原 苗次	西隣保館 市役所
観	音 田頭 新太郎	観音	荒 神	象面 軍蔵	市役所 段原出張所
江	波 佐藤 進	江波町 520 (山科辰司方)	基 町	角 和雄	基町
比	治 山 波多野 秀雄	市役所 比治山出張所	古 田	前 理一	己斐
皆	夷 岩岡 覚	皆夷	国 泰 寺	新田 行太	小町(新田方)
竹	屋 大下 直平	平塚元町 (大下方)	天満・中広	鬼武 国男	西天満町 (鬼武方)
段	原 森下 泉	市役所 段原出張所	牛 田	任都栗 司	市役所 牛田出張所
大	河 村上 安恵	大河	千 田	宮本 福松	市役所 千田3丁目 (宮本方)
己	斐 外川 秀雄	己斐	本 川	原田 清蔵	市役所 十日市出張所
広	瀬 辻本 喜作	十日市	仁 保	津村 教一	仁保町(津村方)
草	津 森沢 雄三	草津	中 島	関根 竜雄	木挽町(関根方)
白	島 森弘 助治	基町	青 崎	国枝 三代一	仁保町(国枝方)
尾	長 和田 実	尾長	舟 入	大内 義直	舟入川口町 (大内方)
轍	町 角田 俊次郎	基町	宇 品	光谷 久一	市役所 宇品出張所

資料=厚生局社会課

備考 現在未結成地区は神崎地区のみであるが、近く結成される予定である。

地区別民生委員協議会一覧表

民生区	民生委員定数	会長名	民生区	民生委員定数	会長名
牛向尾荒段比仁大竹千基皆轍白	12 13 22 12 18 22 7 14 11 13 12 19 13 10	武能 和伊 森松 吉村 升宮 三高 鍋丸 田勢 田藤 下本 岡上 島本 宅橋 島橋 友 新 斯哲 ヤ 戸福 高勇 廉貴 悟子 実一 泉白 郎エ 一松 二雄 平右	国十字中神江福天舟観三古己草 泰日	14 9 32 12 9 12 15 8 8 20 20 8 11 13	寺市品島崎波島満入音篠田斐津 新原竹村藤山音田音奥佐藤升新 田田本田井村藤川藤田木木川田 行清利ま平辰貫以智 修 善秀 龍 大蔵夫き一司一人好一亮一雄延

資料=広島市福祉事務所

第13編 保健衛生

策 劃 對 策 主 軸

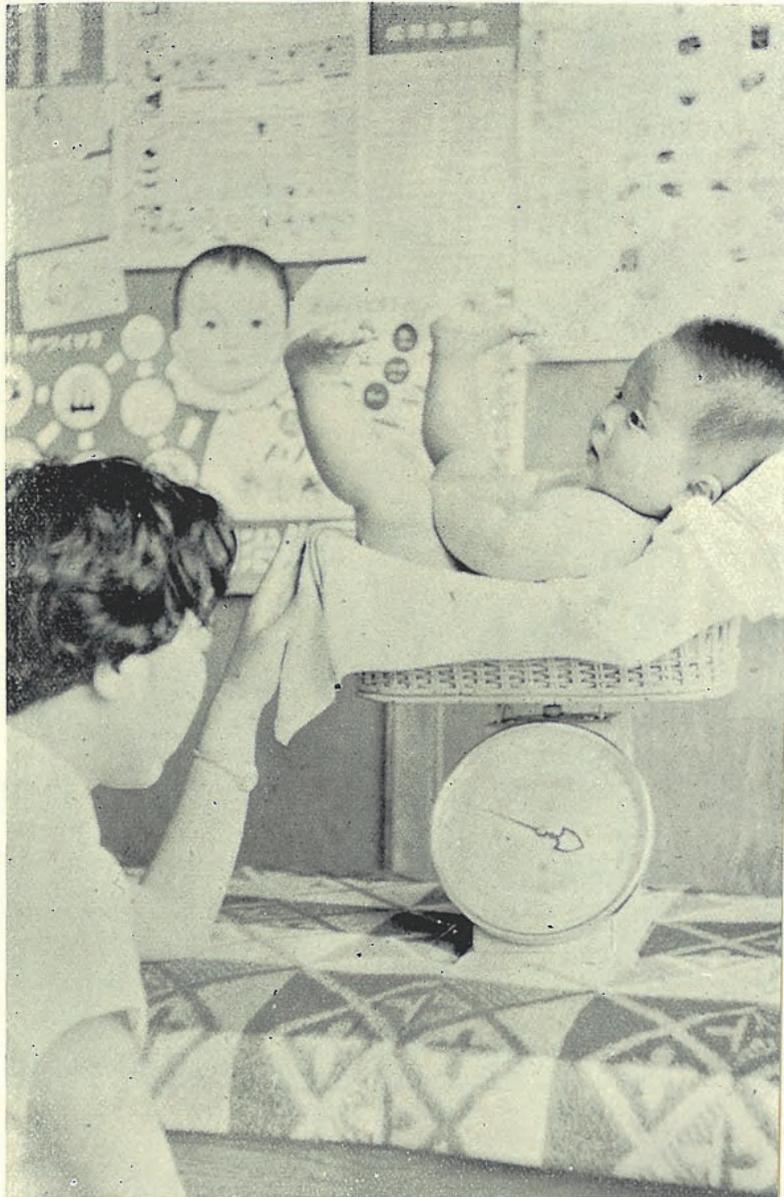
一、	二、	三、	四、	五、	六、	七、	八、	九、	十、
...

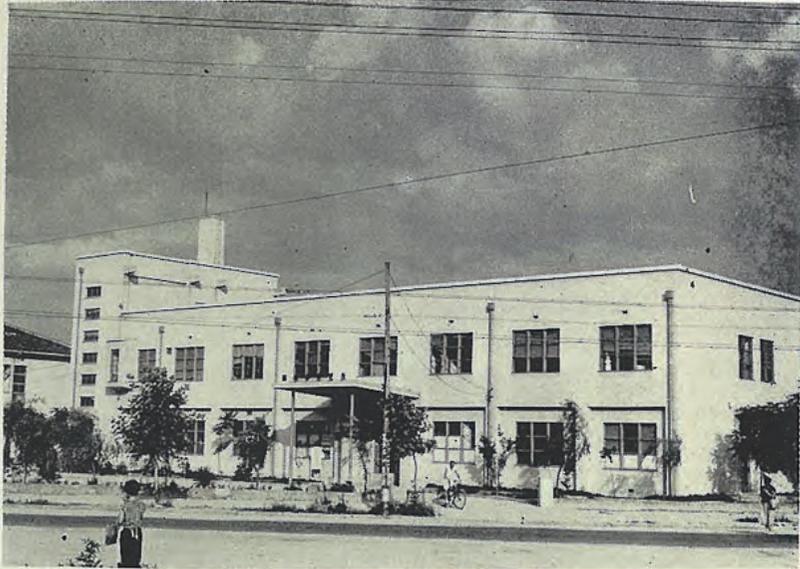
資料一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

地區別民生委員會綜合一覽表

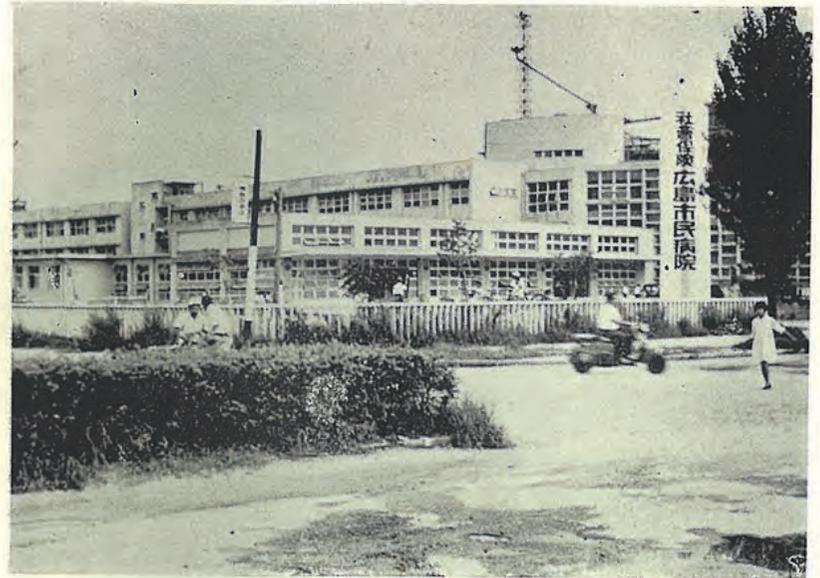
地區	民生委員會	委員數	委員姓名	委員職稱	委員住址
...

乳兒の健康診断





広島市東保健所



社会保険広島市民病院



広島市西保健所



市立舟入病院伝染病患者隔離病棟

概 況

文化的な生活は、色々な要素がこん然一体となつて完備されたときに始めて実現するもので、その中にあつて最も重要なことは各個人の健康が終始維持されておらなければならないことである。また、そのためには周囲の環境が清潔で健康でなければ、個人の健康は長い年月の間維持することはむずかしくなる。こんにち、保健衛生に関する思想は市民の間に広く浸透し、認識が高まりつつあるが、市としても市民の健康管理機関である保健所関係施設の充実強化を図るとともに、各地区の関係諸団体との連携を密にして、環境衛生の改善には特別の注意と努力を払い漸次実績を上げているところである。

戦後出生数は人工妊娠中絶の増加、受胎調節の普及、あるいは婚姻の減少等により年々減少していく傾向にある。昭和29年の1年間の出生数は総数5,845人(1日平均16人)を数え出生率(人口1,000人に対する割合)は17.6で前年比べて出生数は455人、出生率は10.7%も減少した。また、これを昭和24年に比べると出生率は43.3%と大幅に減少している。死亡率は、出生率のように顕著ではないが同様に逐年低下している。すなわち、昭和29年の死亡総数は2,320人でその死亡率は7.0であつた。この死亡率は昭和24年に比べると20.5%前年と比較すれば2.8%の減少で、減少原因の最近の特徴として乳児死亡並びに青年層における結核死亡の減少が挙げられる。死産数は戦後人工妊娠中絶が行われるようになってから全国的に増加しており、昭和29年中における本市の死産率(出産1,000人に対する割合)は162.6でこれは昭和24年の95.5に比べると70.0%の増加を示している。

次に伝染病、結核、性病等の発生状況をながめてみると、まず伝染病のうち届出伝染病は別として法定伝染病特に赤痢患者はここ数年來漸増の傾向にある。昭和29年の法定伝染病患者発生総数は595人(うち死亡43人)でその約80%までは赤痢(疫痢を含む)である。結核は近時届出の上では減少し、昭和29年の発生数は1,895人(前年に比し約16%減)で青年層の減少が特に目立っている。性病患者の発生も届出の上では漸減傾向にあるが、その主な原因は男性の届出数がへつたため、これは病気に感染しても医師にかからなかつたり、あるいは届出もれのためかと思われる。なお、昭和29年8月27日市内において狂犬病が発生して市民を恐怖の淵に追いやつたが、幸い以後の発生もみず、また、人的被害もことなきを得た。市としてはこれを契機に市民に対し狂犬病の恐ろしさを再認識させて協力を求めるとともに、野犬等の取締りを強化して狂犬病撲滅のために徹底的な対策を講じている。

医 療 施 設

医療関係施設数

年 次	病院	診療所	歯科診療所	薬局	医薬品販売業者	助産所	施術所	理容所	美容所
昭和26年	43	283	151	125	278	163	307	343	192
27	44	287	151	135	390	73	297	366	221
28	46	221	119	145	464	174	240	472	324



食 肉 検 査 (広島市と畜場)

29	49	300	157	160	326	180	363	427	295
東保健所管内	38	212	107	114	294	130	265	293	190
西保健所管内	11	88	50	46	32	50	98	134	105

資料=広島市東・西保健所

医療関係施設従事者数

年次	医師	歯科医師	薬剤師	保健婦	助産婦	看護婦	レントゲン技術者	栄養士	医療類似行為者	理容師	美容師
昭和26年	493	174	277	109	962	524	62	21	307	688	418
27	517	191	300	123	545	1,121	82	31	405	782	578
28	527	150	307	127	508	1,350	75	111	370	989	745
29	764	284	344	125	523	1,267	80	185	386	934	788
東保健所管内	520	194	245	107	389	970	60	163	265	658	496
西保健所管内	244	90	99	18	134	291	20	22	121	276	292

資料=広島市東・西保健所

経営組織別病院数及び病床数

年次及び経営組織	病院数	病床総数	普通病床	伝染病床	結核病床	精神病床
昭和28年	46	2,685	1,779	91	774	41
29	49	3,008	1,822	83	1,042	61
国立	4	513	297	5	211	—
県立	3	445	213	—	232	—
市立	4	347	173	78	96	—
法人立	6	521	405	—	116	—
社会保険団体	1	242	—	—	242	—
会社附属	3	108	63	—	45	—
個人立	28	832	671	—	100	61

資料=広島市東・西保健所

衛生教育

衛生教育並びに広報活動実施状況

保健所	講演会	講習会	映画会	展示会	広報車によるもの	広報紙掲載	新開場	ラジオ放送	資料貸出	印刷物配付
東保健所	95	84	92	7	17	17	46	36	73	種類
西保健所	38	36	35	5	8	3	6	3	32	8

資料=広島市東・西保健所

清掃事業

清掃作業員及び施設状況

年次及び事業	作業員	貨物自動車	真空式ポンプ自動車三輪車	ダンプカー自動車三輪車	普通自動車三輪車	船舶
昭和28年末	人 89	台 5	台 1	台 1	台 22	隻 5
29	141	6	2	7	23	7
じんかい処理	104	5	—	1	18	4
し尿処理	37	1	2	—	5	3

資料=厚生局衛生課

備考 船舶7隻のうち2隻は借船である。

清掃作業実施状況

年次	じんかい				し尿		
	しゅう集延人員	しゅう集延戸数	搬出量	しゅう集対象世帯	しゅう集延人員	しゅう集延戸数	搬出量
昭和26年	12,574	193,942	1,629,388	61,160	688	1,629	3,288
27	18,141	1,601,431	2,393,210	73,590	2,423	5,632	10,737
28	20,696	1,730,910	3,290,476	76,472	2,913	2,018	16,751
29	15,026	1,644,364	2,998,905	80,472	2,811	9,706	23,750

資料=厚生局衛生課

備考 昭和26年分は8~12月までの期間。

環境衛生

環境衛生の指導並びに活動状況

保健所	説明会	戸別指導	はえ、蚊駆除のための殺虫剤撒布						無償配布の殺鼠剤による一斉駆除	浸水家屋汚毒
			社会事業施設	公衆便所	下水沼沢池	ごみ集積場	町内一斉撒布	カ所		
東保健所	カ所 75	戸 34,111	カ所 171	カ所 288	カ所 5,704	カ所 5,469	カ所 335	カ所 96	戸 2,411	
西保健所	82	8,584	218	76	2,233	6,524	203	26	2,550	

資料=広島市東・西保健所

環境衛生関係施設の指導並びに監視状況

保健所	区分	総数	旅館	興行場	公衆浴場	理容所	美容所	クリーニング業	浄化槽
東保健所	対象施設数	1,674	421	25	58	285	180	99	546
	指導監視延件数	3,849	1,402	127	350	585	456	263	666
西保健所	対象施設数	444	81	12	29	134	105	33	50
	指導監視延件数	1,830	420	120	270	302	243	225	250

資料=広島市東・西保健所

食品衛生

食品衛生監視状況

保健所	区分	営業者数	監視件数
東保健所	許可対象営業	2,620人	7,134件
	許可対象外営業	5,146	4,887
西保健所	許可対象営業	1,030	5,741
	許可対象外営業	2,049	3,352

資料=広島市東・西保健所

食品業種別営業店舗数 (許可現在数)

保健所	総数	飲食店	喫茶店	氷菓製造業	食肉販売業	魚介販売業	氷雪販売業
東保健所	2,388	1,551	361	107	102	194	73
西保健所	528	169	214	22	31	82	10

資料=広島市東・西保健所

伝染病

届出伝染病患者発生及び死亡数

年次	総数	ましん	百日咳	インフルエンザ	急性灰白髄炎	破傷風	肺炎	トラコマ	その他
昭和26年	2,692 (726)	774 (16)	419 (2)	— (—)	8 (—)	5 (—)	238 (108)	1,246 (—)	2 (—)
27	1,581 (734)	159 (3)	393 (2)	— (1)	40 (—)	3 (3)	360 (125)	612 (—)	14 (—)
28	1,681 (179)	792 (18)	204 (3)	12 (8)	18 (1)	7 (6)	227 (141)	415 (—)	6 (2)
29	554 (87)	72 (3)	144 (—)	2 (—)	10 (1)	4 (5)	68 (72)	252 (—)	2 (—)

資料=広島市東・西保健所

- 備考 1. 肺炎は昭和29年6月より届出伝染病より除かれた。
 2. 「その他」の中には、伝染性下痢症、食中毒、産じよく熱が含まれている。
 3. () 内は死亡者数を示す。

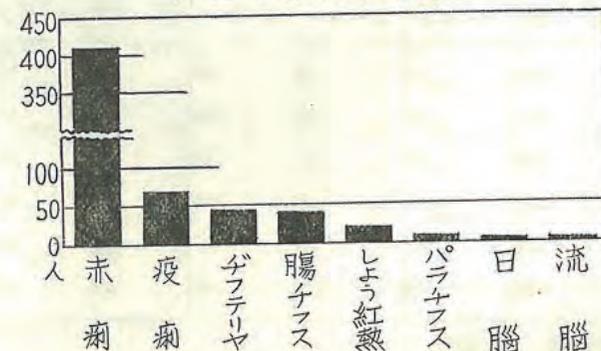
法定伝染病患者発生及び死亡数

年次	総数	赤痢	疫痢	腸チフス	パラチフス	しょう紅熱	デブテリヤ	日本脳炎	流行性脳炎
昭和26年	324 (56)	148 (5)	59 (27)	31 (5)	19 (4)	21 (1)	32 (7)	7 (4)	7 (3)
27	448 (42)	268 (3)	74 (29)	28 (3)	8 (—)	8 (—)	47 (2)	11 (4)	4 (1)
28	488 (47)	301 (3)	67 (29)	49 (1)	12 (1)	11 (—)	39 (2)	5 (5)	4 (1)
29	595 (43)	408 (5)	69 (31)	40 (3)	7 (1)	22 (—)	45 (2)	2 (1)	2 (—)

資料=広島市東・西保健所

備考 () 内は死亡者数を示す。

法定伝染病発生数



予防接種実施状況

年次	腸・パラチフス	百日咳	ジフテリヤ	種痘
昭和26年	90,039	8,247	12,829	12,190
27	84,917	9,509	15,308	11,117
28	113,790	8,857	19,544	16,443
29	91,426	15,412	23,195	15,878

資料=広島市東・西保健所

結核

結核患者発生数

年次	総数	0~9才	10~19才	20~29才	30~39才	40~49才	50才以上
昭和23年	3,596	—	—	—	—	—	—
24	3,837	196	503	1,760	802	323	253
25	3,204	180	322	1,395	788	316	203
26	3,078	219	334	1,301	654	293	217
27	2,499	233	266	962	578	238	222
28	2,253	196	262	837	508	234	216
29	1,895	179	182	615	435	249	235

資料=広島市東・西保健所

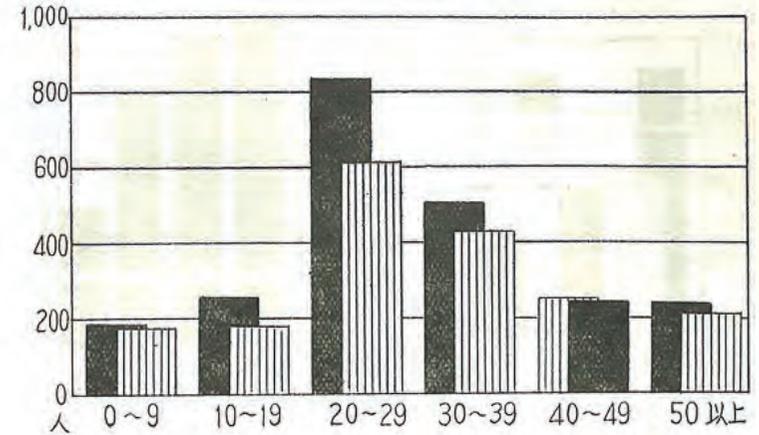
備考 昭和24年の50才以上の中には年齢不詳のもの35人が含まれている。

結核患者死亡数

年次	総数	0~9才	10~19才	20~29才	30~39才	40~49才	50才以上
昭和24年	350	49	24	108	75	52	42
25	337	38	16	107	72	41	57
26	333	25	21	91	59	48	89
27	247	21	6	66	53	46	49
28	220	19	13	47	40	34	67
29	204	18	8	42	49	30	57

資料=広島市東・西保健所

年齢別結核患者発生数



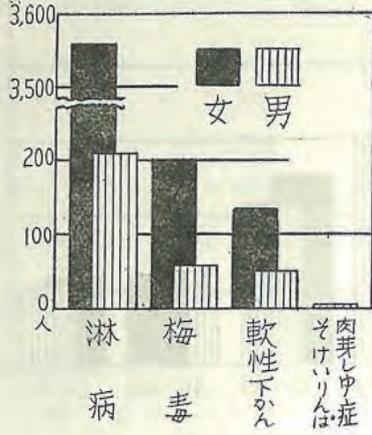
性病

病種別性病患者届出数

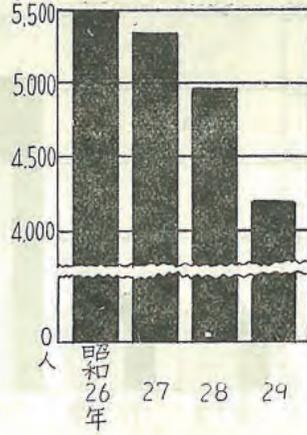
年次及び年齢	総数		梅毒		淋病		軟下性		その他		
	計	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
昭和26年	5,499	1,075	4,424	229	222	678	4,108	168	94	—	—
27	5,363	664	4,699	121	81	455	4,520	88	98	—	—
28	4,964	482	4,482	57	53	298	4,230	127	199	—	—
29	4,227	376	3,905	54	204	211	3,564	49	137	2	—
0~9才	7	5	2	5	1	—	1	—	—	—	—
10~14才	19	10	9	10	7	—	—	—	2	—	—
15~19才	517	20	497	3	14	10	461	7	22	—	—
20~24才	2,356	99	2,257	10	84	68	2,083	20	90	1	—
25~29才	1,024	81	943	7	66	60	856	14	21	—	—
30~34才	179	30	149	3	15	23	133	4	1	—	—
35~39才	45	21	24	1	4	19	19	1	1	—	—
40~49才	47	30	17	8	7	19	10	2	—	1	—
50才以上	27	20	7	7	6	12	1	1	—	—	—

資料=広島市東・西保健所

病種別性病患者届出数



年次別性病患者届出数



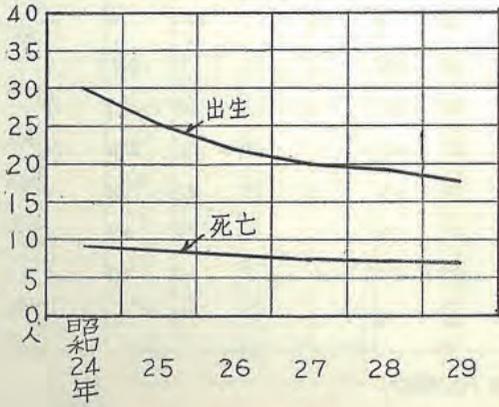
狂犬病

狂犬病予防並びに取締状況

年次	登録頭数	予防注射 実施頭数	捕獲並びに処分状況			人的被害	
			捕獲	返還	処分	被害 届出数	加害犬 の検査
昭和26年	6,692	8,056	3,082	709	2,458	226	—
27	6,250	8,002	5,067	1,044	3,821	403	—
28	7,802	11,821	6,950	2,549	4,233	712	428
29	11,293	17,672	12,686	3,864	5,876	886	646

資料—広島市東保健所

年別出生及び死亡率



人口動態
出生死亡による人口動態

年月	出生数		死亡数		産		婚姻		人口1,000人につき	
	男	女	男	女	男	女	件	件	出生	死亡
昭和22年	3,366	3,053	2,340	1,080	—	—	3/8	2,787	28.9	10.5
23	3,532	3,340	2,139	1,982	—	—	298	3,190	27.8	8.8
24	4,169	3,934	2,307	1,089	368	—	342	2,972	30.1	8.8
25	3,648	3,456	2,310	1,213	371	—	425	2,437	25.4	8.3
26	3,388	3,095	2,386	1,091	383	—	423	2,343	22.1	8.1
27	3,140	2,965	2,205	1,058	434	—	449	2,357	20.0	7.2
28	3,333	2,967	2,297	1,021	462	—	445	2,371	19.7	7.2
29	3,083	2,762	2,320	1,037	488	—	516	2,536	17.6	7.0
1月	317	281	218	98	45	5	41	185	—	—
2	267	258	211	98	38	8	32	204	—	—
3	281	257	231	104	59	10	47	238	—	—
4	236	230	198	90	28	9	45	257	—	—
5	219	211	171	78	48	9	37	220	—	—
6	237	189	165	75	36	4	45	220	—	—
7	272	260	158	66	55	4	52	187	—	—
8	299	249	198	87	48	7	47	134	—	—
9	231	202	171	69	51	5	43	162	—	—
10	232	205	203	91	50	3	29	190	—	—
11	247	211	197	86	57	1	47	254	—	—
12	245	214	199	95	49	8	51	285	—	—

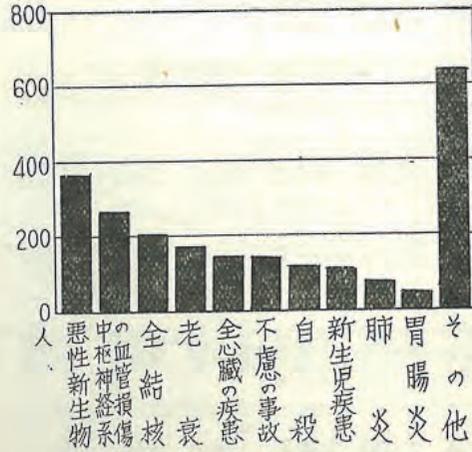
資料—広島市東・西保健所
備考—広島市内で発生した日本人のみの動態である。

原因別死亡者数

主要死因	昭和29年		昭和28年		昭和27年	
	死亡者数	百分比	死亡者数	百分比	死亡者数	百分比
総数	2,320	100.0	2,297	100.0	2,205	100.0
悪性新生物	369	15.9	299	13.0	281	12.7
中枢神経系の血管損傷	274	11.8	261	11.4	262	11.9
全結核	204	8.8	220	9.6	241	10.9
老衰	178	7.7	162	7.1	138	6.3
全臓の疾患	154	6.6	152	6.6	137	6.2
不慮の事故	153	6.6	147	6.4	134	6.1
自殺	114	4.9	90	3.9	63	2.9
新生児疾患	106	4.6	105	4.6	127	5.8
肺炎(新生児肺炎を除く)	78	3.4	127	5.5	98	4.4
胃炎、十二指腸炎、腸炎及び大腸炎	49	2.1	74	3.2	80	3.6
その他	641	27.6	660	28.7	644	29.2

資料—広島市東・西保健所

原因別死亡者数



年齢別死亡者数

年次	総数	0才~4才	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85才以上
昭和25年	2,310	458	68	30	63	125	113	86	85	77	125	120	145	144	181	174	140	108	68
26	2,386	422	55	32	65	100	115	78	96	112	121	145	181	165	211	162	162	108	78
27	2,205	383	58	26	38	84	98	82	91	93	113	108	152	172	206	165	120	69	69
28	2,295	352	56	25	49	98	79	90	74	103	108	122	147	167	227	222	121	78	78
29	2,320	799	59	28	38	111	113	83	87	99	100	147	162	154	230	204	120	93	93
男	1,283	174	40	16	27	71	57	46	47	58	59	86	113	86	120	98	45	26	26
女	1,037	125	19	12	11	40	56	37	40	41	41	61	49	68	110	106	75	67	67

資料—広島市東・西保健所
備考 昭和25年の85才以上の中には、年齢不詳のもの10人、同じく26年には16人が含まれている。

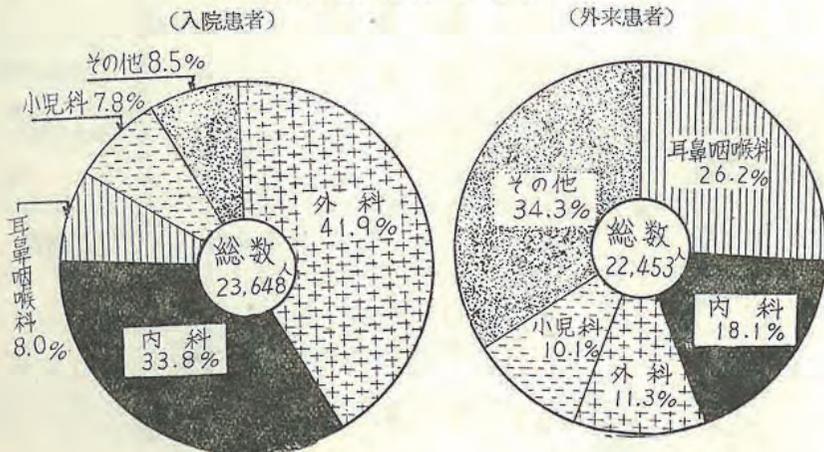
社会保険広島市民病院

市民病院は、昭和27年6月一応の関係施設の完成をみて、同年8月5日とりあえず内科、外科、小児科、産婦人科の4科をもつて開院し、その後病棟の増設、看護婦宿舎、あるいは食堂・売店等の附属施設も漸次整備され、また医療器具その他の調度品も追々充実が図られ、昭和28年には耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、歯科の4科が新しく開設され、さらに昭和29年に入つて皮膚泌尿器科が設置されるなど、一大総合病院としての設備を整え、その運営はいよいよ本格的軌道に乗つてきた。

このために利用患者は日毎に増加し、昭和29年の1年間の利用患者は別表の通り外来延患者数124,130人（前年の79%増）、入院延患者数は69,958人（前年の45%増）と大幅な増加振りを示している。

なお、昭和29年末現在の病床総数は208床で入院患者数は192人である。

科目別利用患者数



職員数

総数	医師	レントゲン及びその他医療関係技術者	看護婦	事務職員	その他
153	22 (1)	14	62	24	31

資料=広島市民病院

備考 ()内は非常勤職員数を示す。

科目別利用患者延数

年次	総数	内科	外科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	放射線科	歯科	皮膚科
昭和27年	10,932 11,388	5,265 5,891	2,581 4,567	1,676 518	1,410 362	—	—	—	—	—
28	69,397 48,151	19,038 20,331	10,163 20,239	9,227 2,833	7,723 1,919	13,584 2,652	8,335 177	105	1,222	—
29	124,130 69,958	22,453 23,648	14,009 29,312	12,502 5,435	11,310 4,375	32,487 5,574	12,334 416	3,168 215	9,521 2	6,346 981

資料=広島市民病院

備考 上段=外来患者数 下段=入院患者数

入院患者現在数

総数	内科	外科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	放射線科	歯科	皮膚科
192	69	90	15	7	5	1	1	—	4

資料=広島市民病院

舟入病院
職員数

総数	医師	医療関係技術者	看護婦	事務職員	その他
28	4	3	11	5	5

資料=広島市舟入病院

伝染病患者収容状況

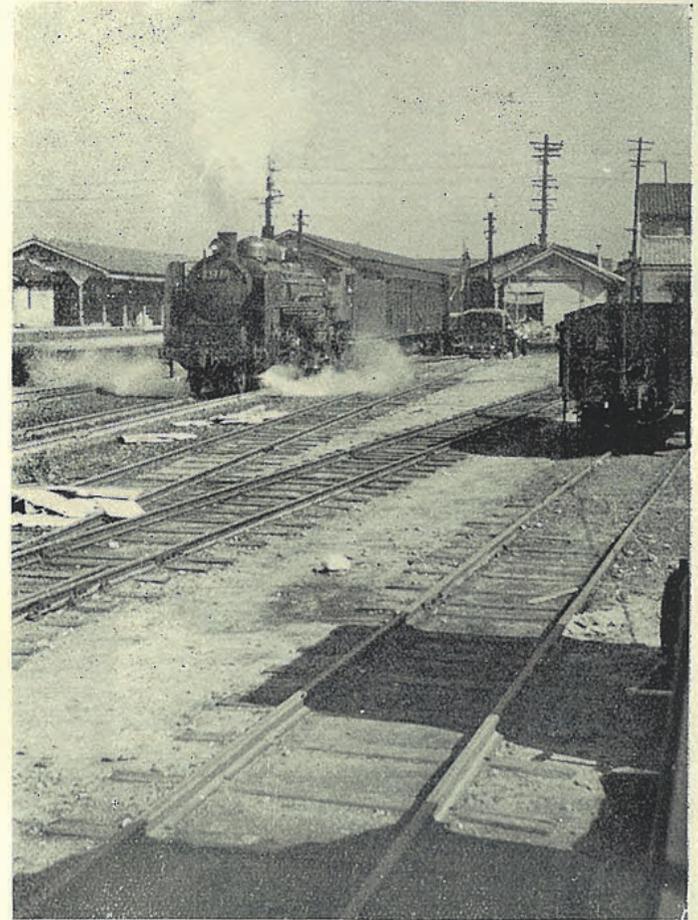
年次及び病種	前年から の越人員	新収容人員	転 帰			収容人員に対す る死亡率
			治 療	死 亡	治療中	
昭和25年	8	191	174	22	3	11.1%
26	3	296	259	29	11	9.7
27	11	547	536	17	5	3.0
28	5	574	559	14	6	2.6
29	6	595	580	12	9	1.9
腸チフス	3	43	40	3	3	6.0

バラチフス	—	5	4	1	—	20.0
赤痢	2	452	449	1	4	0.2
疫痢	—	39	35	4	—	10.0
ヂフテリヤ	—	43	39	2	2	4.6
しよう紅熱	1	9	10	—	—	—
流脳	—	2	2	—	—	—
日脳	—	2	1	1	—	50.0

資料=広島市舟入病院

第14編 運輸交通

東洋汽船株式會社



広島駅ホームを離れる汽車



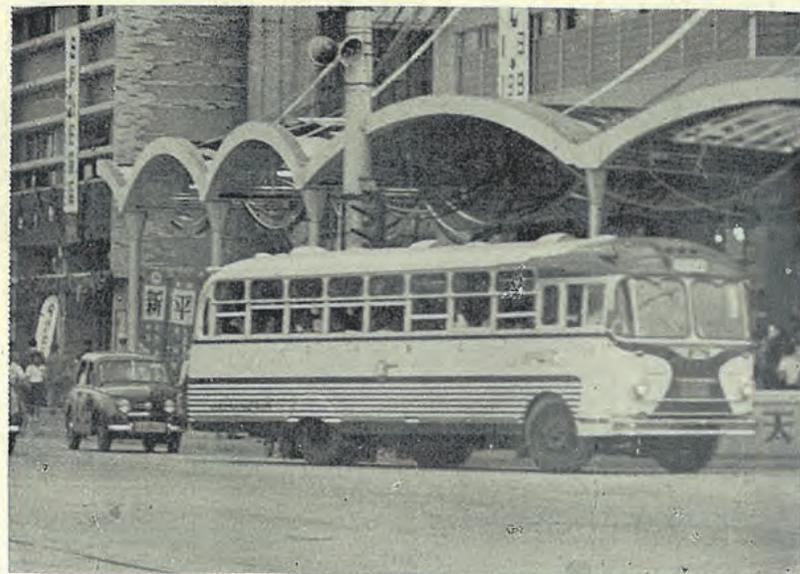
広島駅構内



電鉄バス (青バス)



広島駅前駐車場



広島バス (赤バス)



市内電車



郊外電車 (電鉄宮島線)

鐵道
國鉄市内駅別乗降人員

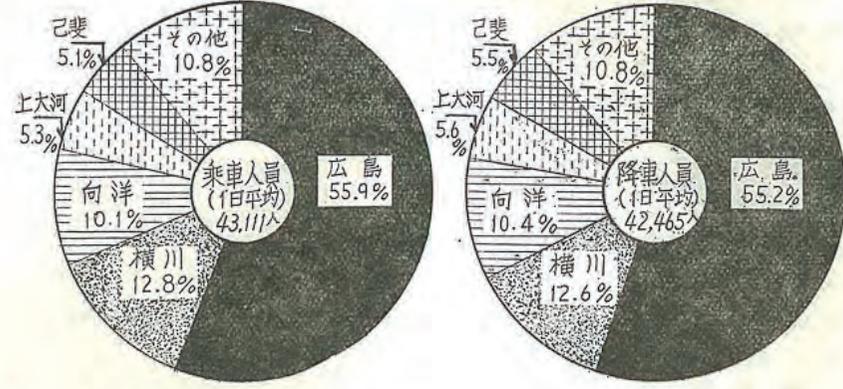
年 月 別	線別		線			可部線			宇			品			線		
	總	數 /日 平均	山	陽	本	廣	賀	三	大	南	上	下	丹	那	宇	品	
昭和28年	16,009,547	43,862	8,740,872	2,110,993	809,383	1,595,138	189,232	89,061	229,029	335,943	930,895	303,947	298,490	376,564			
1月	1,342,322	43,301	721,638	172,995	67,897	129,253	14,391	7,190	19,996	32,165	86,226	31,484	23,128	35,959			
2	1,107,135	39,541	601,751	136,229	56,162	120,191	10,618	7,600	17,822	22,678	62,896	26,498	18,429	26,261			
3	1,271,002	41,000	724,366	153,530	65,612	136,432	11,574	6,867	16,930	20,057	66,006	22,914	18,956	27,758			
4	1,803,830	60,128	1,011,166	242,007	87,649	164,968	19,243	8,822	21,131	39,399	104,899	40,257	28,950	35,339			
5	1,299,972	41,935	728,547	161,499	67,802	140,918	12,760	7,842	16,230	23,377	65,286	28,037	20,958	26,716			
6	1,175,547	39,185	644,634	151,387	62,321	125,993	11,737	7,633	15,684	22,826	64,190	26,862	19,249	23,031			
7	1,258,685	40,603	701,032	161,260	62,569	131,609	11,996	5,873	15,736	25,918	66,729	28,733	17,500	29,730			
8	1,211,067	39,067	703,059	152,770	65,210	120,002	9,164	6,046	15,595	19,682	52,152	23,618	18,026	25,743			
9	1,302,844	43,428	686,403	177,835	67,741	128,041	12,870	8,865	17,515	33,615	78,558	39,167	25,737	26,497			
10	1,506,255	48,589	878,564	192,636	68,443	144,507	14,937	7,875	16,182	28,873	70,082	36,681	21,442	26,033			
11	1,250,745	41,692	703,923	157,114	66,156	129,663	10,953	7,858	15,165	24,694	61,521	31,527	17,755	24,996			
12	1,206,194	38,909	687,866	150,817	63,804	117,193	8,597	6,836	14,718	23,851	60,404	31,431	17,740	22,937			
昭和28年	15,805,073	43,302	8,503,057	2,069,782	857,717	1,620,205	188,075	84,936	214,738	324,176	955,683	305,310	292,418	388,976			

乘 車 人 員

降	29	15,499,822	42,465	8,561,387	1,947,390	846,259	1,606,594	147,701	84,809	787,629	301,596	866,772	367,788	240,826	341,237
	1月	1,329,430	42,885	705,872	169,654	72,208	131,815	14,424	6,905	18,571	31,184	88,401	31,833	22,889	35,674
車	2	1,084,287	38,724	586,468	124,571	59,711	121,958	10,342	7,055	16,235	21,692	64,951	26,755	18,030	26,519
	3	1,252,623	40,407	703,635	149,560	69,965	137,248	11,625	6,383	15,792	19,151	68,903	23,396	18,497	28,468
人	4	1,774,582	59,153	982,814	235,892	91,194	166,121	18,937	8,402	19,884	38,140	107,603	40,546	28,430	36,619
	5	1,269,718	40,959	698,293	156,435	71,274	142,925	12,979	7,472	15,070	22,248	67,725	27,707	20,014	27,576
員	6	1,171,818	39,061	638,815	148,243	66,187	127,231	11,581	7,311	14,546	21,879	66,285	26,724	18,679	24,337
	7	1,247,755	40,250	688,731	151,336	66,628	133,160	11,842	5,590	14,248	24,619	70,052	28,795	16,914	30,040
	8	1,192,554	38,469	686,660	148,638	68,092	121,590	8,834	5,686	13,968	16,396	54,842	23,118	16,591	28,139
	9	1,296,090	43,203	678,551	174,212	70,998	129,220	12,670	8,515	16,445	32,207	80,659	39,315	25,026	28,272
	10	1,487,369	47,980	860,591	186,119	72,457	145,692	14,746	7,522	15,014	27,443	72,331	36,715	20,705	28,034
	11	1,225,986	40,866	680,623	152,071	69,613	130,843	10,965	7,485	13,954	23,569	63,075	31,464	17,538	24,786
	12	1,167,610	37,665	650,334	144,859	67,932	118,791	8,756	6,483	13,802	23,068	61,885	31,420	17,513	22,767

資料—広島鉄道管理局
備考 定期券利用者を含む。

国鉄市内駅別乗降人員



電 車
電車乗客数(市内線)

年 月	実動車 輛数 (年月末)	運 転 延台数	走 行 延 料 数	乗 客 数			1日 平均 乗客数
				総 数	定期外	定 期	
昭和26年	82	29,826	4,544,822	40,179,126	27,455,106	12,724,020	110,080
27	85	30,788	4,802,590	37,105,919	24,797,819	12,308,100	101,939
28	85	30,691	4,938,381	39,555,582	26,420,202	13,135,380	108,969
29	84	30,977	4,964,647	42,931,999	29,143,173	13,788,826	117,622
1月	83	2,580	420,482	3,478,214	2,270,474	1,207,740	112,200
2	86	2,402	381,144	3,123,506	1,982,426	1,141,080	111,553
3	85	2,639	422,588	3,392,367	2,524,587	867,780	109,431
4	86	2,579	410,348	4,044,908	2,753,348	1,291,560	134,830
5	85	2,643	420,998	3,797,380	2,492,890	1,304,490	122,496
6	86	2,570	410,454	3,550,742	2,256,364	1,294,378	118,358
7	85	2,648	424,133	3,572,804	2,567,554	1,005,250	115,252
8	82	2,555	421,074	3,728,314	3,011,568	716,746	120,278
9	85	2,544	403,391	3,549,833	2,273,191	1,276,642	118,328
10	86	2,651	421,881	3,926,231	2,638,521	1,287,710	126,653
11	85	2,555	406,205	3,586,153	2,274,263	1,311,890	119,538
12	84	2,611	421,949	3,181,547	2,097,987	1,083,560	102,631

路線別軌道延長杆数

路線	区間	延長杆数	路線	区間	延長杆数	路線	区間	延長杆数
本線	広島駅前～己斐	5.2	皆実線	的場～皆実町3丁目	2.5	江波線	土橋～江波終点	2.4
宇品線	紙屋町～宇品終点	5.6	横川線	十日市～横川	1.5	白島線	八丁堀～白島	1.2

資料＝広島電鉄株式会社

市外線(宮島線)

年月	実動車輛数 (年月末)	運 転 延台数	走 行 延杆数	乗 客 数			1日 平均 乗客数
				総 数	定期外	定 期	
昭和26年	台 20	7,345	1,364,666	8,898,589	5,015,659	3,882,930	24,380
27	22	7,864	1,387,829	8,961,258	4,478,364	4,482,894	24,619
28	22	7,995	1,330,286	8,918,542	4,212,702	4,705,840	24,569
29	21	7,775	1,199,208	9,144,464	4,324,184	4,820,280	25,053
1月	20	621	103,213	760,547	336,647	423,900	24,534
2	21	590	90,510	660,549	266,469	394,080	23,591
3	22	676	101,971	711,460	379,480	331,980	22,950
4	22	653	106,407	887,488	449,728	437,760	29,583
5	21	655	101,100	802,543	362,503	440,040	25,888
6	22	653	95,394	719,901	280,521	439,380	23,997
7	21	665	101,917	777,585	390,405	387,180	25,083
8	20	605	99,659	780,401	505,121	275,280	25,174
9	22	650	93,947	729,191	300,191	429,000	24,306
10	22	681	102,456	827,566	380,086	447,480	26,696
11	22	667	102,832	806,887	370,507	436,380	26,896
12	21	659	99,801	680,346	302,526	377,820	21,947

資料＝広島電鉄株式会社

備考 軌道延長杆数(営業杆程) 16.1杆、区間 西広島(己斐)一宮島口

バ ス

広島電鉄株式会社(青バス)

乗 客 数 (市内線)

年月	実動車輛数 (年月末)	運 転 延台数	走 行 延杆数	乗 客 数			1日 平均 乗客数
				総 数	定期外	定 期	
昭和26年	台 43	15,788	2,178,814	9,635,777	7,851,339	1,784,438	26,399
27	66	23,972	3,246,886	13,525,236	11,046,205	2,479,031	37,157
28	87	31,549	3,881,427	17,552,176	14,196,535	3,355,641	48,353
29	97	34,165	4,090,542	19,612,626	15,599,404	4,013,222	53,733
1月	89	2,755	338,718	1,580,243	1,259,311	320,932	50,976
2	89	2,513	312,585	1,471,665	1,132,725	338,940	52,559
3	90	2,775	340,703	1,652,778	1,389,308	263,470	53,316
4	96	2,874	342,377	1,775,832	1,448,876	326,956	59,195
5	94	2,914	349,181	1,771,678	1,397,744	373,934	57,151
6	93	2,780	337,577	1,619,824	1,244,748	375,076	53,994
7	94	2,916	347,865	1,616,023	1,361,669	254,354	52,129
8	94	2,925	353,495	1,724,375	1,468,595	255,780	55,625
9	95	2,837	331,704	1,527,669	1,244,469	283,200	50,922
10	97	2,997	353,016	1,788,450	1,401,870	386,580	57,692
11	96	2,887	335,723	1,658,238	1,145,238	513,000	55,275
12	97	2,992	347,599	1,425,851	1,104,851	321,000	45,995

路線別杆程(市内線)

路線	区 間	杆程	路線	区 間	杆程
淵崎線	広島駅～柞木	4.7	新庄線	新庄～八丁堀	5.7
牛田・牛田線	牛田～県庁	5.6	横・県庁線	横川～県庁	6.2
県庁線	広島駅～県庁	3.1	己斐線	己斐～旭町	7.5
牛田線	広島駅～牛田	2.5	グランド線	鷹野橋～総合グランド	4.3
横川線	広島駅～白島～横川	3.0	江波線	鷹野橋～江波	4.9
鷹・牛田線	鷹野橋～牛田	5.5	宇品線	広島駅～宇品国立病院	8.5
				広島駅～宇品市営橋	7.9

宇・県庁線	宇品～県庁	5.2	日宇那線	鷹野橋～日宇那	5.8
府中線	八丁堀～府中	6.1	駅・グラン線	広島駅～総合グラウンド	8.4

資料＝広島電鉄株式会社

乗客数(市外線合計)

年月	実動車輦数 (年月末)	運転延台数	走行延料数	乗客数			1日平均乗客数
				総数	定期外	定期	
昭和26年	85	31,094	4,208,601	8,398,981	8,012,246	386,735	23,011
27	98	35,720	5,032,585	9,021,406	8,354,126	667,280	24,784
28	118	42,797	6,305,535	11,028,571	10,012,073	1,016,498	30,382
29	140	48,785	7,127,417	12,687,911	11,240,747	1,447,164	34,767
1月	124	3,853	553,651	1,013,001	880,897	132,104	32,677
2	124	3,464	481,837	917,092	791,528	125,564	32,753
3	125	3,877	566,801	1,043,767	956,859	86,908	33,670
4	132	3,960	607,263	1,135,903	1,009,645	126,258	37,863
5	131	4,067	606,352	1,081,862	951,224	130,638	34,899
6	130	3,895	564,012	931,669	798,083	133,586	31,056
7	135	4,189	612,077	1,043,824	944,586	99,238	33,672
8	140	4,343	642,133	1,228,053	1,134,753	93,300	39,615
9	138	4,141	603,317	1,031,008	900,074	130,934	34,367
10	141	4,376	634,230	1,124,929	990,561	134,368	36,288
11	143	4,295	629,603	1,047,374	903,362	144,012	34,912
12	140	4,325	626,140	1,089,429	979,175	110,254	35,143

資料＝広島電鉄株式会社

広島バス株式会社(赤バス)

乗客数(市内線)

年月	実動車輦数 (年月末)	運転延台数	走行延料数	乗客数	1日平均乗客数
昭和26年	1	13,363	1,707,253	5,030,497	13,782
27	1	19,031	2,512,486	8,719,532	23,824

28	—	20,203	2,981,179	12,167,963	33,337
29	55	20,773	3,102,805	14,514,192	39,767
1月	54	1,683	258,920	1,302,599	42,019
2	55	1,530	235,615	1,030,256	36,794
3	52	1,706	265,792	1,255,221	40,491
4	54	1,681	261,804	1,255,121	41,837
5	55	1,725	262,264	1,259,999	40,645
6	54	1,737	263,151	1,176,411	39,213
7	51	1,683	248,974	1,206,655	40,221
8	51	1,659	260,888	1,236,398	39,883
9	52	1,623	244,840	1,176,617	39,220
10	50	1,660	263,583	1,285,146	41,456
11	52	1,637	259,098	1,135,421	37,847
12	55	1,789	277,876	1,194,348	38,527

路線別料程

路線	区間	料程	路線	区間	料程
宇品線	宇品県営橋～向洋大原	13.28	横・県線	横川駅～県庁	6.10
草津線	広島駅～草津	9.40	旭町線	広島駅～旭町	5.00
吉島線	広島駅～吉島	6.20	向宇品線	宇品～向宇品	1.00
基・県線	紙屋町～広島駅 ～県庁	6.20	中山線	八丁堀～中山 (安芸郡)	5.95
横川線	横川駅～広島駅	4.75			

資料＝広島バス株式会社

その他のバス会社

バスの種類	本社所在地	広島を結ぶ路	区間	距離	1日定期便の往復回数
		広浜線	広島～浜田	124	3
国鉄バス	広島市二葉の里 (中国地方自動車事務所)	安芸線 岩日線	広島～仁方 広島～瀬戸 広島～柿木	39 85 113	96 2 11

		雲 芸 線	広 島 ~ 出雲今市	171	1
		川 本 線	広 島 ~ 川 本	98	2
		西 条 線	広 島 ~ 石見大田	134	2
			広 島 ~ 乃美尾	49	2
一 豊 バス	島根県松江市	広 島 線	松 江 ~ 広 島 ~ 宮 島	225	4
		宮 島 線	広 島 ~ 宮 島	24	6
芸 陽 バス	広島県 豊田郡豊栄町	広島 ~ 吉舎線 (堀)	広 島 ~ 吉 舎	88	2
		広島 ~ 豊栄線 (西条)	広 島 ~ 志和堀 ~ 豊 栄	56	3
		広島 ~ 豊栄線	広 島 ~ 西 条 ~ 豊 栄	58	1
		広島 ~ 西条線	広 島 ~ 西 条	34	9
		広島 ~ 熊野線	広 島 ~ 熊 野	36	3
		広島 ~ 一貫田線	広 島 ~ 瀬 野	20	6
石 見 バス	島根県松江市	広 益 線	広 島 ~ 石見益田	160	3
広 島 郊 外 バス	広島県 安佐郡可部町	1 号 線	広 島 ~ 可 部	22	12
		2 号 線	広 島 ~ 大 林	27	72
		三 段 峽 線	広 島 ~ 三 段 峽	70	7
防 長 バス	山口県徳山市	徳 山 線	広 島 ~ 徳 山	110	2
		高 森 線	広 島 ~ 高 森	70	3
		室 積 線	広 島 ~ 室 積	95	2
		柳 井 線	広 島 ~ 柳 井	76	8
		湯 田 線	広 島 ~ 山 口	160	5
呉市営バス	広島県呉市	広 島 線	呉 ~ 広 島	30	8

資料=各関係バス会社

第15編 通 信

寄 紙 録 集

東京	大阪	名古屋	京都	神戸	福岡	仙台	札幌	旭川	網走	釧路	帯広	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
...

郵便は世界を結ぶ (広島駅前郵便局)



一斉に出発する郵便配達人

郵便

郵便局及びその他の施設

郵便局 合計	普通 郵便局	鉄道 郵便局	特定郵便局			切手売 さばき所	郵便 ポスト
			集配局	無 配 集 局	計		
局 45	局 3	局 1	局 1	局 41	局 41	カ所 247	個 289

資料=広島郵政局

内国郵便引受数

年次	通常郵便物		小包郵便物	
	普通	特殊	普通	特殊
昭和 25 年	千通 16,853	千通 992	千個 77	千個 38
26	19,498	1,108	178	79
27	20,165	1,330	265	100
28	22,218	1,506	335	110
29	28,730	1,559	444	120

資料=広島郵政局

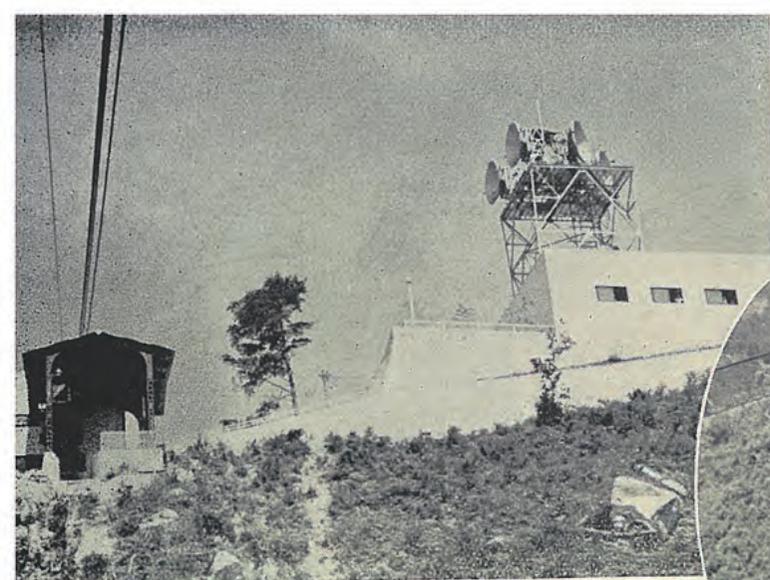
電報

内国電報取扱数

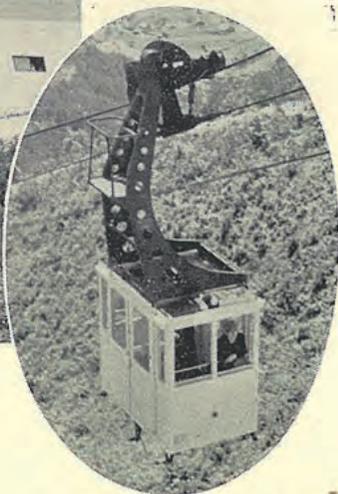
年次	総数	発信	着信	中継信
昭和 25 年	通 4,495,876	通 839,806	通 741,169	通 2,914,901
26	4,670,765	817,795	812,196	3,040,774
27	4,878,632	831,985	866,239	3,180,408
28	5,944,806	951,553	813,238	4,180,015
29	5,933,005	1,030,843	864,900	4,037,262

資料=広島電気通信部

備考 広島・宇品・広島駅前電報局及び広島・横川・已斐・向洋駅電報取扱所、並びに市内各特定郵便局で取扱った有料・無料扱の合計である。



已斐統制無線中継所



麓と同所を結ぶケーブルカー



市外電話交換室（広島電話局）

国際電報取扱数

年次	総数	発信	着信	中継局
昭和 28 年	6,037	1,010	857	4,164
29	4,765	764	825	2,576

資料＝広島電気通信部

備考 広島・宇品・広島駅前電報局及び広島・横川・己斐・向洋駅電報取扱所、並びに市内各特定郵便局で取扱った有料・無料の合計である。

電 話

電話機数

年次 及び局	総数	局						線				増設 電話	
		合計	本 電 話			公 衆 電 話			計	委託 公衆	簡易 電話		通話局 電話
			計	単独 加入	共同 加入	代表 加入	計	委託 公衆					
昭和 25 年末	9,768	5,977	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,791
26	12,174	7,737	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4,437
27	14,949	10,316	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4,633
28	16,654	11,335	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5,319
29	20,729	14,727	14,585	12,217	1,013	1,355	142	110	21	11	11	11	6,002
広島電話局	3,974	2,661	2,610	2,077	277	256	51	40	4	7	7	7	1,313
広島西電話局	9,353	5,514	5,460	4,796	309	355	54	38	13	3	3	3	3,839
広島南電話局	7,366	6,516	6,480	5,311	425	744	36	31	4	1	1	1	850
似島郵便局	36	36	35	33	2	—	1	1	—	—	—	—	—

資料＝広島電話局

第16編 港 湾

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

策 劃 費 齊

項目	金額	本 年 額		前 年 額		増減	増減率
		計	比	計	比		
1	1,724	5,372					
2	12,174	7,270					
3	11,948	10,374					
4	10,014	7,300					
5	10,720	11,217	11,880	10,000	1,880	18.8%	
6	2,074	2,161	3,210	3,000	210	7.0%	
7	6,317	3,317	6,650	6,000	650	10.8%	
8	7,880	6,375	5,000	5,000	0	0.0%	
9	30	30	30	30	0	0.0%	



(-) 10米岸壁築造工事(広島港)の一部

広島港

位置及び地形

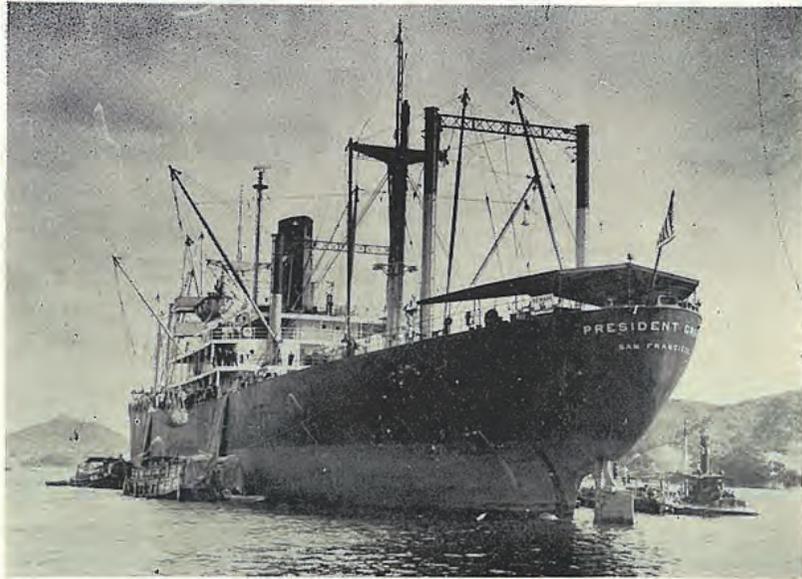
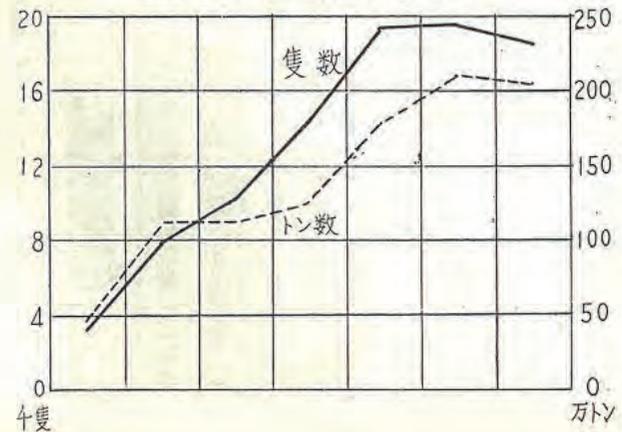
広島港は広島湾の北隅に位し北緯34°20'東経132°25'を中心とし、港域の中央から南方前面に突出した宇品島によつて東西に分断されており、東側は旧宇品港、西側は商・工業港地区に属し、港を囲む前方の金輪島・峠島・江田島・似島などの島しよが天然の障壁をなし、また、後方は広島市街を貫流する7つの川が港内にそそぎ水運に利用されている。

概況

広島港は元「宇品港」と呼ばれ、明治以来大東亜戦争の終結をみるまでは陸軍の輸送基地として、数回に及ぶ戦争事変に重要な役割を果たし、そして広島に繁栄をもたらす大きな原動力となつた。しかし、戦後は内外諸情勢の急激な変化に加え、長年軍部に占有されていたために港湾施設も近代的な貿易港としての要件を欠いており、このために戦後における広島港の活動は全く不振を極めたので、地方産業の振興促進面などに少なからず悪影響を及ぼしており、この現状にかんがみて特に広島港の整備問題は早急な解決を迫られてきた。しかし、窮迫せる地方財政では到底大規模な工事を望むことはできず、それでも昭和23年から昭和28年度までに約1億8千万円が費されて、延長385米の(一)4米岸壁と約1万坪の埋立を完成し、これに長さ0.7軒の複線の臨港鉄道と延長730米の臨港道路を敷設し、さらに本年度において約1,400万円の予算をもつて前庭並びに道路の舗装を完了する予定である。さらに来年度以降には2~3トン級走行起重機2基と約500坪の上屋3棟を建造する計画がたてられている。

一方、大型船舶の接岸を可能ならしめるために、旧軍用棧橋東端に1万トン級大型船舶の接岸する岸壁を築造する計画をたて、県を挙げての猛運動の結果昭和28年度より国の直轄工事として工事に着手、初年度2,600万円、29年度3,150万円、30年度6,000万円をもつて着々工事が進められている。

年別入港船舶隻数及び総トン数



広島港で荷揚作業中の外国貿易船



早朝の市営棧橋

入港船舶
船種別入港船舶数

年次	総数				汽船		帆船		機帆船		帆船		帆航		船航	
	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数
昭和23年	3,166隻 461,578トン				70隻 96,700トン		3,094隻 364,778トン									
24	5	75,304	7,936	1,708,335	4	15,220	4,589	881,137	1	84	3,331	225,704	—	—	2	70
25	12	37,379	10,247	1,090,137	12	37,379	7,120	959,942	—	—	3,116	130,167	—	—	5	28
26	24	134,315	14,393	1,724,020	24	134,315	7,496	832,931	—	—	6,687	281,851	—	—	210	9,238
27	102	492,338	19,272	1,291,311	77	491,291	10,306	952,490	25	1,047	8,690	320,324	—	—	276	13,497
28	218	685,144	19,276	1,402,243	113	681,726	9,474	984,959	105	3,418	9,437	401,054	—	—	365	16,230
29	184	693,537	18,302	1,349,040	103	690,953	8,823	964,914	81	2,578	9,166	370,763	—	—	313	13,363

資料—総務局総務課

階級別入港船舶数

船種	総数		5トン以下		100トン未満		500トン未満		1,000トン未満		5,000トン未満		10,000トン未満		10,000トン以上	
	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数
総数	18,486	2,042,577	5,746	58,974	8,766	449,197	4,397	796,770	69	30,679	44	728,947	39	294,364	25	283,640
汽船	8,924	1,655,800	525	5,843	4,480	211,470	3,762	702,482	49	29,054	44	128,947	39	294,364	25	283,640
帆船	9,249	373,408	4,480	50,500	4,118	227,501	631	93,782	20	1,625	—	—	—	—	—	—
機帆船	373	73,363	1/4	2,631	168	10,226	4	506	—	—	—	—	—	—	—	—

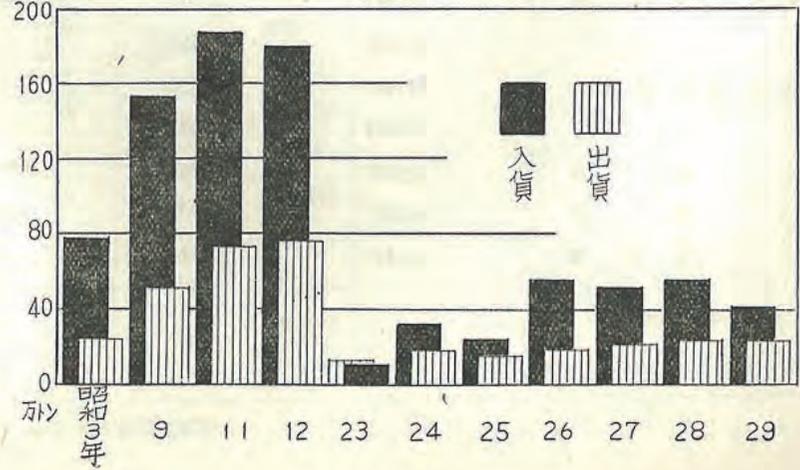
資料—総務局総務課

貨物の取扱数量
内国外別貿易数量

出入貨及び年次	総数	内国貿易	外国貿易	
出	昭和3年	262,452	257,323	5,129
	9	573,527	492,528	20,999
	11	739,182	715,435	23,747
	12	772,027	743,607	28,420
	23	89,970	85,130	4,840
	24	179,889	175,190	4,699
	25	145,500	143,234	2,266
	26	199,554	194,231	5,323
	27	215,709	212,099	3,010
	28	229,769	227,324	2,445
	29	228,665	228,340	325
	入	昭和3年	799,498	617,521
9		1,544,638	1,363,185	181,453
11		1,883,657	1,763,424	120,233
12		1,800,440	1,625,943	174,497
23		77,150	77,150	—
24		318,204	305,290	12,914
25		235,549	209,319	26,230
26		545,765	465,552	80,213
27		530,687	419,941	110,740
28		548,151	450,778	97,373
29		477,670	317,357	100,313

資料—総務局総務課

年次別貿易数量



品目別内国外国貿易数量 (昭和29年)

品 目	総 数		内 国 貿 易		外 国 貿 易	
	トン	トン	トン	トン	トン	トン
出 貨 総 数	228,665	228,340	325			
米 穀 類	11,846	11,846	—			
油 類	794	794	—			
薬 品	3,269	3,269	—			
石炭及びコークス	10,401	10,401	—			
鉱 石 及 び 同 製 品	466	466	—			
セ メ ン ト	240	240	—			
金 属 及 び 同 製 品	27,003	27,003	—			
肥 料	2,282	2,282	—			
木 材 類	95,882	95,757	125			
漁 獲 物	1,927	1,927	—			
そ の 他 雑 貨	74,555	74,355	200			
入 貨 総 数	417,670	317,357	100,313			
米 穀 類	100,217	1,173	99,044			
油 類	34,902	34,902	—			
薬 品	9,387	9,387	—			
石炭及びコークス	102,707	102,707	—			
鉱 石 及 び 同 製 品	10,701	10,701	—			
セ メ ン ト	33,436	33,436	—			
金 属 及 び 同 製 品	38,451	38,451	—			
肥 料	4,508	4,508	—			
木 材 類	19,287	18,287	1,000			
漁 獲 物	4,251	3,982	269			
そ の 他 雑 費	59,823	59,823	—			

資料—総務局総務課

外国貿易国別数量 (昭和29年)

輸 出		輸 入	
国 名	数 量	国 名	数 量
総 数	325	総 数	1,000,261
台 湾	125	韓 国	217
フィリッピン	200	ア メ リ カ	49,276
		タ イ	15,649
		ヴ ル グ ア イ	9,516
		カ ナ ダ	13,700
		中 華 民 国	3,817
		フ イ リ ッ ピ ン	1,000
		オーストラリア	1,900
		ビ ル マ	5,186

資料—総務局総務課

船舶乗降人員

年次別乗降人員

年 次	総 数	乗 込 人 員	上 陸 人 員
昭和8年	878,702	—	—
10	947,731	—	—
12	825,020	—	—
23	863,731	418,238	445,493
24	897,251	424,462	472,789
25	825,665	397,924	427,741
26	965,931	487,602	478,329
27	1,172,845	597,050	575,795
28	1,347,879	684,818	663,061
29	588,100	313,114	284,986

資料—総務局総務課

全国主要港別貿易船入港実績

年次	総数		横濱		神戸		大阪		名古屋		門司		函館											
	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数										
昭和22年	7,132	2,506,201	133	627,381	88	336,300	18	27,420	36	101,247	99	59,547	9	28,957										
22	3,299	7,675,748	476	2,427,903	303	1,075,623	51	84,919	110	387,296	467	433,731	32	108,073										
23	3,747	11,462,975	881	3,905,596	648	2,536,978	100	236,811	258	1,000,802	394	586,794	38	142,805										
24	5,135	18,556,460	1,308	5,760,455	1,063	4,207,435	274	820,201	542	2,121,270	567	1,549,751	44	174,549										
25	6,597	23,703,345	1,590	6,400,358	1,353	5,119,990	511	1,525,017	725	2,617,174	627	1,524,364	41	160,395										
26	9,590	32,962,854	2,185	8,812,465	2,062	6,944,400	892	2,404,568	950	3,286,960	912	2,609,115	43	158,668										
27	14,442	45,033,072	2,676	10,614,867	2,931	9,199,298	1,303	3,487,891	1,329	4,610,672	1,779	3,851,200	90	361,401										
年次	東		京		若		松		豊		水		佐		世		保		そ		の		他	
	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数
昭和22年	15	27,762	120	137,225	7	2,804	15	61,257	8	12,427	8	1,083,864	590	1,083,864	590	1,083,864	590	1,083,864	590	1,083,864	590	1,083,864	590	1,083,864
22	14	27,574	273	320,102	8	21,668	54	226,937	88	174,578	88	2,387,344	1,423	2,387,344	1,423	2,387,344	1,423	2,387,344	1,423	2,387,344	1,423	2,387,344	1,423	2,387,344
23	22	37,630	185	296,630	9	24,200	101	437,887	217	385,687	217	1,871,095	894	1,871,095	894	1,871,095	894	1,871,095	894	1,871,095	894	1,871,095	894	1,871,095
24	28	63,994	125	228,991	33	113,194	171	725,495	208	598,198	208	2,192,927	772	2,192,927	772	2,192,927	772	2,192,927	772	2,192,927	772	2,192,927	772	2,192,927
25	73	176,988	175	419,092	71	275,911	352	1,410,946	139	439,404	139	3,033,706	940	3,033,706	940	3,033,706	940	3,033,706	940	3,033,706	940	3,033,706	940	3,033,706
26	169	504,606	256	632,402	134	534,295	456	1,787,601	37	158,725	37	5,119,049	1,494	5,119,049	1,494	5,119,049	1,494	5,119,049	1,494	5,119,049	1,494	5,119,049	1,494	5,119,049
27	242	515,541	447	1,011,939	224	721,457	528	2,230,474	84	388,507	84	5,039,825	2,809	5,039,825	2,809	5,039,825	2,809	5,039,825	2,809	5,039,825	2,809	5,039,825	2,809	5,039,825

資料=日本統計年鑑

第17編 労働

團 後 編 行 策



メーデー当日におけるデモ行進



失対労働者の就労状況 (毎日新聞社提供)



賃金の支給をうける失対労働者

概況

デフレの深刻化につれて経済界は資金難、受注減あるいは購買力の低下などによつて漸次不況をきたし、その結果はいきおい従業員の減員不補充あるいは新規採用の手控えなどによる経営合理化が行われることになり、従つて生産人口の急激な増加と相まつて近時の就職戦線はとみに重圧が加わつている。

一方、このような情勢を反映して最近では企業整備、人員整理などによる失業者の数は増加の一途をたどり、広島公共職業安定所管内における数字をみても、昭和29年の1年間に職を離れたものは前年より13%増加して総数約8400人(常用者)の多きに上つており、これに支払われる失業保険金は多い月で約2,500万円、少ない月で1,400万円平均約2,000万円も支払われている。

次に労働組合の活動状況をみると当地方におけるこの年の労働運動は、前年と同じように主として総評の指導の下に活潑に展開された。すなわち、総評は年間を通じて賃金ストップ打破の闘争と原水爆反対・平和憲法擁護などの平和運動の2項目に重点を置いた外に内閣打倒などの目標に到達することを意図して春季夏季闘争・メーデー・秋季年末闘争を行い、当地方における労働運動もこれに影響されるところが極めて大きかつた。

産業別規模別事業所数及び従業者数

事業所数

産 業	総 数	1 人	2人 ~9人	10人 ~29人	30人 ~99人	100人 以上
全 産 業	19,747	5,744	11,742	1,723	444	88
鉱 業	13	3	8	2	—	—
金 属 鉱 業	2	—	2	—	—	—
非 金 属 鉱 業	11	3	6	2	—	—
建 設 業	700	201	304	133	46	16
総 合 工 事	246	11	103	88	34	10
職 別 工 事	454	190	201	45	12	6
製 造 業	2,700	334	1,642	537	147	40
食 料 品 製 造	764	50	537	145	26	6
紡 織 業	43	6	25	7	4	1
衣服及び身廻品製造	70	9	44	16	1	—
木 材 木 製 品	374	44	179	75	16	—
家具及び装備品	342	80	202	50	9	1
紙及び類似品製造	57	4	40	7	4	2

印刷出版類似産業	148	11	76	44	15	2
化学工業	28	4	9	11	3	1
石油及び石炭製品製造	13	1	5	6	1	—
ゴム製品製造	14	—	4	3	2	5
皮革及び皮革製品製造	125	52	68	4	—	1
ガラス及びガラス製品製造	106	5	74	20	5	2
第一次金属製造	47	1	15	15	10	—
金属製品製造	202	23	118	40	17	4
機械製造	180	10	109	47	11	3
電気機械器具製造	24	—	13	6	4	1
輸送用機械器具製造	78	4	42	15	12	5
医療理化学、光学時計製造	22	—	16	2	4	—
その他の製造業	129	30	67	24	4	4
卸売及び小売業	10,561	3,154	6,701	630	70	6
一般卸売	2,162	260	1,458	400	41	3
特殊卸売	76	7	58	11	—	—
各種商品小売	25	2	9	11	1	2
織物衣服、身廻品小売	1,192	386	757	46	3	—
飲食料品小売	3,378	1,232	2,103	38	5	—
飲食店	1,485	324	1,105	52	3	1
路上運搬機小売	130	41	75	7	7	—
石油小売	21	3	16	2	—	—
その他の小売業	2,092	899	1,120	63	10	—
金融及び保険	435	115	177	73	65	5
銀行及び信託業	34	—	2	11	19	2
農林・水産・金融業	23	1	14	4	3	1
中小商工庶民金融業	303	109	152	29	12	1
補助的金融、金融附帯業	1	—	—	1	—	—
証券業、商品取引業	28	—	2	12	14	—
保険業	47	1	6	16	17	1
保険媒介代理、保険サービス	5	4	1	—	—	—

不動産業	207	128	70	8	1	—
不動産業	207	128	70	8	1	—
運輸通信、その他の公益事業	344	86	157	62	26	13
地方鉄道及び軌道業	1	—	—	—	—	1
道路旅客運送業	69	4	41	19	3	2
道路貨物運送業	146	62	54	17	11	2
水運業	16	5	5	4	1	1
航空運輸業	3	—	3	—	—	—
倉庫業	31	4	15	8	4	—
運輸に付帯するサービス業	64	9	32	13	6	4
通信業	5	2	2	—	1	—
光熱及び動力供給業	2	—	—	—	1	1
水道、衛生業	7	—	5	1	—	1
サービス業	4,781	1,723	2,683	278	89	8
旅館、下宿、貸間、宿泊所	422	105	300	17	—	—
対個人サービス	1,554	570	966	17	1	—
対事業所サービス	93	19	49	18	7	—
自動車修理ガレージ	140	18	100	20	2	—
その他の修理	406	217	177	9	2	1
映画	30	—	7	21	2	—
興業娯楽	387	21	285	73	8	—
医療保健	702	350	326	15	7	4
法務	108	65	43	—	—	—
専門サービス	232	139	82	10	—	1
教育	180	17	76	38	47	2
宗教	285	167	113	5	—	—
非営利団体	242	35	159	35	13	—

従業者数

産 業	総 数	1 人	2人 ~9人	10人 ~29人	30人 ~99人	100人 以上
全 産 業	128,284	5,744	47,571	27,051	20,685	33,233
鉱 業	80	3	36	41	—	—
金 属 鉱 業	8	—	8	—	—	—
非 金 属 鉱 業	72	3	28	41	—	—
建 設 業	9,555	201	1,373	2,222	2,176	3,583
総 合 工 事	5,946	11	567	1,459	1,631	2,278
職 別 工 事	3,609	190	806	763	545	1,305
製 造 業	37,948	334	7,150	8,689	6,839	8,936
食 料 品 製 造	6,567	50	2,197	2,344	1,160	816
紡 織 業	659	6	101	130	211	211
衣服及び身廻品製造	537	9	220	266	36	—
木 材、木 製 品	2,644	44	775	1,106	719	—
家 具 及 び 装 備 品	2,270	80	835	843	402	110
紙 及 び 類 似 品 製 造	872	4	195	124	262	287
印 刷、出 版、類 似 産 業	2,345	11	355	699	745	535
化 学 工 業	505	4	47	182	157	115
石 油 及 び 石 炭 製 品 製 造	179	1	24	108	46	—
ゴ ム 製 品 製 造	1,028	—	18	47	125	265
皮 革 及 び 皮 革 製 品 製 造	431	52	202	5	—	—
ガ ラ ス 及 び ガ ラ ス 製 品 製 造	1,301	5	345	319	197	838
第 一 次 金 属 製 造	762	1	70	279	412	—
金 属 製 品 製 造	2,829	23	528	691	814	773
機 械 製 造	2,744	10	556	763	439	376
電 気 機 械 器 具 製 造	473	—	62	94	176	141
輸 送 用 機 械 器 具 製 造	4,253	4	212	251	632	3,154
医 療 理 化 学、光 学 時 計 製 造	607	—	84	26	138	359
そ の 他 の 製 造	1,548	30	324	360	168	666
卸 売 及 び 小 売 業	38,600	3,154	21,770	9,274	3,229	1,173

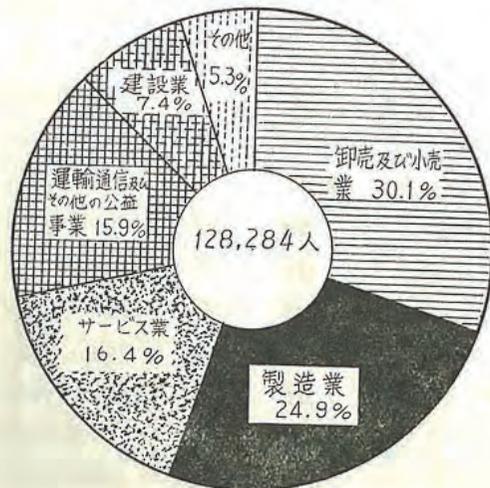
一 般 卸 売	74,853	260	6,475	6,004	1,749	368
特 殊 卸 売	409	7	265	137	—	—
各 種 商 品 小 売	887	2	28	176	55	620
織 物 衣 服、身 廻 品 小 売	3,563	386	2,360	666	151	—
飲 食 料 品 小 売	7,447	1,232	5,384	521	310	—
飲 食 店	5,734	324	3,701	748	176	185
路 上 運 搬 機 小 売	785	41	247	108	389	—
石 油 小 売	93	3	66	24	—	—
そ の 他 の 小 売	5,435	899	3,244	890	402	—
金 融 及 び 保 険	6,744	115	685	1,297	3,042	1,005
銀 行 及 び 信 託 業	1,736	—	15	222	1,003	636
農 林、水 産 金 融 業	496	1	63	74	249	109
中 小 商 工、庶 民 金 融 業	1,873	109	551	473	542	138
補 助 的 金 融、金 融 附 帯 業	77	—	—	11	—	—
証 券 業、商 品 取 引 業	808	—	15	228	565	—
保 險 業	1,273	1	38	289	723	222
保 險 媒 介 代 理、保 険 サ ー ビ ス	7	4	3	—	—	—
不 動 産 業	492	128	196	129	39	—
不 動 産 業	492	128	196	129	39	—
運 輸 通 信、そ の 他 の 公 益 事 業	20,344	86	703	951	1,246	17,358
地 方 鉄 道 業 及 び 軌 道 業	1,496	—	—	—	—	1,496
道 路 旅 客 運 送 業	1,222	4	214	294	141	569
道 路 貨 物 運 送 業	1,279	62	205	237	492	283
水 運 業	558	5	28	69	78	378
航 空 運 輸 業	73	—	13	—	—	—
倉 庫 業	378	4	74	140	160	—
運 輸 に 附 帯 す る サ ー ビ ス 業	1,585	9	147	191	281	957
通 信 業	100	2	4	—	94	—
光 熱 及 び 動 力 供 給 業	13,209	—	—	—	—	13,209
水 道 衛 生 業	504	—	18	20	—	466
サ ー ビ ス 業	21,121	1,723	9,658	4,449	4,114	1,177

旅館、下宿、貸間、宿泊所	1,474	105	1,067	242	—	—
对个人サービス	3,939	570	3,088	241	40	—
对事業所サービス	830	19	213	303	295	—
自動車修理、ガレージ	807	18	439	280	64	—
その他の修理業	1,060	217	512	138	75	118
映画	486	—	38	341	107	—
興業娯楽	2,944	21	1,387	1,181	355	—
医療保健	2,598	350	1,038	200	304	706
法務	788	65	123	—	—	—
専門サービス	779	139	355	158	—	127
教育	3,627	17	388	734	2,256	226
宗教	565	167	333	65	—	—
非営利団体	1,896	35	677	566	618	—

資料—広島県総務部統計課

備考 昭和29年7月1日実施された事業所統計調査による概数である。

産業別従業者数



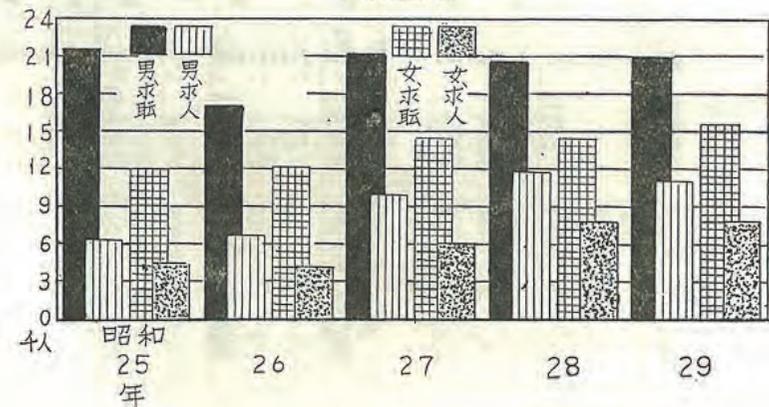
職業紹介状況

一般労働者

年月	新規求職数		新規求人数		紹介数		就職数	
	男	女	男	女	男	女	男	女
昭和25年	21,717	12,164	6,326	4,588	7,961	5,910	4,952	3,822
26	17,368	12,341	6,947	4,344	11,483	7,136	5,896	4,405
27	21,376	14,479	10,074	6,088	17,587	11,057	8,401	5,556
28	20,921	14,636	11,891	7,790	19,582	12,235	10,833	7,240
29	27,042	15,893	17,080	7,767	19,753	14,371	9,700	6,909
1月	2,131	1,649	2,184	1,186	1,872	1,542	837	715
2	1,348	1,121	1,100	635	1,624	1,171	890	643
3	1,754	1,521	1,034	755	2,093	1,649	1,165	887
4	1,961	1,517	823	600	1,750	1,401	850	607
5	1,691	1,520	680	582	1,502	1,153	662	619
6	1,812	1,327	743	484	1,529	939	654	413
7	2,153	1,482	792	592	1,660	1,166	661	531
8	1,754	1,390	739	619	1,564	1,235	647	534
9	1,915	1,342	786	647	1,395	1,206	575	479
10	1,590	1,062	759	656	1,462	1,177	701	568
11	1,623	1,158	844	582	1,525	1,084	730	517
12	1,310	804	596	429	1,177	648	728	396

新規求職者及び求人数

(一般労働者)



日雇労働者

年 月	新規求職数		新規求人数		紹介数		就職数	
	男	女	男	女	男	女	男	女
昭和25年	人	人	人	人	人	人	人	人
26	4,525	2,600	655,698	517,249	657,436	517,480	640,750	512,439
27	3,789	2,227	741,142	630,697	745,330	632,124	732,121	637,645
28	4,304	2,495	737,916	704,659	739,132	704,808	727,258	696,993
29	6,119	3,404	728,558	713,627	728,344	713,589	717,928	702,136
1月	247	116	57,604	54,911	57,604	54,911	56,954	54,664
2	477	152	68,613	60,324	68,613	60,324	67,107	59,533
3	337	217	72,704	72,023	72,695	72,022	71,220	71,095
4	300	194	56,565	56,295	56,565	56,295	55,950	55,709
5	315	230	54,511	58,863	54,506	58,863	53,454	57,286
6	585	456	53,795	57,201	53,795	57,201	52,689	55,384
7	612	298	58,580	60,767	58,580	60,767	57,718	59,485
8	563	338	60,745	59,515	60,745	59,515	60,242	58,738
9	467	251	55,265	53,231	55,265	53,231	54,410	51,790
10	562	356	59,598	57,541	59,564	57,541	58,873	56,840
11	487	232	58,783	53,614	58,617	53,374	57,912	52,546
12	1,167	564	71,795	69,342	71,795	69,545	71,399	69,066

資料—広島公共職業安定所

備考 本所及び宇品出張所、大柿分室の合計数である。

産業別紹介状況

産 業	新規求人数		紹介数		就職数	
	一 般	日 雇	一 般	日 雇	一 般	日 雇
総 数	人	人	人	人	人	人
	78,847	7,442,185	33,524	7,447,933	76,009	7,420,064
農 林 漁 業	33	—	56	—	33	—
農 産 物 製 造 業	22	—	43	—	18	—
建 設 業	1,263	1,292,368	2,052	1,292,368	1,156	1,271,021
製 造 業	8,761	45,599	14,659	45,409	7,417	45,183
卸・小 売 業	4,609	1,923	9,814	1,916	3,856	1,916
金 融 保 險 業	135	4	286	8	120	4
不 動 産 業	20	—	60	—	21	—
運 輸 通 信、そ の 他 の 公 益 事 業	928	99,305	1,822	99,280	788	98,995
サ ー ビ ス 業	2,996	2,556	4,528	2,526	2,535	2,515
公 務	80	426	204	426	65	426

資料—広島公共職業安定所

失業保険給付状況
— 一般労働者

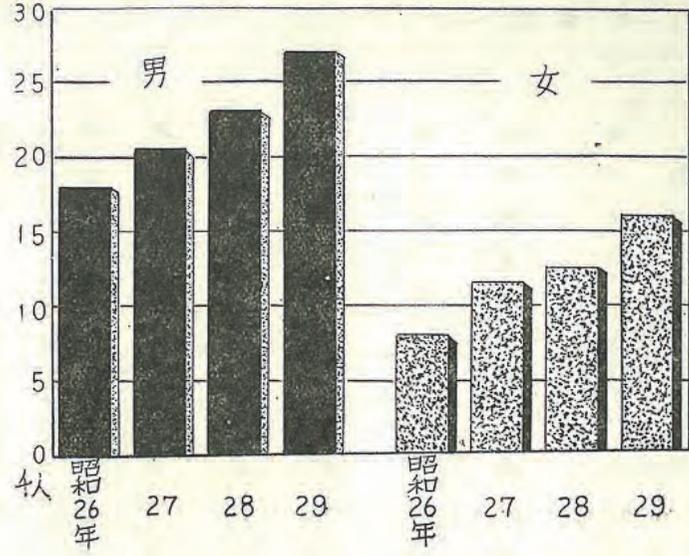
年 月	離職票受付件数		初回受給者数		保険金受給者数		保険金支給総額	
	男	女	男	女	男	女	男	女
昭和25年	人	人	人	人	人	人	千円	千円
26	4,442	1,692	3,780	1,511	26,273	18,082	136,900	105,396
27	6,279	2,204	2,737	1,272	31,859	20,401	102,026	137,451
28	7,419	2,697	3,078	1,624	35,676	23,250	192,874	152,299
29	8,369	3,102	4,052	2,154	43,439	27,787	237,307	182,999
1月	512	181	228	118	2,870	1,792	15,840	12,356
2	513	196	291	129	2,744	1,763	13,688	11,011
3	784	335	349	223	2,886	1,823	15,969	12,440
4	1,197	517	587	425	3,446	2,098	16,777	12,745
5	880	413	413	266	3,585	2,110	19,111	14,261
6	766	265	445	238	3,784	2,235	21,184	15,566
7	646	195	386	145	4,002	2,379	22,534	16,737
8	690	221	420	156	4,174	2,547	23,969	18,261
9	824	278	466	206	4,266	2,695	24,510	18,875
10	593	217	424	188	4,242	2,733	23,342	18,405
11	531	169	321	137	3,893	2,597	21,812	17,419
12	433	114	329	116	3,547	2,415	18,566	14,918

日 雇 勞 働 者

年 月	初回失業認定件数		初回受給者数		被保険者手帳交付数		保険金支給総額	
	計	女	計	男	計	男	計	女
昭和25年	18,763	8,498	12,090	6,212	16,094	10,626	16,329	—
26	48,074	22,077	32,807	15,630	19,360	12,605	25,155	—
27	53,541	28,693	42,210	18,759	18,528	11,312	39,973	19,207
28	54,550	31,012	54,039	22,038	17,116	9,772	37,846	16,586
29	59,213	32,939	50,671	22,400	18,710	10,687	36,274	15,541
1月	5,330	3,016	5,014	2,115	1,624	981	5,263	2,963
2	4,739	2,845	1,790	875	1,519	928	1,508	807
3	4,410	2,489	2,203	925	1,892	969	1,261	534
4	4,945	2,728	4,442	1,910	1,811	943	2,613	1,061
5	5,161	2,837	4,604	2,038	1,482	855	3,295	1,358
6	4,849	2,667	4,599	2,062	1,445	840	3,182	1,331
7	4,869	2,781	4,647	1,961	1,351	819	2,690	1,105
8	4,853	2,707	4,654	2,043	1,275	793	2,962	1,240
9	4,918	2,739	4,694	2,076	1,386	768	4,320	1,827
10	5,066	2,719	4,759	2,165	1,248	697	2,876	1,262
11	5,034	2,705	4,790	2,184	1,806	997	4,364	1,864
12	5,039	2,706	4,475	2,046	1,871	1,091	1,932	849

資料＝広島公共職業安定所 備考 本所及び字品出張所、大浦分室の合計数である。

失業保険受給者実員



労働組合

適用法規別労働組合数及び組合員数

年次及び適用法規	単 位 組 合		連 合 組 合	
	組合数	組合員数	組合数	組合員数
昭和26年	127	20,652	—	—
27	192	42,097	—	—
28	217	44,314	45	301,735
29	238	45,620	53	360,491
労働組合法	147	23,274	27	168,680
公共企業体等労組法	61	13,657	13	80,061
国家公務員法	22	3,330	9	64,093
地方公務員法	6	4,510	3	46,221
地方公営企業労組法	2	849	1	1,436

資料＝広島県労働部労政課

産業別規模別単位労働組合数及び組合員数

産 業	総 数	組 合 数						
		～49人	50～99人	100～199人	200～499人	500～999人	1,000～1,999人	2,000人～
総 数	238	74	55	50	38	14	5	2
建 設 業	15	2	6	4	1	1	1	—
製 造 業	39	14	9	11	3	1	—	1
卸・小 売 業	8	4	2	—	1	1	—	—
金融保険業	42	25	12	3	1	—	—	1
運輸通信その他 の公益事業	37	6	6	7	9	3	—	—
サ ー ビ ス 業	12	8	2	1	1	—	—	—
公共企業体団体	67	9	13	18	13	7	1	—
国家公務団体	22	5	5	6	5	1	—	—
地方公務団体	6	1	—	—	2	—	3	—
地方公 営 企 業 団 体	2	—	—	—	2	—	—	—
		組 合 員 数						
総 数	45,620	2,007	3,692	7,128	12,168	9,552	6,139	4,940
建 設 業	3,794	25	422	547	300	600	1,300	—
製 造 業	7,738	310	659	1,452	989	793	—	2,935
卸・小 売 業	1,457	81	129	—	350	897	—	—
金融保険業	4,421	802	746	542	326	—	—	2,005
運輸通信その他 の公益事業	6,205	146	382	1,020	2,543	2,114	—	—
サ ー ビ ス 業	859	179	161	161	358	—	—	—
公共企業体団体	13,657	286	855	2,625	4,165	4,560	1,166	—
国家公務団体	3,330	125	338	781	1,498	588	—	—
地方公務団体	4,510	47	—	—	790	—	3,673	—
地方公 営 企 業 団 体	849	—	—	—	849	—	—	—

資料＝広島県労働部労政課

産業別労働争議件数

年 次 及 び 産 業	総 数		争 議 行 為 を 伴 っ た も の の 計		工 場 閉 鎖 を 伴 っ た も の の 計		同 盟 閉 鎖 を 伴 っ た も の の 計		同 盟 閉 鎖 を 伴 っ た も の の 計		同 盟 閉 鎖 を 伴 っ た も の の 計		同 盟 閉 鎖 を 伴 っ た も の の 計		同 盟 閉 鎖 を 伴 っ た も の の 計		同 盟 閉 鎖 を 伴 っ た も の の 計			
	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
昭和 28 年	28	21,470	10	14,291	8	11,479	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和 29 年	40	47,083	30	47,083	13	3,928	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	7	6	1	6	1	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
製造業	6	386	4	386	3	308	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
卸・小売業	7	326	1	326	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金融保険業	3	2,222	3	2,222	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
運輸通信その他 の公益事業	9	1,104	2	1,104	1	312	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
サービス業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公共企業体団体	79	42,819	18	42,819	6	3,061	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国家公務団体	7	220	1	220	1	220	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地方公務団体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地方公 営 企 業 団 体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料＝広島県労働部労政課

備考 同時に争議行為が2つ以上ある場合には、参加人員の最も多いものを計上した。

労働争議に現われた主要要求事項

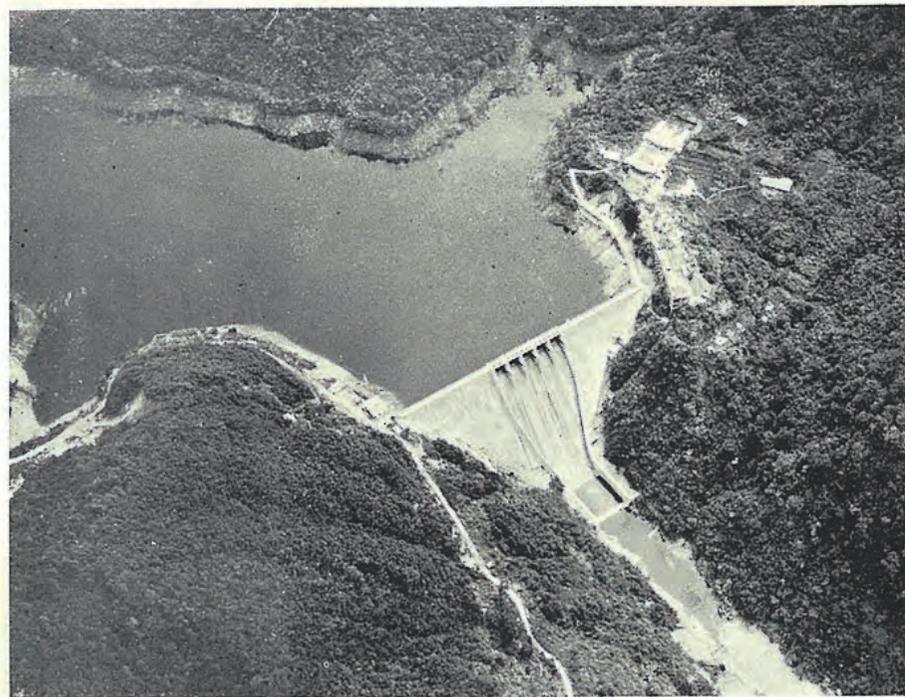
年次及び産業	総 数	労協 働約	賃増 金額	賃支 金払	夏手 季当	年手 末当	賞 与 の 他 金 要 求	組 合 に 対 し て の 不 当 干 渉	人 事 に 関 する 事 項	解 雇 反 対	復 職 要 求
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
昭 和 27 年	38	2	11	—	—	8	8	2	7	—	—
28	22	4	7	—	3	3	3	—	—	2	
29	57	2	17	2	6	19	4	7	7	5	
建 設 業	7	—	—	1	—	—	—	—	—	—	
製 造 業	9	—	4	—	—	3	2	—	—	—	
卸・小 売 業	7	—	1	—	—	—	—	—	—	—	
金 融 保 険 業	5	—	1	1	—	1	1	—	—	1	
運輸、通信その他 の公益事業	17	2	4	—	1	4	—	—	—	—	
サ ー ビ ス 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
公共企業体団体	23	—	1	—	5	10	1	1	1	4	
国家公務団体	7	—	—	—	—	1	—	—	—	—	
地方公務団体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
地 方 公 営 企 業 団 体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

資料—広島県労働部労政課

備考 要求事項は主要なものを全部計上しているもので、前表の労働争議件数には一致しない。

第18編 電気・ガス

大正・昭和 農林省



マ (比婆郡高野町高暮貯水池)



中国電力株式会社本店（本館）

電 気

戦後供給絶対量の不足が原因として、著しい窮迫状態に陥つた電力事情を根本的に解決するために、昭和26年国家的な施策として、全国的に電源開発5カ年計画がたてられ、当地方の供給会社である中国電力株式会社（本店所在地＝市内小町）においても、当時管内の総発電設備（水力3,856/KW、火力299,518KW、合計618,079KW）とほぼ同規模の発電設備を5カ年の短期間に増強する計画がたてられ、電力不足の早期解消を期して、現在工事は計画通り順調に推進されている。これがため当地方の電力事情は開発工事の進展に伴い、昭和27年頃まで続いた大幅な制限送電も以後次第に好転し、計画完成年度の接近につれて益々安定し、将来の見透しは極めて明るいものと言える。

市内における電力の消費量は、産業の発達、人口増加、生活水準の向上等によつて年々増加し、昭和29年度における消費状況を見ると概略次の通りである。まず電灯需用分は約4,100万KWHで、電力需用分は約8,600万KWH、合計12,700万KWHとなり、この消費量は電灯需用において管内総消費量の8.4%、広島県の24.5%にあたり、一方の電力需用は同じく管内の4.5%、広島県の35.5%に相当するもので、結局総消費量は管内の5.2%、広島県の26.5%にあたる。なお、本年10月電力料金は平均8.6%値上げされた。

電 灯 需 用

契 約 口 数

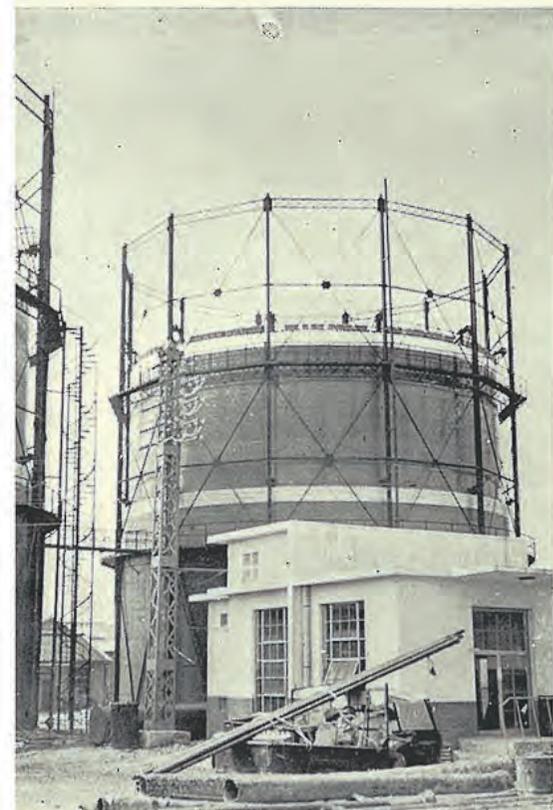
年 度	総数	定 額 電 灯				従 量 電 灯				大 電 口 灯	臨 時 電 灯
		計	一般	街路	臨時	計	一般	街路 (再掲)	臨時		
昭和25年度末	66,536	31,789	29,323	2,466	—	34,262	34,262	(534)	—	341	144
26	67,549	28,696	25,800	2,722	174	38,445	38,441	(458)	4	408	—
27	70,112	26,512	23,544	2,694	274	43,186	43,174	(358)	12	414	—
28	72,338	23,682	20,281	3,033	368	48,139	48,113	(331)	26	517	—
29	74,423	20,177	17,497	2,680	—	52,583	52,583	(181)	—	1,275	388

資料＝中国電力株式会社広島支店

備考 1. 臨時は1カ年の平均契約数である。

2. 従量電灯中の街路灯は一般の門軒灯の再掲である。

ガスタンク（広島ガス株式会社）

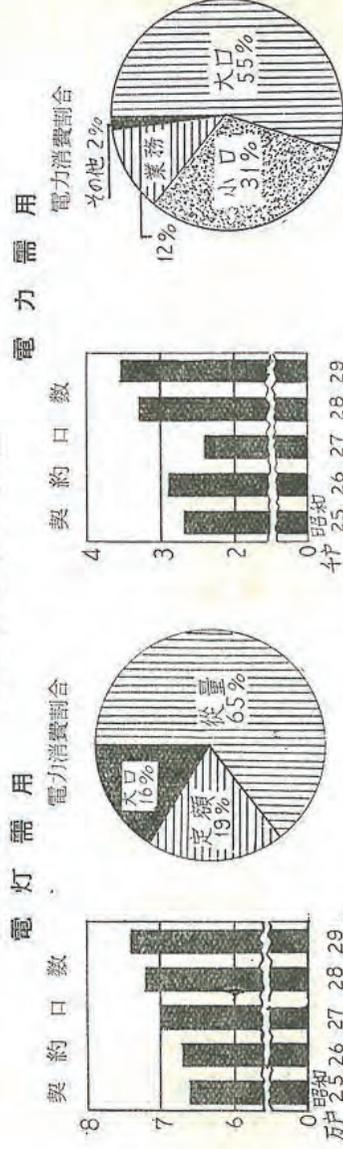


電力消費量

年 度	総 数 KWH	定 額		電 灯		電 量		電 灯		大口電灯 KWH	臨時電灯 KWH
		計	一 般	計	一 般	計	一 般	計	一 般		
昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	—	—	—	—	—	14,949,687	14,949,687	8,897	3,189,774	3,219,117	—
27	—	—	—	—	—	15,443,789	15,443,789	44,950	3,651,662	3,429	—
28	—	—	—	—	—	20,474,072	20,474,072	80,296	4,490,615	7(18,032)	—
29	41,024,380	—	—	—	—	24,732,473	24,732,473	—	6,575,539	—	262,443
		7,639,370	6,379,377	1,259,993	—	26,547,028	26,547,028	—	—	—	—

資料—中国電力株式会社広島支店

需用別電力消費量



電力需用

契約口数

年 度	総 数	業務用	小 口	大 口	臨 時	農 事 用
昭和25年度末	2,774	42	2,488	123	49	12
26	2,905	41	2,694	131	34	5
27	2,482	49	2,243	130	40	20
28	3,336	61	3,068	132	58	17
29	3,552	76	(3,274) 3,399	(134) 9	17	51

資料—中国電力株式会社広島支店

備考 昭和29年度小口電力には、元大口電力の一部として取扱われた契約電力50KW～500KW未満のものを含み、従って大口電力には含まない。しかし、従来の区分によるものを()内に掲載した。

電力消費量

年 度	総 数	業務用	小 口	大 口	臨 時	農 事 用
昭和25年度	67,442,317	7,611,714	8,568,822	50,581,392	669,551	10,838
26	66,464,287	6,599,976	9,088,111	50,033,080	742,640	480
27	74,502,046	7,866,774	10,419,096	54,756,118	1,361,413	98,645
28	80,700,346	9,083,281	12,202,092	56,629,416	1,879,198	306,359
29	85,889,647	10,202,379	(13,345,549) 26,298,559	(60,120,659) 47,167,649	1,909,389	311,671

資料—中国電力株式会社広島支店

備考 昭和29年度小口電力には、昭和29年10月以降、元大口電力の一部として取扱ってきた契約電力50KW～500KW未満のものを含み、従って大口電力には含んでいない。しかし従来の区分によるものを()内に掲載した。

ガ ス

広島瓦斯株式会社(本店所在地=市内基町)では、家庭熱源としてのガスの優位性が、漸次認識されてきている現状に呼応し、市民の文化的家庭生活の向上を図るため、また現在全国都市の平均普及率より低位にある本市のガス需用を増大させるために、昭和27年ガス増強5カ年計画をたてた。この計画によると完成年度である昭和32年における需用状態を、大体次のように引き上げることになっている。まず需要戸数は戦前最盛時であった昭

和/6年(13,910戸)の約12%増にあたる15,550戸に、また、販売容量は昭和/6年(1年間の推計販売量6,366,240立方メートル)の約2倍強に相当する13,643千立方メートルとなっている。

次に昭和29年におけるガス需用の状況をみると、12月末日現在需用戸数は10,975戸で前年より8.8%増加し、販売量は8,623千立方メートルで23.5%も増加した。また、需用戸/戸平均に対する販売量も前年の692立方メートルより13.6%増加して、本年は786立方メートルとなっている。なお、前記年末現在における需用状態は、ガス増強5カ年計画による昭和29年の予定値よりは、戸数において2.3%販売量において0.2%と、ともにやや下回っているが計画は概して順調に進められている。

ガス需用戸数

年次	総数	家庭用	商業用	医療用	公用	工業用	自家用
	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
昭和25年末	5,306	4,445	658	135	32	20	16
26	6,952	5,957	778	143	36	25	13
27	8,740	7,376	1,123	159	45	26	11
28	10,089	8,533	1,311	162	45	27	11
29	10,975	9,297	1,413	122	52	79	12

資料=広島瓦斯株式会社

ガス生産量及び消費量

年次	生産量	消費量						
		総数	家庭用	商業用	医療用	公用	工業用	自家用
	立方メートル	立方メートル	立方メートル	立方メートル	立方メートル	立方メートル	立方メートル	立方メートル
昭和25年	3,150,168	2,638,786	1,578,894	539,213	172,740	46,216	193,692	108,031
26	5,238,866	3,843,463	2,051,861	1,016,096	340,103	60,971	253,033	121,399
27	6,203,147	5,461,417	2,989,673	1,611,223	272,691	161,715	287,674	138,441
28	7,476,381	6,979,427	3,525,615	2,301,779	430,655	200,695	413,102	107,581
29	9,219,517	8,622,913	4,530,518	2,707,356	508,291	216,571	587,510	72,667

資料=広島瓦斯株式会社

第19編 上・下水道

一、本廠の生産品は、主として、
 二、本廠の生産品は、主として、
 三、本廠の生産品は、主として、
 四、本廠の生産品は、主として、
 五、本廠の生産品は、主として、
 六、本廠の生産品は、主として、
 七、本廠の生産品は、主として、
 八、本廠の生産品は、主として、
 九、本廠の生産品は、主として、
 十、本廠の生産品は、主として、

ガス使用戸数

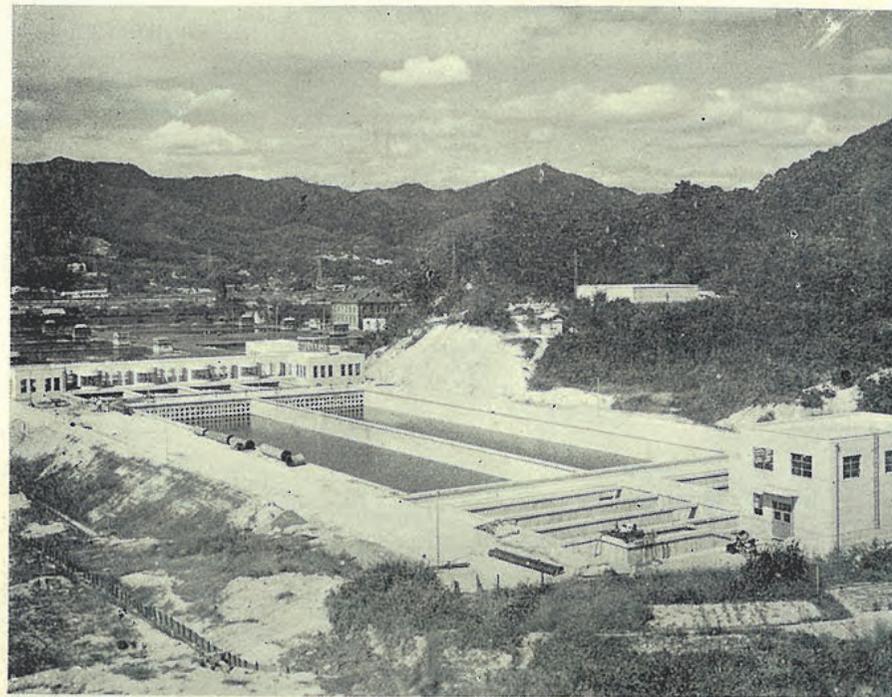
年	数	東京市	高松市	高松市	高松市	高松市	高松市
昭和25年	19	18	18	18	18	18	18
26	2,228	8,653	658	70	25	18	18
27	2,746	7,325	674	70	25	18	18
28	10,048	6,233	7,767	60	25	18	18
29	10,078	9,274	7,871	72	25	18	18

資料一 広島瓦斯株式会社

方式生産量及び消費量

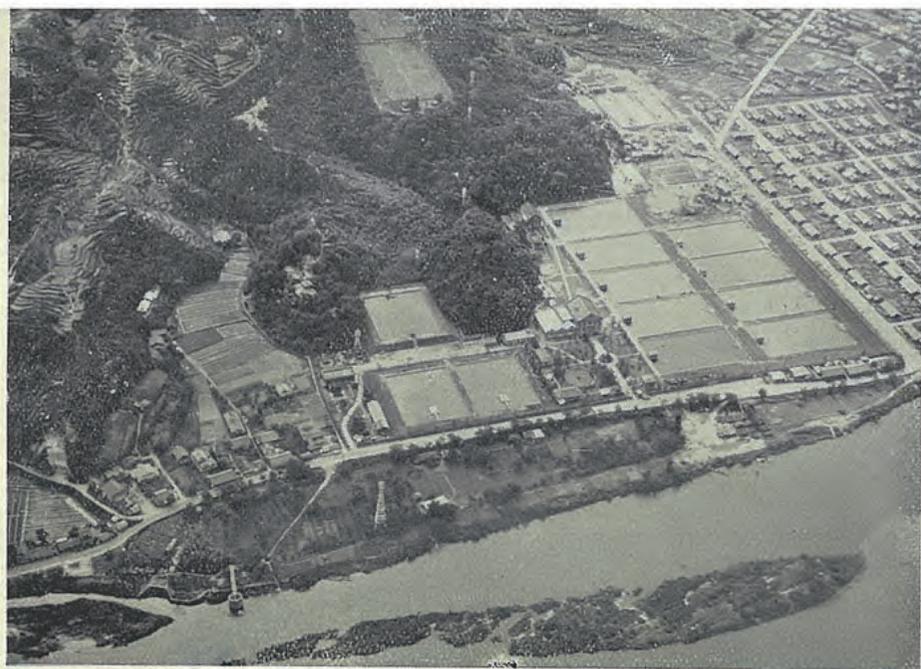
年	生産量		消費量		生産量		消費量	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
昭和25年	1,130,168	2,821,578	539,373	173,760	46,376	143,689	108,053	
26	5,238,463	14,482,051	1,016,096	340,163	69,971	253,053	187,399	
27	5,203,147	14,117,589	1,011,223	379,491	161,711	287,674	181,441	
28	7,476,331	20,919,427	1,525,615	501,077	431,659	100,045	103,102	
29	9,219,573	25,022,916	1,530,510	510,356	510,291	116,121	107,510	

資料一 広島瓦斯株式会社

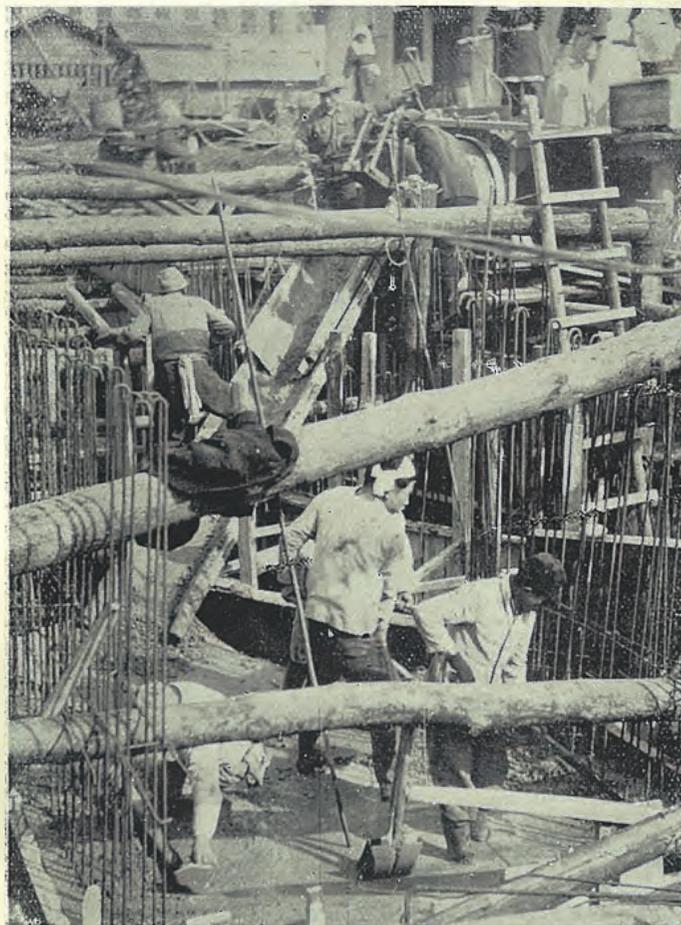
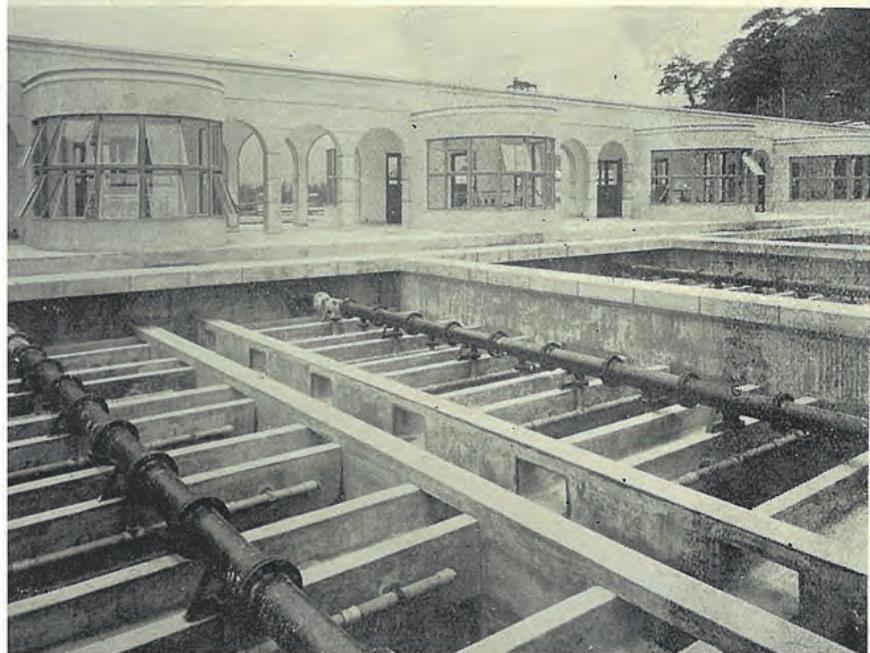


薬品沈澱池及び急速ろ過池

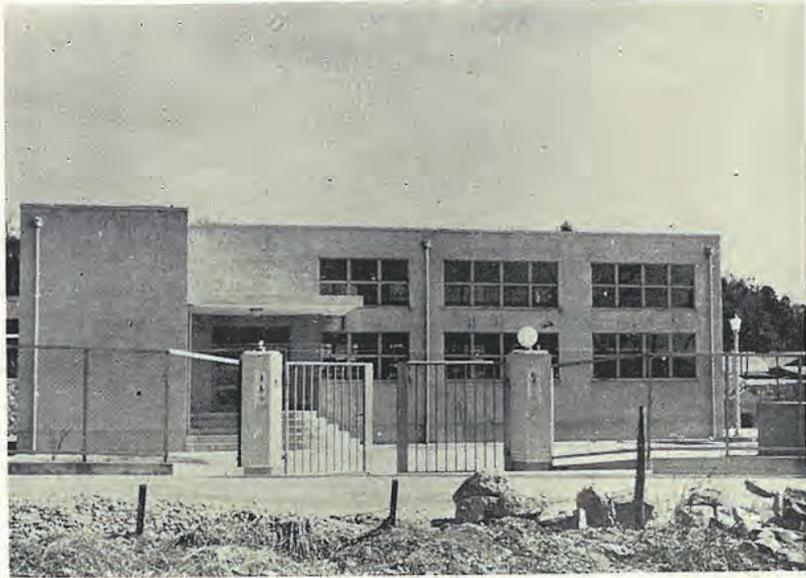
浄水場施設全景



急速ろ過池



下水管コンクリート打(千田町)



鶴見ポンプ所



ヒューム管の埋設工事

上水道

本市の上水道は、明治32年1月軍用水道の給水開始と同時に、一般市民に対する給水も開始され、当時の給水量は1日平均3,329立方米（1日最大給水量5,929立方米）で、1年間の総給水量は121万5千立方米であった。その後人口の増加につれて需用量も激増してきたため、従来の施設能力ではその需用に応じ切れず、明治40～41年に第1期拡張工事を施行し、以後太平洋戦争前までに3期にわたる拡張工事、並びに改良工事が施行され、その結果給水量は1日平均78,809立方米（1日最大給水量106,420立方米）となり、1日平均給水量は創設当時の約24倍に増強された。さらにその後第4期拡張工事計画がたてられ工事に着手したが、間もなく太平洋戦争が始つたために工事は中断され、その上昭和20年8月には原爆によって現有施設の大半を失い終戦を迎えた。戦後は、戦災復旧工事に全力を傾け昭和26年大体の復旧を完了し、1日平均約8万3千立方メートルの給水が行えるようになった。しかし、この頃より市街の復興は目覚ましく将来の発展に備えるため、前述の第4期拡張工事計画を再検討の上新工事計画をたて、昭和27年度より6カ年継続事業として現在工事が進められている。

この第4期拡張工事は「広島平和記念都市建設法」の構想にもとづき、昭和38年度総人口を40万人、そのうち給水人口を約80%にあたる35万人と予定し、1日最大12万立方メートルの給水施設を建設するもので、総事業費は約12億1千8百万円で、昭和29年度までに約3億3千2百万円（総工事費の27%）をもつて、薬品洗滌池2池、緩速ろ過池2池、浄水池1池等が完成している。（施行状況は次表の通り）

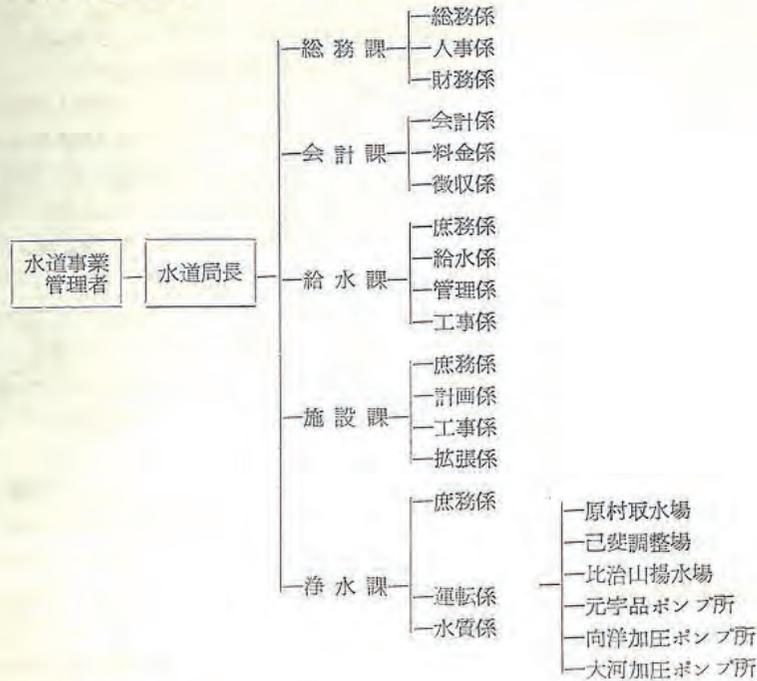
なお、この年の給水状況は1日平均給水量90,018立方メートル、1日最大給水量は10万立方メートルで、年間給水量は約3,150万立方メートルであった。

第4期拡張工事施行状況（昭和29年度）

工事施設名	数	量	工事費	摘	要
総額	—	—	千円 97,700	工事費総額約12億1千8百万円、昭和29年度までの施行額合計3億3千2百万円	
緩速攪拌機用電磁機	4	個	95	{ 動力式ホイラーホットム型 固定式表面洗滌装置付 幅8.8m×長2.85m 幅14m×長14m 有効容量401.8m ³	
緩速攪拌機支台	1	池分	352		
急速ろ過池	4	池分	66,499		
洗滌水槽	1	池	4,740		
塩素滅菌機	2	台	384		
場内配管	{ 800～900mm＝ 34.24m 700mm＝233m 100～700mm＝ 495m		14,984		
事務及び工事雑費			10,646		

資料＝水道局総務課

広島市水道局機構



職員数

所 属	総 数	事務吏員	技術吏員	その他の職員	臨時職員
総 数	459	47	57	288	73
総 務 課	57	15	2	27	7
会 計 課	110	18	2	65	25
給 水 課	143	1	21	97	24
施 設 課	77	4	24	34	9
浄 水 課	84	3	8	65	8

資料=水道局総務課

昭和29年事業概況

近年水道事業費は拡張事業、戦災復興事業あるいは改良事業への充当額が増加し、これに加えて昭和27年水道企業法施行以来、減価償却費及び除却費の計上等各方面において費

用が膨張し、従つて各種工事の施行は相当に大幅な制約を受けざるを得ない現状である。

しかし、本年はこのような財政事情下でありながらも、第4期拡張工事を始め、認証事業である区画整理にともなう配水管の移設、及び増設工事等の主要工事はすべて予定通り施行され、また、特に市民に直接影響を及ぼす配水管の維持補修と、漏水防止には多大な努力を注いだ。

なお、昭和27年度において旧軍用水道給水施設としての牛田水源池、及び取水場と宇品に至る配水本管、並びにその用地の無償譲渡（見積価額約9,700万円）を受けたが、本年度末さらに下記物件が無償譲渡された。

譲渡物件名

第5師団関係水道施設全般。

被服支廠、兵器支廠、糧秣支廠、運輸部等19カ所における鉄管類、消火栓、制水弁等

水道施設一式

見積価額

約1,900万円

施設状況

取水・ろ過・減菌・送水施設

施設	区 分	戦 前	現 在
取水設備	取水用ポンプ	4台(うち予備1台)	6台(うち予備2台)
	最大取水能力	1.32m ³ /s(1台の能力 0.33m ³ /s)	1.98m ³ /s(1台の能力 0.33m ³ /s)
ろ過設備	緩速ろ過池	10池(うち予備2池)	12池(うち予備2池)
	有効総面積 一昼夜標準ろ過速度 一昼夜ろ過能力	16,590m ² (うち予備3,316m ²) 7.2m 95,594m ³	21,496m ² 5.2m(うち予備3,582m ²) 5.2m 93,152m ³
減菌設備	塩素減菌器	3 基	4 基
送水設備	送水用ポンプ	10台 (うち予備5台 ディーゼル内燃機直結 ポンプ3台)	10台 (うち予備5台 ディーゼル内燃機直結 ポンプ3台)

資料=水道局総務課

調整場・加圧ポンプ所

施設	区 分	能力(1台揚水量)	調整池 容量
己斐調整場	横型タービンポンプ 3台	2.27m ³ /m	877m ³
元宇品	横型3段タービンポンプ 2台	0.5	126

比治山	ク	直立式3段タービンポンプ / 台	4.6	100
向洋加压ポンプ所		横型タービンポンプ / 台	7.0	-

資料=水道局総務課

配水管延長及び水管橋

配水管	水管橋		
	水管橋	添架	伏越
鋼管・ビニール管・エタニット管	4	16	4
436,334.6m			

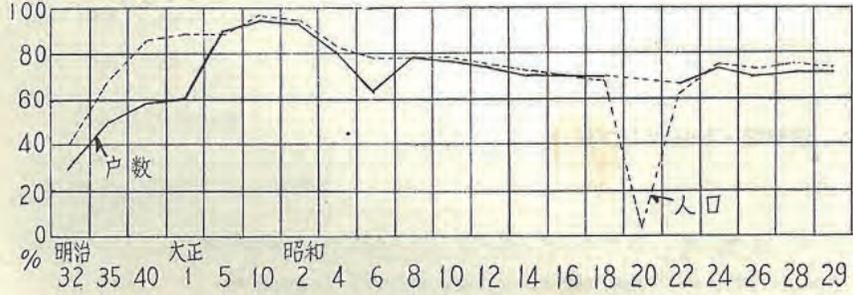
資料=水道局総務課

給水状況
給水戸数及び人口

年次	給水戸数及び人口		普及率	
	戸数	人口	戸数	人口
明治35年	16,397	81,555	48%	69%
大正10年	37,910	154,436	97	97
昭和25年	52,762	211,048	73	73
26	53,957	221,832	70	73
27	57,233	237,233	71	75
28	60,124	251,268	71	76
29	65,839	275,701	73	80

資料=水道局総務課

給水普及率

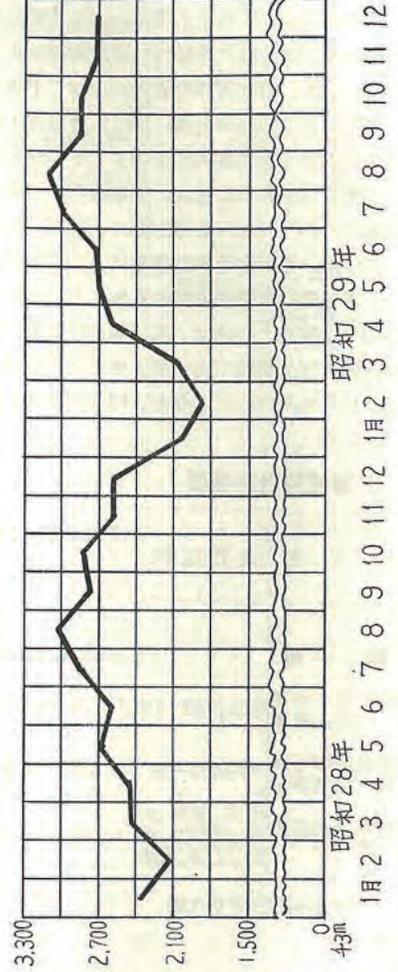


配水量

年次	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
昭和25年	30,666.2	2,489.4	1,984.3	2,597.6	2,471.3	2,507.4	2,687.8	2,687.8	2,832.1	2,687.8	2,723.9	2,507.4	2,577.6
26	30,215.3	2,579.6	2,327.0	2,597.6	2,579.6	2,669.8	2,651.7	2,507.4	2,507.4	2,507.4	2,435.3	2,345.1	2,507.4
27	28,879.8	2,272.9	2,164.7	2,363.1	2,363.1	2,507.4	2,399.2	2,469.4	2,723.9	2,507.4	2,543.5	2,345.1	2,200.1
28	31,419.9	2,361.0	2,119.5	2,452.4	2,447.1	2,689.3	2,582.6	2,870.9	3,048.2	2,761.2	2,856.7	2,601.8	2,629.2
29	31,535.5	2,081.7	1,947.4	2,081.7	2,620.0	2,716.2	2,729.1	2,971.9	3,174.7	2,899.7	2,876.2	2,729.6	2,707.3

資料=水道局総務課

月別配水量



下水道

本州市街地の大部分は太田川の三角州に立っているために、河川の高水面よりは低位にあり堤防により囲まれている。このような特殊地形の関係上、衛生的、あるいは産業的見地からも、また、都市の美観を図る上からも本市における下水道事業は特に重要でありかつ、早急に完全整備されなければならない問題である。

したがって本市の下水道は、古く市制施行直後より計画着工され、あるいはその後においては都市の発展に伴なつて逐次増補改良工事が行われ、今次大戦前までには相当整備されていたが、昭和20年の戦災によつて下水道も少なからざる被害を受けた。

戦後は、都市復興計画に伴ない被災区域はもちろん、全市域にわたる改良下水道施設工事を計画（事業費約30億円）して、昭和25年度より都市復興5カ年計画事業の一環として工事に着手した。更に、翌年政府より第1期下水道築造事業（10カ年継続、事業費約15億8千万円）の施行認可を得て、現在その完成を目指して着々と工事が進められている。

この第1期下水道築造事業は、前述の都市復興5カ年計画区域内をも併せて行うもので、本年度は事業費総額の6%にあたる約9千6百万円をもつて千田・観音・江波排水区の幹線管きよの築造、及び鶴見抽水所（継続）・千田抽水所（第1年度）の築造が行われた外、宇品幹線下水道築造事業（一応予定を完成）、及び排水施設整備事業が約750万円を費して施行された。なお、昭和29年度までの事業別工事執行状況は次表の通りである。

事業別計画概要

事業名	施行区域	排水面積	計画排水人口	施設			起工年月日	完成年月日	事業費
				管きよ	抽水場	汚水処理場			
総数	—	ヘクタール 2,430	人 289,700	m 239,490	カ所 9	カ所 7	—	—	千円 2,162,600
第1期下水道築造事業	戦災区域一円	1,170	163,400	221,100	4	1	昭.26.4.1	昭.36.3.31	1,579,600
宇品幹線下水道築造事業	宇品町一部	30	4,300	490 (幹線水路)	—	—	昭.27.4.1	昭.36.3.31	11,000 (都市計画決定のみ認可)
排水施設整備事業	牛田、尾長、大洲、段原旭、吉島、江波、草津	1,230	121,000	17,900	5	—	昭.26.4.1	昭.36.3.31	572,000

資料=建設局下水課

事業別進捗状況

事業	年度	施行状況			施行事業費
		区分	施設	数量	
総額	—	—	—	—	千円 357,927
第一期下水道築造事業	昭和28年度まで	管きよ築造	千田・鶴見・江波排水区幹線	18,710m	198,484
		抽水所築造	鶴見抽水所	1カ所	28,000
	計	—	—	226,484	
	昭和29年度	管きよ築造	千田・鶴見・江波排水区幹線(継続)	8,047m	50,751
抽水所築造		鶴見抽水所(継続)千田抽水所(第1期)	2カ所	45,586	
計	—	—	96,337		
合 計	—	—	管きよ26,757m 抽水場2カ所	322,821	
宇品幹線下水道築造事業	昭和28年度まで	管きよ築造	幹線	380m	10,200
	昭和29年度	〃	〃 (第3期)	363〃	3,950
	合 計	—	—	管きよ 743〃	14,150
排水施設整備事業	昭和28年度まで	抽水所築造	江波・吉島抽水所	2カ所	17,364
	昭和29年度	〃	吉島抽水所(第2期)	1〃	3,586
	合 計	—	—	2〃	20,950

資料=建設局下水課

施設状況

管きよ
暗きよ

年次	総延長	口径別内訳				
		40mm未満	40~45mm	45~100mm	100~150mm	150mm以上
昭和26年	m 163,730	m 113,810	m 12,600	m 30,260	m 6,060	m 1,000
27	171,220	118,600	13,210	31,740	6,280	1,390
28	194,660	137,040	14,970	33,440	7,090	2,120
29	207,490	147,220	15,490	35,230	7,430	2,120

資料=建設局下水課

開 き よ

年 次	総延長	幅 員 別 内 訳			
		100櫃未満	100~200	200~300	300櫃以上
昭和26年	196,800 m	38,760 m	90,160 m	42,630 m	25,250 m
27	197,130	38,880	90,760	42,630	24,860
28	197,960	38,880	91,440	42,780	24,860
29	197,960	38,880	91,440	42,780	24,860

資料=建設局下水課

抽 水 所

年 次	抽水所数	ポンプ施設台数						排水能力	排水面積	洗砂池	
		型 式		馬 力						池数	総有効容量
		横型軸流	縦型軸流	複吸巻渦	100馬力未満	100~150馬力	150馬力以上				
昭和26年	13	10	7	12	12	9	8	30.64 m ³ /s	3,042 ㏊	—	— 立米
27	15	12	9	10	10	13	8	34.87	3,263	3	514,500
28	15	12	9	10	10	13	8	34.87	3,263	3	514,500
29	15	12	9	11	11	13	8	35.07	3,263	3	514,500

資料=建設局下水課

貯留池・樋門及び吐口

年 次	貯 留 池(放流調節)		樋 門	吐 口
	池 数	総有効容量		
昭和26年	—	m ³ 57	カ所 57	カ所 93
27	8	315,170	57	93
28	8	333,170	40	82
29	7	219,170	40	82

資料=建設局下水課

灌 漑 所

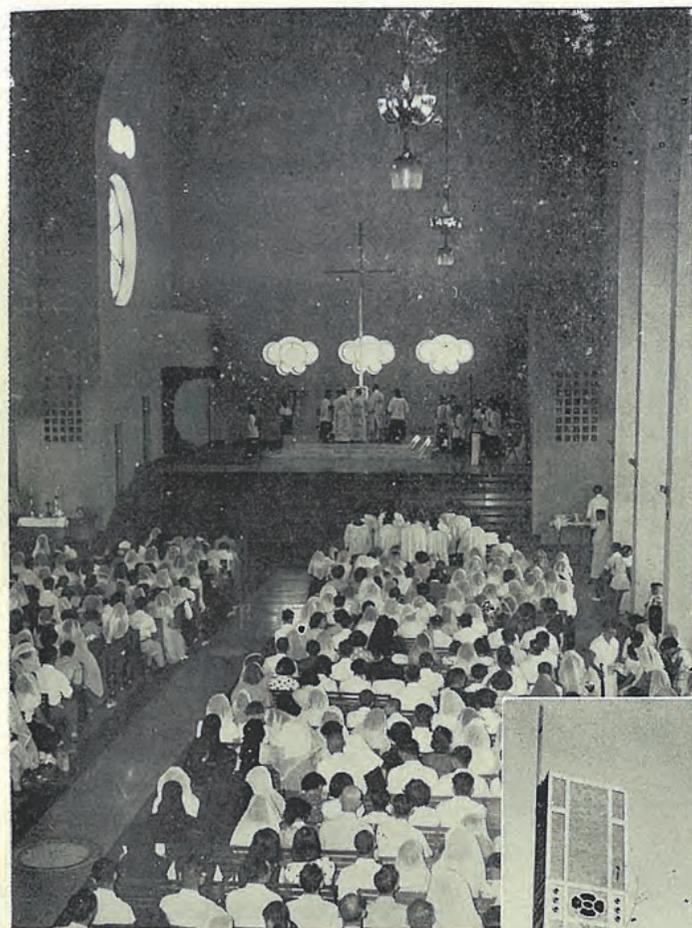
年 次	灌漑所数	ポンプ施設台数			灌漑能力	灌漑区域面積
		型 式		馬 力		
				50馬力未満		
昭和29年	5	複吸巻渦		5	2	m ³ /s 1.64 ㏊ 478

資料=建設局下水課

備考 本施設は最近数年間は変動していない。

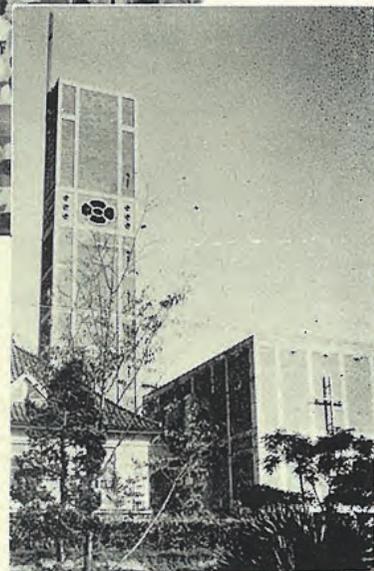
第20編 市民生活

第20屆市員選舉



同 内 部

(毎日新聞社提供)



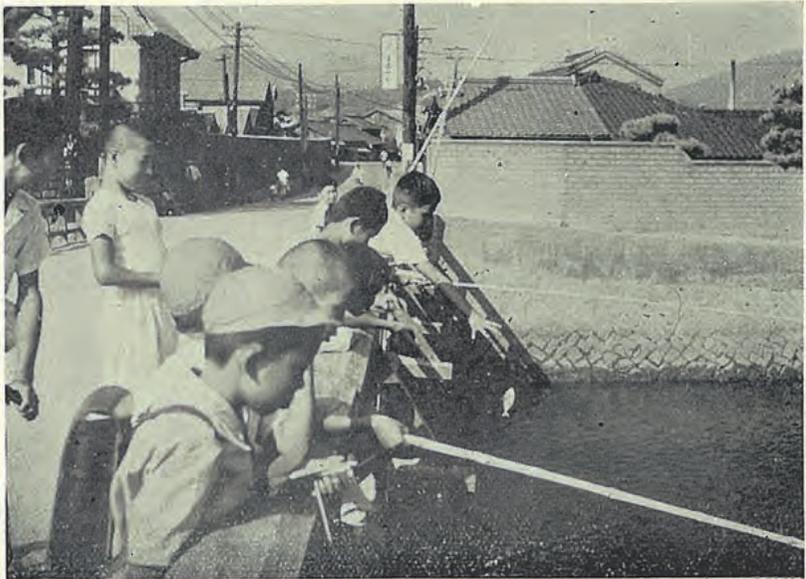
世界平和記念聖堂



海水浴(市内河川にて)



熱狂するカーブファン (広島総合球場)



魚釣り



秋祭り(空鞆神社)



福屋百貨店



天満屋百貨店

天満屋売場風景



同売場風景



森永百貨店

市民道徳

- 一、強い信念を持つて平和のためにつくしましょう。
- 一、正直で謙讓な市民になりましょう。
- 一、思うことを正しく言える市民になりましょう。
- 一、言葉は静かに愛想よくいたしましょう。
- 一、他人の私事についてよくないうわさをすることをやめましょう。
- 一、会合の時間はきちんと守りましょう。
- 一、交通規則を守り老幼婦女子に席を譲りましょう。
- 一、公園や道路に紙くずやきたない物を捨てないようにいたしましょう。
- 一、草木鳥獸を愛しましょう。
- 一、服装を正し胸を張り大手を振つて歩きましょう。



広島中央放送局
(JOFFBK)

ラジオ中国 (JOER)



中国新聞社

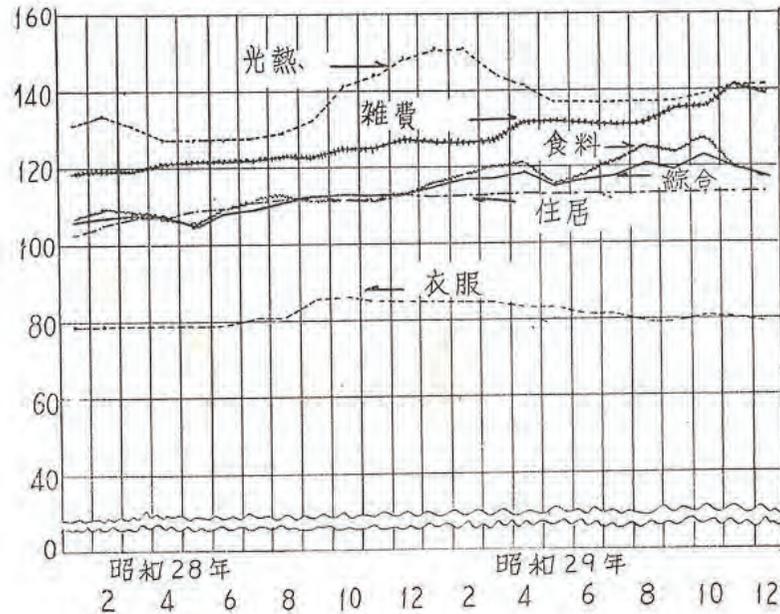


物 価

この年の消費者物価指数をみると全般的に10月頃までは横ばいで推移してきたが、ようやくこの頃よりデフレ政策による金詰りが影響し始めてきたのか以後は漸次下落してきているようである。この年12月末日現在の各費目別の物価指数（昭和26年=100）をみると食料指数117.5（うち主食132.3、非主食108.0）、被服指数79.9、光熱指数141.1、住居指数113.2、雑費指数139.8となっており総合指数は117.8であつた。次にこの年の年間平均指数と前年の年間平均指数とを比較してみると、被服指数の0.6%を最低として住居指数4.0%、光熱指数7.9%、食料指数10.1%（うち主食11.9%、非主食9.0%）、雑費指数10.6%とそれぞれ騰貴し結局総合指数では8.4%の騰貴となつている。

昭和28・29年消費者物価指数

昭和26年=100 (広島市)



消費者物価指数 (広島市)

昭和26年=100

年 月	綜 合	食 料			被 服	光 熱	住 居	雑 費
		食 料	主 食	非主食				
昭和23年平均	72.7	79.9	79.5	80.3	81.3	59.6	62.7	55.8
24	90.3	92.5	88.6	95.7	110.1	79.2	89.7	80.4
25	89.8	89.9	88.0	91.5	96.6	92.5	86.0	84.9
26	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
27	103.7	104.7	112.3	99.8	81.1	117.2	103.1	113.4
28	109.6	110.1	121.7	102.5	81.6	133.2	108.6	121.9
1月	106.0	106.5	118.8	98.6	78.7	130.6	103.0	118.1
2	107.9	109.1	119.9	102.2	79.4	133.8	104.8	118.5
3	107.3	108.6	120.7	100.7	78.8	130.3	106.4	118.3
4	107.5	107.9	120.9	99.5	78.9	127.2	106.8	121.5
5	105.9	104.8	120.7	94.5	79.4	127.1	107.4	121.7
6	108.0	108.5	121.6	100.0	79.6	127.3	108.4	121.6
7	109.7	111.0	122.3	103.6	80.8	127.7	109.7	121.6
8	111.1	112.9	123.0	106.4	81.1	128.7	110.4	122.4
9	111.2	111.8	122.6	104.8	85.8	132.2	111.4	122.2
10	113.7	114.3	123.0	108.7	86.5	141.5	112.2	124.5
11	113.1	113.3	123.7	106.7	85.1	144.0	111.3	124.7
12	113.0	111.9	123.7	104.3	85.0	148.5	111.6	127.3
29年平均	118.0	120.2	133.6	111.5	82.0	141.1	112.6	132.5
1月	115.2	116.0	132.4	105.5	84.8	151.0	112.6	126.1
2	116.8	118.5	133.2	109.1	84.7	151.4	112.6	126.5
3	117.4	120.0	133.8	111.1	84.7	144.0	112.7	127.5
4	118.5	120.9	134.0	112.5	83.7	140.6	112.4	131.6
5	115.5	115.8	134.3	103.9	83.3	137.3	112.1	132.0
6	116.3	117.9	134.4	107.3	81.4	136.8	112.4	131.5
7	117.9	121.1	133.9	112.8	80.4	136.8	112.5	131.2
8	120.2	125.2	133.6	119.8	79.9	136.9	112.3	131.8
9	119.5	122.6	133.6	115.5	79.9	136.7	112.2	135.6
10	122.3	126.8	134.3	122.1	80.8	139.5	113.5	135.8
11	119.1	119.6	133.0	111.0	80.2	140.8	113.3	140.3
12	117.8	117.5	132.3	108.0	79.9	141.1	113.2	139.8

資料—総理府統計局

主要品目の小売価格 (広島市)

品名	単位	昭和27年3月	昭和28年3月	昭和29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
精米	1 升	137	158	140	169	168	169	172	173	174	171	169	173	166	161
小麦粉	1 貫	230	192	196	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197
食パン	1 0 0 匁	23	29	25	25	27	27	27	27	27	27	27	28	28	28
いわし	〃	22	19	20	20	22	21	19	21	26	26	27	24	25	27
煮干	〃	83	76	91	90	103	106	111	118	142	142	90	85	86	81
牛肉	〃	144	144	144	149	168	168	166	168	166	166	166	166	166	166
豚肉	〃	148	130	121	136	163	162	162	160	158	156	154	157	157	157
牛乳	1 (1合)	12	13	12	13	12	13	13	13	13	13	13	13	13	11
鶏卵	1 0 0 匁	74	113	78	116	103	94	86	83	86	96	104	106	88	83
甘しよ	1 貫	80	70	58	57	62	65	72	76	87	85	147	84	76	81
ぼれいしよ	〃	117	94	117	113	111	106	113	126	58	82	101	110	103	97
大豆	1 0 0 匁	5	8	3	12	4	5	8	—	8	9	10	17	21	6
玉ねぎ	〃	13	13	16	6	11	11	13	20	5	7	12	15	19	22
干のり	1 0 枚	50	64	73	78	78	81	83	88	92	94	98	100	120	111
豆腐	1 0 0 匁	15	15	15	14	15	14	16	16	16	16	16	22	16	16
しよ油	1 (2立)	171	162	166	164	169	171	172	171	171	171	171	171	171	171
みそ	1 0 0 匁	29	27	28	29	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30
砂糖	〃	72	50	43	44	47	54	58	55	55	55	57	60	61	60

食用油	1 合	39	35	29	28	31	33	37	38	36	34	36	37	36	36
りんご	1 0 0 匁	37	25	25	33	30	31	35	35	39	43	—	50	—	31
木綿地	1 ヤール	98	95	94	120	103	103	104	101	99	96	96	97	96	92
毛織地	〃	1,688	1,656	2,328	2,575	3,122	3,100	3,111	3,150	3,014	2,900	2,780	2,783	2,772	2,772
ぬい糸	1 (5匁)	27	21	21	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18
毛糸	1 ポンド	1,811	1,807	1,800	2,017	1,944	1,944	1,917	1,867	1,844	1,756	1,672	1,617	1,578	1,556
靴(男子用)	1 足	68	62	56	76	75	74	75	74	71	70	68	67	71	71
木炭	1 俵 (15kg)	292	295	351	401	433	433	411	391	379	379	378	378	383	397
まき	1 束	33	32	34	36	41	41	40	39	37	37	37	37	37	37
なべ	1 個	236	224	223	220	227	227	227	227	224	224	224	222	224	222
ちり紙	1 0 0 枚	11	9	9	10	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11
せつけん	1 個 (80g)	39	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30

資料=総理府統計局

都市別主要食料品小売物価の比較 (昭和29年/2月)

都 市	精 米 (圓)		食パン	小麦	糖	牛	肉	牛乳	鶏卵	ぼれいしよ	ねぎ	豆腐	沢あん漬
	1 升	1 匁											
広 島	161.00	161.00	28.70	57.20	100匁	166.00	11.70	83.60	97.40	100匁	10.50	16.60	21.20
東 京	156.00	156.00	22.60	60.60	100匁	173.00	14.40	83.70	93.30	100匁	10.70	20.40	22.00
横 濱	163.00	163.00	24.20	61.20	100匁	173.00	14.50	83.70	83.10	100匁	10.30	17.70	20.80

全世帯1カ月平均消費支出額 (広島市)

支出区分	昭和29年 / 月											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
消費支出総額	円 77,296	円 79,353	円 79,639	円 21,600	円 20,433	円 20,377	円 21,995	円 23,487	円 20,665	円 22,708	円 79,366	円 30,264
飲食	8,436	9,027	10,578	10,295	10,027	10,790	10,671	11,675	10,562	11,593	9,709	12,976
穀類	3,190	3,533	4,430	3,845	4,150	4,386	4,148	4,178	3,803	4,302	3,921	5,167
米	2,441	2,544	3,353	2,942	3,161	3,350	3,127	3,247	2,923	3,350	3,014	4,095
麦	295	446	429	327	373	362	324	294	250	329	333	359
パン	204	282	378	353	389	392	452	401	394	349	326	330
その他	250	261	270	223	227	282	245	236	236	274	248	383
生鮮魚介類	877	906	981	900	872	963	945	925	911	1,001	937	1,168
干魚	173	189	216	192	190	234	257	237	206	204	158	314
肉類	828	855	943	976	928	1,018	1,069	1,338	1,172	1,130	867	1,128
野菜類	527	551	674	745	798	839	1,000	948	1,017	1,010	785	816
その他の加工食品類	623	653	725	787	651	644	661	798	786	951	715	879
調味料類	573	662	840	716	980	879	802	779	815	734	678	1,026
菓子類	414	453	534	614	512	529	507	481	463	524	461	592
果物類	240	207	227	264	239	226	215	583	359	439	342	516
酒類	373	442	422	537	417	452	546	621	451	546	313	606
飲料	90	78	87	89	91	91	142	240	115	78	77	86
一般食料費	170	149	129	178	105	160	179	355	124	207	158	220
学校給食費	152	139	86	169	117	166	80	—	124	214	152	102
豆及乾物類	206	210	284	283	177	203	120	192	216	253	145	356
住居費	908	1,386	703	909	1,176	984	1,291	1,685	1,317	863	826	1,841

資料=総理府統計局

家賃	131	184	238	261	246	253	252	421	288	291	386	666
地租	71	166	163	139	339	45	131	510	680	183	151	348
修繕費	596	901	254	361	518	525	837	611	294	226	208	691
器具・什器	110	135	48	148	73	161	71	143	55	163	81	136
水道料	1,126	1,274	1,198	906	934	827	855	977	898	1,005	903	1,390
光熱費	401	350	353	344	356	354	312	374	326	385	374	352
ガス代	725	924	845	562	578	473	543	603	572	620	529	1,038
薪炭その他光熱費	1,570	2,201	2,015	2,792	2,007	2,236	2,661	2,489	1,568	3,058	2,810	5,479
被服費	1,040	1,490	1,345	1,729	1,158	1,360	1,511	1,550	945	2,218	1,917	3,547
衣類その他	530	711	670	1,063	949	876	1,150	939	623	840	893	1,932
その他の諸費	5,256	5,465	5,145	6,698	6,289	5,534	6,517	6,655	6,320	6,189	5,118	8,578
保健衛生費	788	864	973	943	991	1,153	989	1,002	1,055	959	879	1,308
出産育児費	51	70	63	48	8	6	13	—	9	18	19	16
交通費	328	264	298	400	368	338	321	544	355	300	334	537
学校教育費	775	1,049	924	1,726	1,291	858	1,186	161	1,053	761	724	661
交際費	980	864	894	1,205	1,366	1,075	1,342	1,456	1,117	976	981	1,208
交際費	943	604	833	912	926	631	994	1,458	637	967	731	1,851
煙草	357	262	298	244	277	356	386	338	331	302	261	383
送金	—	578	42	89	125	281	269	338	526	247	92	—
その他負担費	1,034	910	820	1,131	937	836	1,017	1,358	1,237	1,659	1,097	2,614

勤労者世帯1カ月間の家計収支 (広島市)

(収入)

年 月	収 入 総 額	内 訳					現 物 総 額
		実 収 入 額 総 額	実収入以外からの収入			前月からの繰越金	
			(内)勤めからの収入	先からの収入	外の収入		
昭和28年平均	円 35,486	円 24,962	円 23,128	円 4,110	円 6,411	円 3	円 1,083
29	37,333	26,392	24,376	4,396	6,542	2	1,050
1月	34,656	21,781	20,726	3,698	9,177	—	677
2	37,612	23,829	20,626	7,234	6,549	—	410
3	35,264	24,212	22,892	4,521	6,530	1	661
4	35,262	24,311	22,094	4,531	6,418	2	838
5	34,988	24,354	22,684	3,304	7,329	1	708
6	36,467	27,054	25,079	2,563	6,844	6	806
7	39,607	29,142	27,562	3,678	6,787	—	953
8	37,598	26,057	24,800	4,664	6,876	1	1,509
9	34,339	23,738	21,956	4,933	5,668	—	1,094
10	33,593	23,587	21,293	4,097	5,906	3	1,437
11	33,912	24,948	22,826	3,751	5,219	3	911
12	54,657	43,685	39,979	5,775	5,196	1	2,597

(支出)

年 月	支 出 総 額	内 訳										現物 総 額
		実 支 出 額 総 額	消費支出							非消費支出	翌月への繰越金	
			合計	飲食費	住居費	光熱費	被服費	その他諸費	非消費支出			
昭和28年平均	円 35,486	円 23,364	円 20,445	円 9,406	円 2,089	円 3,179	円 5,771	円 2,919	円 5,343	円 6,765	円 14	円 1,083
29	37,330	24,476	21,542	9,848	1,345	958	2,875	6,516	2,934	6,192	6,658	57,050
1月	34,656	20,163	17,602	7,846	1,345	952	1,793	5,666	2,561	6,993	7,500	— 677
2	37,612	23,215	20,669	8,688	1,814	1,177	2,686	6,304	2,546	7,188	7,202	7 410
3	35,264	22,041	19,308	9,484	718	1,073	2,626	5,407	2,733	6,160	7,063	— 661
4	35,262	22,867	20,521	9,127	1,062	835	2,876	6,621	2,346	5,433	6,958	4 838
5	34,988	22,844	20,619	9,193	1,683	851	2,284	6,608	2,225	5,311	6,831	2 708
6	36,467	23,851	20,492	10,097	1,279	741	2,356	6,019	3,359	5,690	6,909	17 806

7	39,607	26,074	21,978	9,941	1,390	850	2,900	6,897	4,096	6,363	7,161	9 953
8	37,598	26,348	23,989	11,430	2,019	930	2,735	6,875	2,359	6,204	5,045	11,509
9	34,339	22,767	19,881	9,935	1,010	818	1,644	6,474	2,886	5,412	6,155	51,094
10	33,593	24,273	21,359	10,443	860	946	3,053	6,057	2,914	4,705	4,614	11,437
11	33,912	22,187	19,318	9,039	886	895	3,078	5,420	2,869	5,606	6,116	12 911
12	54,657	37,077	32,764	12,955	2,071	1,427	6,466	9,845	4,313	9,235	8,342	32,597

資料—総理府統計局

全都市の勤労者世帯及び全世帯の平均家計収支

年 月	勤 労 者 世 帯		実収入に対する実支出の差	全 世 帯		エンゲル係数	消費者物価指数
	実収入総額	実支出総額		消費支出総額	実質消費支出金額指数		
昭和26年	円 16,532	円 16,235	+ 297	円 14,410	100.0	54.3	100.0
27	20,822	19,992	+ 830	17,862	118.1	51.1	105.0
28年1月	20,384	20,470	- 86	18,305	118.6	48.3	107.1
2	20,934	19,565	+ 1,369	17,545	112.0	51.9	108.7
3	22,393	22,288	+ 105	19,919	127.0	50.6	108.8
4	22,592	21,812	+ 780	19,519	123.7	50.1	109.5
5	23,397	22,355	+ 1,042	20,127	128.3	51.8	108.9
6	26,919	23,593	+ 3,326	20,033	126.2	51.7	110.2
7	27,112	25,602	+ 1,510	21,597	133.3	50.3	112.4
8	26,598	25,302	+ 1,296	21,291	130.1	53.5	113.6
9	24,775	23,960	+ 815	20,697	126.2	50.9	113.8
10	25,018	25,134	- 116	22,232	131.8	51.3	117.1
11	24,587	24,793	- 206	22,208	132.7	49.7	116.1
12	47,594	41,378	+ 6,216	33,102	197.7	47.7	116.2
昭和29年1月	23,726	23,506	+ 220	20,795	122.4	49.9	117.9
2	24,366	22,954	+ 1,412	19,931	116.5	52.1	118.7
3	25,724	25,833	- 109	22,369	130.4	51.3	119.0
4	26,188	25,022	+ 1,166	22,161	128.8	50.4	119.4
5	25,380	24,505	+ 875	21,971	128.6	53.4	118.6
6	31,639	26,701	+ 4,938	21,599	125.6	52.8	119.3
7	29,007	27,346	+ 1,661	22,853	132.3	50.8	119.9
8	27,128	25,896	+ 1,232	22,084	127.7	53.8	120.0
9	25,428	24,363	+ 1,065	21,408	124.1	51.4	119.7
10	26,782	26,040	+ 742	22,787	130.9	49.8	120.8
11	25,642	24,596	+ 1,046	21,673	127.1	50.3	118.3
12	48,386	40,369	+ 8,017	32,506	191.8	47.1	117.6

資料—総理府統計局

租 税

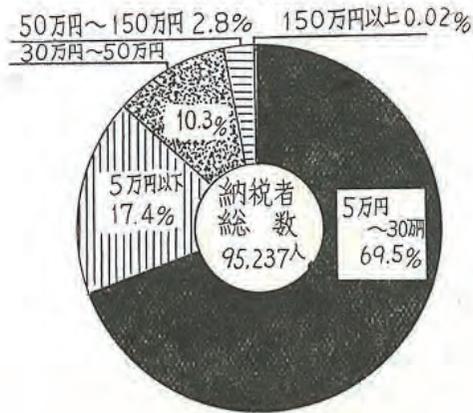
市民税所得段階別納税者数 (昭和28年度)

所得段階	納税者数	百分比	所得段階	納税者数	百分比
総 数	95,237	100.0	50万円以上～ 55万未満	696	0.7
1万円以下	10,146	10.7	55～60	451	0.5
1万円以上～ 5万円未満	6,452	6.8	60～65	367	0.4
5～10	18,332	19.2	65～70	300	0.3
10～15	18,218	19.1	70～75	174	0.2
15～20	13,652	14.3	75～80	132	0.1
20～25	9,334	9.8	80～85	102	0.1
25～30	6,607	6.9	85～90	80	0.1
30～35	4,051	4.3	90～95	62	0.1
35～40	2,868	3.0	95～100	61	0.1
40～45	1,726	1.8	100～150	220	0.2
45～50	1,181	1.2	150万円以上	25	0.0

資料—総務局市民税課

市民税所得段階別納税者数

(昭和28年度)



青果物及び魚類の入荷状況

広島市中央卸売市場入荷状況

単位=千貫・千円

部 別 月 別	そ 菜		果 実		加 工 水産物		生 鮮 水産物		びんか んづめ		つ け も の		鶏 卵		合 計	
	合計	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
1月	418	25,235	243	42,271	48	32,034	28	6,860	—	4,973	—	1,453	—	641	—	118,467
2	396	26,481	187	38,535	45	34,700	39	7,778	—	4,517	—	1,293	—	734	—	114,046
3	470	39,086	263	56,456	50	38,474	39	8,392	—	5,132	—	1,677	—	550	—	149,767
4	428	35,938	257	57,848	42	28,803	25	7,024	—	5,684	—	1,530	—	1,100	—	137,926
5	529	40,180	214	51,417	54	32,824	26	6,862	—	5,926	—	1,594	—	469	—	139,272
6	636	39,748	185	42,497	49	32,824	20	6,110	—	5,923	—	1,575	—	341	—	123,411
7	612	45,593	273	48,241	68	45,217	18	5,856	—	6,743	—	1,560	—	407	—	153,616
8	589	45,262	468	73,491	56	36,846	17	4,955	—	6,662	—	1,633	—	425	—	169,275
9	554	48,724	291	59,909	84	42,282	22	5,036	—	4,754	—	1,708	—	549	—	162,962
10	545	60,788	342	59,192	93	43,050	23	6,874	—	2,336	—	1,753	—	471	—	174,464
11	571	44,381	416	56,087	82	38,525	31	8,021	—	1,991	—	1,264	—	733	—	151,602
12	659	40,426	719	86,644	69	47,756	74	7,415	—	1,781	—	1,229	—	932	—	196,134

資料—広島市中央卸売市場

広島中央魚市場入荷状況

入荷数量	消費状況	
	市内消費	郡部消費
7,316,979	2,933,204	2,273,975
	賞	賞
	2,109,800	

資料＝広島中央魚市場産協同組合

嗜好品の消費状況
たばこ消費数量

年次	総数	富士	ピース	光	種	新生	ゴールデン パン	朝日	ハッピー	ききよう	みのり	富貴煙	特殊品	輸入 たばこ
昭和25年	454,037	千本	千本	千本	千本	千本	千本	千本	千本	千本	千本	千本	千本	千本
26	439,368	—	3,946	46,216	71,331	132,286	162,188	1,468	7,593	10,886	17,477	24	622	—
27	476,499	—	11,153	132,037	7,304	130,610	137,182	2,088	—	10,040	8,275	—	679	—
28	534,585	1,807	62,166	181,836	—	118,608	97,990	2,869	—	3,696	8,833	—	501	3,182
29	579,958	608	128,065	162,011	—	136,879	91,711	3,704	—	2,845	7,188	—	375	15,229
			49,357	111,072	—	259,124	85,748	4,581	—	2,601	6,232	23	612	2,036

資料＝専売公社広島出張所

- 備考 1. 特殊品とはアストリア、桃山、日光の3種類である。
2. 総数は輸入たばこを除いたものである。
3. 輸入たばこは数量不明のため金額にて示す。

酒類消費数量

年度月	総数	清酒	合成 清酒	白酒	味淋	焼酎	ビール	果実酒	雑酒	その他
昭和27年度	石 19,707	石 8,341	石 850	石 —	石 183	石 1,609	石 7,955	石 —	石 705	石 64
28	32,520	13,330	1,090	20	203	3,648	12,896	1	1,332	—
29	36,321	16,050	1,543	4	171	4,717	12,775	22	1,039	—
昭和29年4月	2,972	1,423	111	3	15	392	926	—	102	—
5	2,830	1,169	158	—	14	315	1,076	—	98	—
6	2,951	1,012	96	—	14	404	1,322	2	101	—
7	3,663	1,050	110	—	14	404	2,012	1	72	—
8	4,380	852	110	—	17	487	2,836	3	75	—
9	3,137	940	99	—	17	471	1,539	1	70	—
10	2,628	1,304	132	—	12	407	688	1	84	—
11	2,190	1,241	112	—	15	345	392	4	81	—
12	3,877	2,540	193	—	20	410	537	3	108	—
昭和30年1月	3,159	1,962	186	—	13	420	491	3	84	—
2	2,706	1,232	105	—	10	295	383	1	80	—
3	2,494	1,325	131	1	10	367	573	3	84	—

資料＝広島東・西税務署

備考 昭和27年度の「その他」は白酒と果実酒の合計である。

米穀の配給状況

用途別配給数量

月別	総数	一般消費世帯	妊娠加配	在宅結核 患者加配	その他
総数	トン 27,585.3	トン 27,556.4	トン 16.4	トン 12.5	トン 0.1
1月	7,652.9	1,650.0	1.4	1.5	—
2	7,654.9	1,651.7	1.4	1.6	—
3	7,778.0	1,775.0	1.6	1.4	—
4	7,786.3	1,784.0	1.5	0.8	—
5	7,783.6	1,781.2	1.5	0.9	—
6	7,804.7	1,801.8	1.5	0.8	—

7	1,809.4	1,806.2	1.3	0.9	0.1
8	1,817.0	1,808.7	1.4	0.9	—
9	1,817.9	1,810.7	1.1	0.8	—
10	1,799.0	1,796.8	1.3	0.9	—
11	1,822.5	1,820.1	1.2	1.2	—
12	1,824.9	1,822.6	1.3	1.0	—
正月加配	247.6	247.6	—	—	—

資料=産業局農水産課

種類別配給日数

月別	総数	内地米	準内地米	外米
昭和27年度	日分 185	日分 144	日分 —	日分 41
28	180	124	13.5	42.5
29	180	97	16	67
1月	15	8	1	6
2	14	7	1	6
3	15	8	1	6
4	15	8	1	6
5	15	8	1	6
6	15	7	4	4
7	15	7	3	5
8	15	9	—	6
9	15	9	—	6
10	15	8	2	5
11	15	8	2	5
12	15	9	—	6
正月用特配	7	1	—	—

資料=産業局農水産課

文化・娯楽
娯楽施設

年次	映画館	演劇館	野球場	競輪場	ダンスホール	麻雀場	パチンコ店	玉突場
昭和25年	14	1	1	—	13	11	2	12
26	18	2	1	—	25	12	10	16
27	17	2	1	—	15	14	111	6
28	23	2	1	1	14	16	88	6
29	23	2	1	1	11	24	92	6

資料=広島県税事務所

映画演劇場

名	所在地	所在地	名	所在地	所在地	名	所在地	所在地
ラ日太	広島	大須	柳島	下堀	座場	座場	座場	座場
太	広島	柳川	橋島	下堀	座場	座場	座場	座場
東	広島	柳川	橋島	下堀	座場	座場	座場	座場
洋	広島	柳川	橋島	下堀	座場	座場	座場	座場
名	広島	柳川	橋島	下堀	座場	座場	座場	座場
映	広島	柳川	橋島	下堀	座場	座場	座場	座場
画	広島	柳川	橋島	下堀	座場	座場	座場	座場
演	広島	柳川	橋島	下堀	座場	座場	座場	座場
劇	広島	柳川	橋島	下堀	座場	座場	座場	座場
場	広島	柳川	橋島	下堀	座場	座場	座場	座場

資料=広島市興業協会
備考 ※は封切館を示す。

映画館入場者数

年次	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
昭和25年	4,645,624	450,259	319,236	418,360	441,761	370,927	382,826	308,611	342,969	428,894	405,275	417,508	358,998
26	4,604,521	552,184	356,739	406,805	428,021	403,045	330,870	376,472	367,180	368,208	375,415	337,694	301,888
27	4,860,322	527,546	351,087	416,446	472,549	444,860	393,322	347,833	470,309	397,425	393,767	376,014	269,162
28	5,020,723	526,580	382,842	381,073	447,343	450,934	412,491	389,589	440,347	449,369	428,430	373,133	338,592
29	6,543,994	526,111	336,281	358,949	435,884	581,897	616,296	626,073	660,453	634,419	663,241	607,657	496,733

資料=広島県税事務所並びに広島東、西税務署

備考 1. 非課税入場者も含む。
2. 昭和29年5月18日以後は広島東、西税務署の合計である。

放送局

放送施設

N・H・K広島中央放送局 上流川町 { 第1放送(JOFK) 1,050キロサイクル
 第2放送(JOFB) 790キロサイクル
 ラジオ中国(R.C.C) 上柳町 (JOER) 1,240キロサイクル

ラジオ聴取者状況

年次	年末聴取 契約者数	年間増加数		年間減少数		差引年間 増加数	普及率
		加入	転入	廃止	転出		
昭和23年	34,443	10,181	1,716	2,861	737	8,299	53%
24	40,373	8,167	2,035	3,058	1,214	5,930	59
25	45,068	7,626	2,028	3,461	1,498	4,695	61
26	46,614	4,212	1,673	3,094	1,245	1,546	61
27	51,382	7,941	2,306	3,625	1,854	4,768	64
28	56,456	9,040	2,254	4,472	1,748	5,074	67
29	61,724	9,676	2,497	5,053	1,852	5,268	69

資料—広島中央放送局

電燈電話等の設置年月日 (広島市内)

種類	年月日	種類	年月日
汽 車	明治27年6月10日	ガ ス	明治42年10月30日
電 燈	明治27年10月9日	電 車	大正元年11月23日
水 道	明治32年1月1日	ラ ジ オ	昭和3年7月6日
電 話	明治34年2月11日	バス(市内バス)	昭和3年10月13日

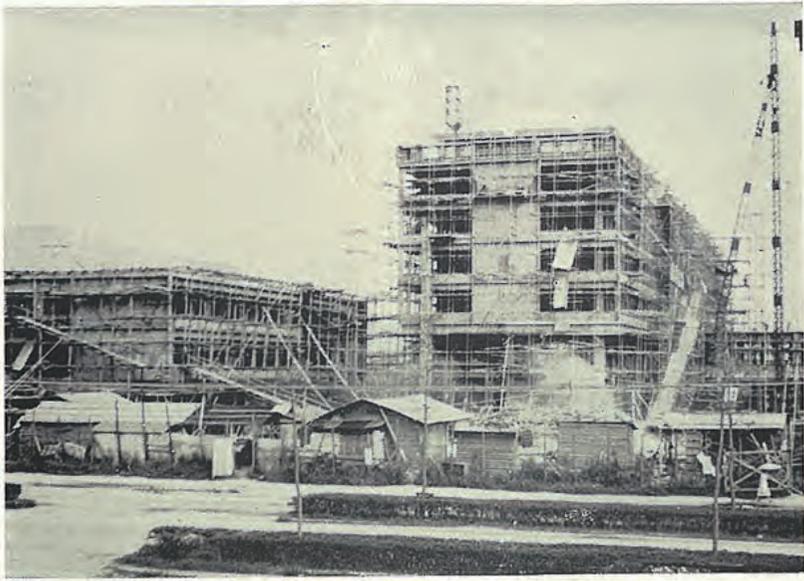
資料—各関係官公署・会社

第21編 都市建設

策 謀 市 街 畫 景



市 街 中 心 部 (西日本航空株式会社提供)

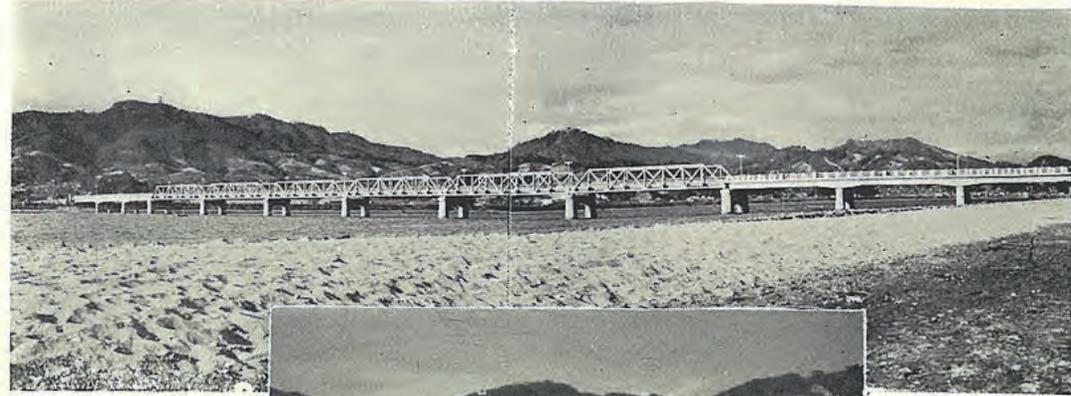


建築中の県庁舎



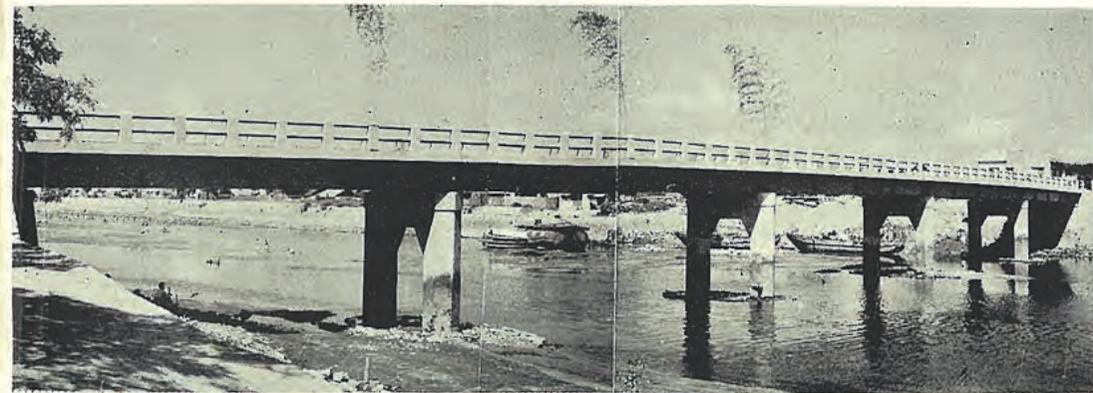
太田川改修工事 (毎日新聞社提供)

庚午橋 (延長313.3米)



同正面

観船橋



日本国憲法第九十五条の規定に基く広島平和記念都市建設法をここに公布する。

御名御璽

昭和二十四年八月六日

内閣総理大臣 吉田 茂

広島平和記念都市建設法（法律第二百十九号）

（目的）

第一条 この法律は、恒久の平和を誠実に実現しようとする理想の象徴として、広島市を平和記念都市として建設することを目的とする。

（計画及び事業）

第二条 広島平和記念都市を建設する特別都市計画（以下平和記念都市計画という。）は、都市計画法（大正八年法律第三十六号）第一条に定める都市計画の外、恒久の平和を記念すべき施設その他平和記念都市としてふさわしい文化的施設の計画を含むものとする。

2 広島平和記念都市を建設する特別都市計画事業（以下平和記念都市建設事業という。）は平和記念都市建設計画を実施するものとする。

（事業の援助）

第三条 国及び地方公共団体の関係の諸機関は、平和記念都市建設事業が、第一条の目的に於て重要な意義を持つことを考え、その事業の促進と完成とにできる限りの援助を与えなければならない。

（特別の助成）

第四条 国は平和記念都市建設事業の用に供するために必要

があることを認める場合においては、国有財産法（昭和二十三年法律第七十三号）第二十八条の規定にかかわらず、その事業の執行に要する費用を負担する公共団体に対し、普通財産を譲与することができる。

（報告）

第五条 平和記念都市建設事業の執行者は、この事業がすみやかに完成するよう努め、少くとも六箇月ごとに、建設大臣にその進捗状況を報告しなければならない。

2 内閣総理大臣は、毎年一回国会に対し、平和記念都市建設事業の状況を報告しなければならない。

（広島市長の責任）

第六条 広島市の市長は、この住民の協力及び関係諸機関の援助により、広島平和記念都市を完成することについて、不断の活動をしなければならない。

（法律適用）

第七条 平和記念都市建設計画及び平和記念都市建設事業については、この法律に特別の定がある場合を除き、特別都市計画法（昭和二十一年法律第十九号）及び都市計画法の適用があるものとする。

附則

1 この法律は、公布の日から施行する。

2 この法律施行の際現に執行中の広島特別都市計画事業は、これを平和記念都市建設事業とし、第二条第二項の趣旨に合致するように都市計画法第三条の規定による手続を経て、これを変更しなければならない。

昭和二十四年五月十日

五月十一日

衆議院通過
五月七日
住民投票



河岸緑地（大手町）



成長した街路樹（富士見町）



苗圃基町分場

都市計画

戦災後約10年を経過したこんにち広島市は廃墟の中から急速に復興している。もちろん復興計画の完成までにはなお相当の期間を必要とするのであるが、都市計画の一応の基礎は完成し市街の外観は素晴らしい復興振りである。

現在実施されている都市計画事業は、大正8年公布された都市計画法の第1条に規定された都市計画の外に、世界平和の理想を古今未曾有の原爆の投下によつて一瞬にして壊滅した広島に象徴しようとする市民の熱烈な要望に応じて昭和24年8月6日に公布された「広島平和記念都市建設法」に基づいて、恒久の平和を記念すべき施設及びその他平和記念都市としてふさわしい文化的施設の建設をするためのものである。

本市としてはこの平和記念都市の建設にあつては、同法の公布後間もなく建設省内に設置された平和文化都市建設協議会の第1回協議会において審議された総合的全体事業計画（別表）によつて事業の施行にとりかかつたが、何分にも事業費総額は約276億円という巨額に達し、しかもその大半を国に依存しなければならない状態にあるので、全体計画の基本的事項をくずすことなく特に緊急を要するものをぬきだし、いわゆる平和記念都市建設事業5カ年計画（事業費総額約29億円）（別表）をたて、現在はこの計画によつて事業の促進に全力を傾注している。

（註 この5カ年事業計画は事業の進展に伴つてその都度若干の追加変更があつた。）

なお、本5カ年計画の最終年度にあたる本年は約3億4千万円の経費をもつて事業が施行された。従つて結局この5カ年間に施行した総事業費は約7億6千万円で計画に対しその進捗率は約61%に止まつた。

平和記念都市建設の主要構想

昭和21年から着手している焼失中心市街地の復興土地区画整理を根幹とし、広島平和記念都市建設法第2条に基づいて一般都市計画施設の外、恒久の平和を記念すべき施設その他平和記念都市としてふさわしい文化的施設等を含め、現在までに樹立した主要構想は次のとおりである。

1 原爆々心地に近く、本市の中心部に位する中島地区約3万7千坪を平和記念公園として計画し、同公園を平和記念施設として指定し、平和記念館及び慰霊碑を設ける。

2 広島城跡を含む基町地区約7万8千坪を中央公園とし、レクリエーション並びに文化施設を配置する。

3 市内中央部を東西に横断する幅員100米の大道路を計画し、交通幹線としてその機能を発揮させる外、市内を貫流する各河川と相まつて、防火的機能を具備させ、また、観光・市民のレクリエーションにも役立つさせる。

4 市内を貫流する各河川には、それぞれ河川美を生かし、保健衛生の見地から面積約6万5千坪の河岸緑地を計画し、更に山地部緑地6カ所14万坪を考慮した。

5 幹線街路網は、中国地方の中核都市としての将来の交通量等を勘案して、27路線延長9万5千米（主として幅員20～40米）の幹線街路を配置し、これに関係する橋梁43橋

（うち新設、かけかえ27橋）はすべて永久橋とする。

6 周辺の山地部に近代的墓苑2カ所面積約6万坪を計画し市内に散在する墓地をできるだけ整理してこれに移転させる。

7 大公園（記念公園を含む）7カ所、面積約50万坪及び小公園84カ所約20万坪の公園を配し、公園系統を樹立して市民生活に寄与させる。この公園面積は河岸緑地を含めると、本市の平地部利用面積に対して約7%都市計画人口40万人に対して1人当り約1.9坪に当るものである。

8 市内の大部分が満潮時には水面以下になる関係上、下水道の整備は緊急を要するので、中心市街地排水面積約350万坪に対して下水道計画を実施し、周辺部地区には排水路10路線、附設排水ポンプ場6カ所の施設整備を実施する。

9 用途地域を指定して土地の合理的統制を図り、また防火対策として防火地域を指定し耐火構造建築の促進を図る。

10 市街地を水害から守るため、また、河岸及び港湾の安全利用を図るため、既定計画である太田川放水路の促進完成を図るとともに広島港の修築を行う。

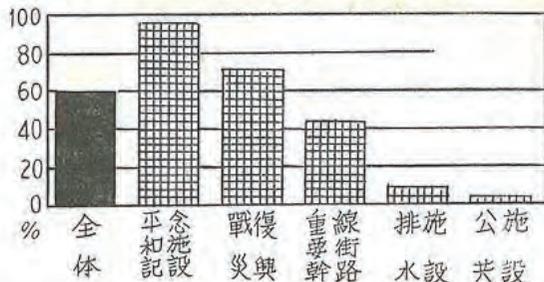
平和記念都市建設事業全体計画

事業区分	総額	昭和21年度 ～昭和29年度		進捗率	残額
		千円	%		
総額	28,439,764	6,289,330	22.1	22,150,434	
戦災復興	5,329,189	1,465,058	27.4	3,864,131	
平和記念施設	713,410	530,908	74.4	182,502	
排水施設	475,330	105,755	22.2	369,575	
幹線街路	8,075,451	518,053	6.4	7,557,398	
都市公共施設	930,350	3,315	3.5	927,035	
小計	15,523,730	2,623,089	16.9	12,900,641	
文教施設	1,877,420	991,302	52.8	886,118	
住宅施設	1,722,542	1,000,534	58.0	722,008	
観光施設	453,900	40,415	8.9	413,485	
厚生施設	786,188	376,958	47.9	409,230	
小計	4,840,050	2,409,209	49.8	2,430,841	
河川改修	2,205,994	970,246	43.9	1,235,748	
港湾修築	5,869,990	286,786	4.8	5,583,204	
小計	8,075,984	1,257,032	15.6	6,818,952	

資料—建設局総務課（以下各表とも同じ）

備考 本計画は昭和24年10月第1回平和文化都市建設協議会に提出した（総額は昭和21年～24年度施行済額を加えた）ものである。

平和記念都市建設5カ年計画進捗率



平和記念都市建設5カ年計画

事業区分	5カ年計画	実施額						進捗率
		合計	昭和25年度	昭和26年度	昭和27年度	昭和28年度	昭和29年度	
総額	2,886,800	1,761,090	350,000	347,900	350,000	372,897	340,293	67
戦災復興	1,685,700	1,237,140	248,880	248,600	264,000	275,384	200,276	73
平和記念施設	219,918	210,992	25,980	32,100	30,000	35,513	87,399	96
排水施設	270,020	26,110	5,070	6,440	6,000	5,000	3,600	10
重要幹線街路	646,582	283,408	70,070	60,760	50,000	55,000	47,578	44
公共施設	64,580	3,440	—	—	—	2,000	1,440	5
街路舗装	—	26,400	—	—	—	—	26,400	—

- 備考 1. 昭和25年度分には昭和24年度補正予算分(80,000千円)を含む。
 2. 本表は都市計画事業国庫補助を対象とした事業計画である。
 3. 街路舗装については、昭和29年度を起年度とする道路整備5カ年計画による。

事業の進捗状況

戦災復興事業

事業面積表

地区名	区	域	計画面積	昭和24年8月再検討による事業面積
総数			坪 4,000,000	坪 3,102,000
東部	元安川以東(但し中島町の一部を含む)		2,374,000	1,756,000
西部	元安川以西(〃 除く)		1,626,000	1,346,000

事業実施状況

事業区分	合計	昭和21年度	昭和25年度	昭和26年度	昭和27年度	昭和28年度	昭和29年度
		から	昭和24年度	千円	千円	千円	千円
総額	7,397,679	160,539	248,880	248,600	264,000	275,384	200,276
区画整理	732,446	105,907	94,053	120,600	150,000	155,000	106,886
街路	266,232	25,188	68,146	54,328	46,000	43,884	28,686
ガス	13,416	1,890	4,000	3,000	2,000	1,500	1,026
鉄軌道	45,050	3,920	7,980	5,600	2,000	10,000	15,550
公共宅地	30,801	3,754	7,681	6,000	5,000	5,000	3,366
河川水路	13,928	4,200	—	—	3,000	4,000	2,728
上水道	91,676	5,790	17,480	18,840	18,000	18,000	13,566
下水道	204,130	9,890	49,540	40,232	38,000	38,000	28,468

- 備考 1. 昭和25年度分には昭和24年度分の補正予算分を含む。
 2. ガス・鉄軌道には会社の負担金を含まない。
 3. 昭和29年度街路には緊急就労対策事業費3,116千円を含む。

(復興) 土地区画整理事業

区分	計画事業量	実施量			進捗率
		昭和28年度まで	昭和29年度	合計	
仮換地発表面積(坪)	3,102,000	3,212,000	—	3,212,000	%
確定測量(坪)	3,102,000	3,102,000	—	3,102,000	100
建物移転(坪)	16,500	10,857	1,311	12,168	74
使用開始面積(坪)	3,102,000	1,612,000	822,000	2,434,000	78

備考 仮換地発表面積が事業計画量を超えるのは発表後事業面積が縮小されたため本地区は引き続き実施する計画である。

幅員別街路延長

幅員	延長	幅員	延長	幅員	延長	幅員	延長	幅員	延長	幅員	延長
合計	237,673	50	426	30	14,725	22	1,475	77	894	6	660,476
100	3,110	40	8,969	27	3,523	20	5,189	10	39,581	4	6,436
80	233	36	4,535	25	4,919	15	21,234	8	62,548		

側溝築造

区 分	昭和28年度まで	昭和29年度	合 計
	米	米	米
総 数	798,290	26,730	224,420
幹 線 街 路	55,240	3,684	58,924
補 助 街 路	143,050	22,446	765,496

ガス及び鉄軌道事業

区 分	昭和28年度まで	昭和29年度	合 計
	米	米	米
ガ ス	32,132	1,840	33,972
軌 道(複線)	2,507	630	3,137

公共空地整備事業

区 分	昭和28年度まで	昭和29年度	合 計
	坪	坪	坪
児 童 公 園	(28カ所)35,800	(2カ所)7,770	(30カ所)43,570
三 滝 墓 苑	18,700	—	18,700
河 岸 緑 地	39,800	5,000	44,800

河川水路事業

実 施 地 区	昭和28年度まで	昭和29年度	合 計
	米	米	米
横 川・三 篠 町 地 区	1,889	309	2,798

備考 本事業は区画整理に伴う排水路の移設事業である。

上 下 水 道

区 分	昭和28年度まで	昭和29年度	合 計
	米	米	米
上 水 道	48,355	8,376	56,731
下 水 道	24,865	6,117	30,982

備考 本事業は、区画整理に伴う上下水道の移設工事であるが、上水道は第4期拡張工事と相まって、また、下水道は第1期下水道築造事業の一環として実施している。

記念施設事業

区 分	昭和28年度まで		昭和29年度		合 計	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
総 数	—	千円 123,592.5	—	千円 87,399	—	千円 210,997.5
記念館	陳列館	439坪 テラス 422坪	20,000	—	—	439坪 テラス 422坪 20,000
	本館	1,667.5坪 テラス 402.2坪	81,025	内装 59,069	—	1,667.5坪 テラス 402.2坪 140,094
記念碑	1基	3,000	—	—	1基	3,000
記念公園	18,390坪	19,567.5	16,000	28,330	34,390坪	47,897.5

備考 本事業には、上記の国庫補助対象工事以外に在広財界人の寄付による集会場(公会堂)の建設が加えられ昭和30年3月31日完成した。建築890坪(うち屋内646坪)階級3階(地下1階地上2階)延坪2,357坪(うち屋内2,049坪)収容人員2,000人、構造鉄筋コンクリート(一部鉄骨)総工費3億2千万円。

排水施設事業

区 分	昭和28年度まで		昭和29年度		合 計	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
ポンプ場	(1カ所は/部) 3カ所	千円 22,510	継 続	千円 3,600	(1カ所は/部) 3カ所	千円 26,170
排水路	610米	4,000	—	—	610米	4,000

備考 排水路工事は、昭和24年度の補正予算による幹線街路の附帯工事として実施したものである。

都市幹線街路事業

幹線街路事業費内訳

区 分	5カ年計画	実 施 額			進 捗 率
		昭和28年度まで	昭和29年度	合 計	
総 額	千円 646,582	千円 235,830	千円 47,578	千円 283,408	% 44
橋 梁	千円 324,580	千円 163,580	千円 44,000	千円 207,580	64
一 般 街 路	千円 175,622	千円 42,070	千円 3,578	千円 45,648	40
舗 装	千円 30,180	千円 30,180	—	千円 30,180	100
立 体 交 差	千円 116,200	—	—	—	—

備考 道路舗装は、昭和29年度以降ガソリン税を対象とする道路整備5カ年計画により施行中である。

橋 梁

名 称	昭和28年度まで		昭和29年度		合 計	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
総 額	米	千円	米	千円	米	千円
	—	163,580	—	44,000	—	(34,842) 207,580
新明治橋	95×7.5	28,780	—	—	95×7.5	28,780
昭和大橋	225.4×6.0	23,700	—	—	225.4×6.0	(8,155) 23,700
緑大橋	72.5×15.0	51,000	—	—	72.5×15.0	51,000
庚午橋	313.3×6.0	17,600	継 続	44,000	313.3×6.0	(26,687) 61,600
駅前橋	62.54×30	42,500	—	—	幅15米 完 成	42,500

備考 ()内は別途災害復旧費充当金額を示す。

舗 装

路 線 番 号	昭和28年度まで		(道路整備分) 昭和29年度		合 計	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
総 数	米	千円	米	千円	米	千円
	—	30,180	9×873	10,437	—	10,437
広 路 1	—	—	9×488	6,000	—	6,000
1. 1. 1	—	—	9×385	4,437	—	4,437
1. 1. 2	1,350×5.5	3,800	—	—	—	—
1. 1. 3	1,070×6.0	4,886	—	—	—	—
1. 1. 5	1,668×5.25	9,000	—	—	—	—
1. 2. 1	1,050×6.0	4,200	—	—	—	—
1. 2. 4	1,205×6.0	6,000	—	—	—	—
1. 2. 5	810×5.5	2,300	—	—	—	—

一 般 街 路 (区画整理区域外都計街路新設拡幅)

路 線 番 号	昭和28年度		昭和29年度		合 計	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
総 額	米	千円	米	千円	米	千円
	—	42,070	48×15	3,578	—	45,648
1. 1. 3	280×15	3,170	—	—	280×15	3,170
1. 2. 2	256×15	3,080	—	—	256×15	3,080
1. 2. 3	1,218×15	14,780	48×15	3,578	1,266×15	18,358
1. 3. 5	—	—	—	—	—	—
1. 3. 7	1,333×25	8,780	—	—	1,333×25	8,780
(Ⅱ) 1	559×6	3,700	—	—	559×6	3,700
(Ⅱ) 2	1,031×6	8,560	—	—	1,031×6	8,560

備考 昭和29年度施行分は緊急就労対策事業によるものである。

都 市 公 共 施 設 事 業
公 園

名 称	昭和28年度まで		昭和29年度		合 計	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
総 数	坪	千円	坪	千円	坪	千円
	10,734	2,000	—	1,440	1,0734	3,440
尾長公園	1,482	600	—	—	1,482	600
草津公園	8,652	1,400	—	1,440	8,652	2,840

太田川改修事業

事 業 概 要

1. 位 置

山手川を幅280~400米開さくし、旧河口より約6.2軒(新河口より9.2軒)附近で、本川より分流させる。

2. こ う 水 処 理 計 画

計画こう水量は600m³/秒で、こう水を放水路分流点の水門により調節し4,000m³/秒を放水路より放流し、残余の2,000m³/秒を本川並びにその他の市内河川に分流させる。

なお、放水路開さくに伴つて福島川は埋立てる。

総 額	昭和7年度 ～20年度	昭和27年度 ～28年度	昭和29年度	昭和30年度以降
千円 8,476,903	千円 5,132	千円 1,209,271	千円 246,350	千円 7,016,150

(註) 本事業は、国営により昭和7年より15ヵ年継続事業として着工したが、戦争のため総延長9.2軒のうち36%に当る3.3軒(下流)が完成したのみで、それ以外は昭和18年より工事が中絶していたものである。

広島港改修事業

第1期修築事業概要

1 計画目標

取扱貨物量260万トン(年間) 乗降船客12,000人(1日)

工事の実施状況

区 分	昭和25年度まで	昭和29年度	合 計
物 揚 場 ^米	372	—	372
取 付 護 岸 ^米	51	—	51
浚 せ ^{立方米}	58,393	—	58,393
道 路 ^米	730	—	730
鉄 道 引 込 ^米	1,176	—	1,176
岸 壁(1万トン級) ^米	15.4	22	37.4
前 庭 舗 装 ^米	—	393	393
道 路 舗 装 ^米	—	743	743
埋 立 ^{平方米}	28,950	—	28,950
工 事 費 ^{千円}	194,100	49,800	243,900

第22編 観 光

光 臨 記 録



数十年振りに故郷を訪れたハワイ観光団 (朝日新聞社提供)

広島バス定期観光

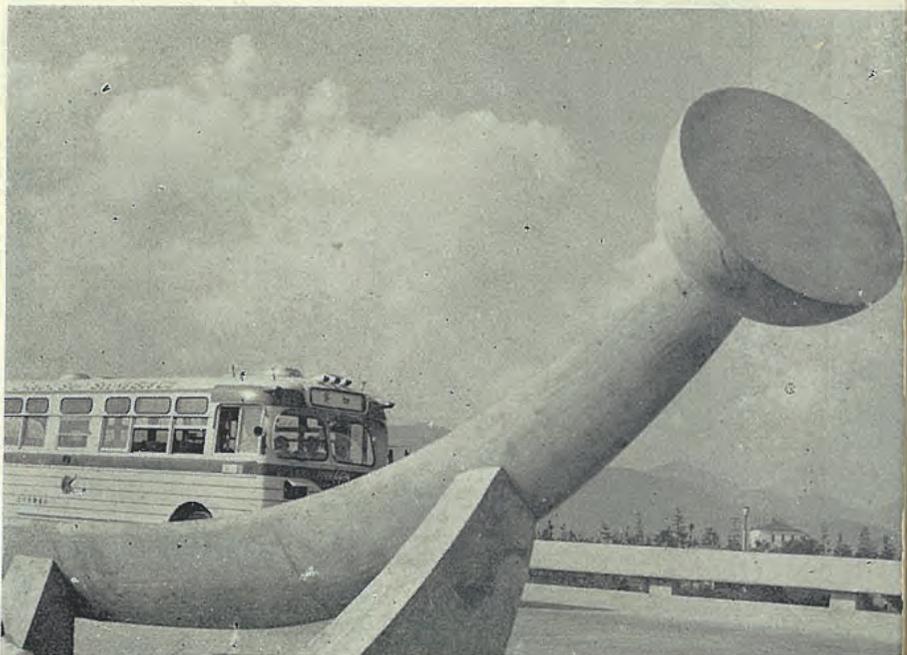


(朝日新聞社提供)

観光のヒロシマ



中国観光バス



電鉄観光バス



広島音頭

ピカで餅けよが 涙が降ろが
こころ広島 元気で伸びる
伸びるみどりの二葉山

ソウトモ ソウトモ ソヂヤナイカ
来い来い見に来い 寄つて来い
お城の鯉なら はねて来い

宇品朝霧 宮島夜霧
ぬれて広島 色ますものを
なぜにあなたは ひと夜ぎり

ソウトモ ソウトモ ソヂヤナイカ
来い来い見に来い 寄つて来い
お城の鯉なら はねてこい



広島よいとこ

- 一、春の堤は桜花
会うて別れる七筋が
シヤンシヤンシヤンときて太田川
こころ広島のお兄さんだよ
ヤットコドンときてドンと踊れ
- 二、たまに逢瀬はせかれても
相生橋ならまた会える
シヤンシヤンシヤンときて橋の上
粋なあのお娘のめぐりあいだよ
ヤットコドンときてドンと踊れ
- 三、出舟入舟泊り舟
あかぬ別れに夜があける
シヤンシヤンシヤンときて夜があける
瀬戸は音戸の煙雨だよ
ヤットコドンときてドンと踊れ
- 四、安芸は宮島厳島
鹿の鳴く音が気をさそう
シヤンシヤンシヤンときて気もそぞろ
ひいたみくじは大吉だよ
ヤットコドンときてドンと踊れ
- 五、夜は金座か新天地
踊るあの娘の流し眼に
シヤンシヤンシヤンときて気が踊る
あれは広島のお娘さんだよ
ヤットコドンときてドンと踊れ



花 火 (毎日新聞社提供)

市内観光地

◎旧産業奨励館



水都広島の名物として知られた相生橋畔にあり、世界最初の原子爆弾は本館の上空において炸裂した。被爆前までは商品の陳列、あるいは絵画の展示会などが催されて市民に親しまれてきたが、今は変り果てた姿を風雨にさらし、ただ原爆による代表的被害記念物として残されており、ここには日々多数の参観人が訪れている。

◎平和記念公園

旧中島町一帯は、平和記念公園（面積3万7千坪）として整備されていたが、こんにちそれはほぼ完成し園内には原爆死没者の慰霊碑並びに平和記念館、平和記念資料館などの平和記念施設が建てられている。



◎慰霊碑

この慰霊碑は、昭和20年原子爆弾によって悲壮な最期を遂げた人々の諸霊を永遠に祈念するために建立されたもので、その内部の石棺には昭和30年8月5日までに氏名の判明した59,028柱の原爆死没者名簿が納められている。そしてこの正面には「安らかに眠って下さい 過ちは繰返させぬから」の碑文が極めて印象的に刻まれ、連日多くの人々が詣でて敬けんな祈りを捧げている。



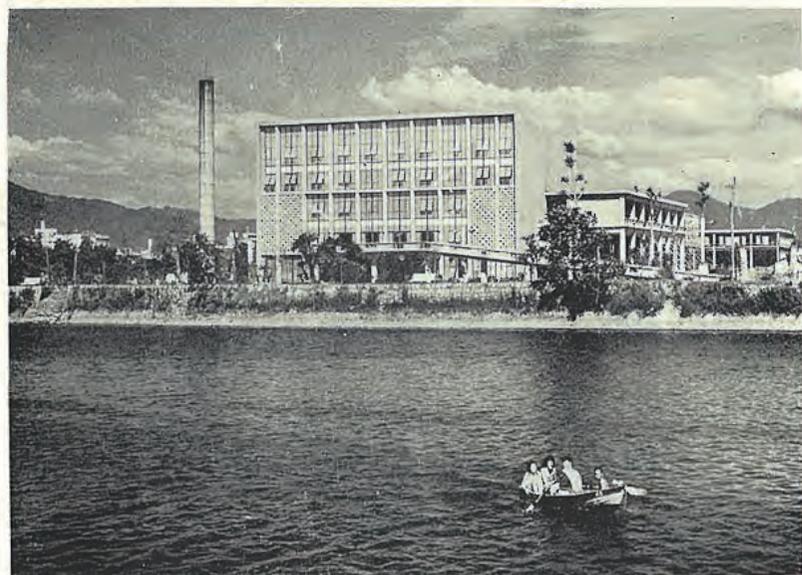
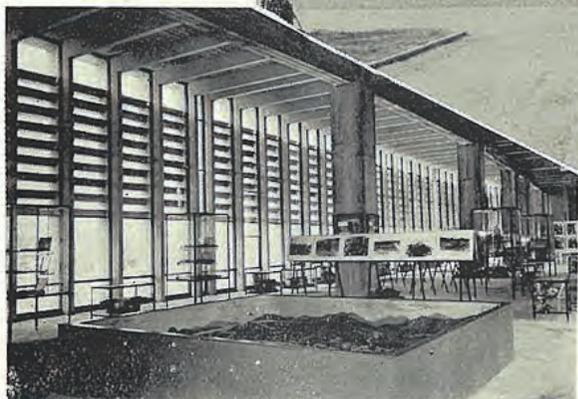
◎平和記念館

平和記念施設の一つとして建設されたもので、平和運動を推進する中枢機能としてふさわしい施設である。（この建物の西側には平和記念資料館並びに公会堂がある）



◎平和記念資料館

平和記念館の西側にあつて原爆被災に関する種々の資料を一堂に集めて一般の観覧に供している。



◎公会堂

◎似島

広島港より船で約30分、金波銀波の瀬戸内海国立公園内に浮ぶ市内南端の島でその山容美しく「安芸の小富士」の別称がある。現在戦災孤児を育成する似島学園があつて、孤児達がこの健康的な環境で明朗に育っている。



◎不動院

市の北端牛田町の清流太田川に臨む閑静な環境にあり、天正2年僧行基の開基と伝えられ、豊臣時代安国寺恵瓊が豊太閤に請うて再建し不動院と称した。金堂は室町時代禅宗建築の傑作の一つに数えられ、木造薬師如来は藤原時代の典型的な作品であり、ぼん鐘とともに国宝である。



◎東照宮

二葉の里にあり、正保3年藩主浅野光晃の創建にかけり、徳川家康の霊がまつつてある。



◎三滝観音道場

三滝町の山林中にあり、1千年の昔弘法大師唐国より帰朝の途次この地に立ち寄り、「聖観音菩薩」の種字を天然石に彫刻し巖くつに安置した。以来その靈験のあらたかなこと四季山水の風致雅趣の深さにより、一般信徒のつえひく者が絶えない。



◎向宇品

瀬戸内海国立公園内にあり、植物学上貴重な資料を多く蔵し、山頂からは紺青の湾内に点在する風光明媚な島々や躍動する広島港を一望のうちに羨望することができる。また、夏には海水浴場が開設せられ、市民の身近



ないこの場所としても親しまれている。

◎千田廟と千田男爵銅像

宇品港は、明治17年時の県令千田貞暁によつて起工せられ、工費30余万円5年余の歳月を経て完成し日清戦争を始め数次の戦役事変には陸軍輸送基地として、国運の進長に大いに寄与してきた。市民は千田県令の偉大な業績をしのび、大正4年宇品町御幸通り北端に、高く広島湾をながめる銅像を建立し、後に千田廟をまつり毎年4月盛大に千田祭を執行している。



◎広島城跡

広島城は西国の雄毛利輝元が、京都聚楽第を模してこの地に天正19年2ヵ年の歳月を費して築造したもので鯉城、在間城、当磨城、石黒城等の別称があつた。明治27年日清戦争の時大本營が城内に設置され、続いて師団司令部が置かれていたが、五層の天主閣



をはじめすべての建物は原爆により全壊焼失して今では雑草がおい繁りただ礎と築石が昔をしのばせている。

◎比治山公園

市の東部にあり、山容が虎のふした形に似ているので臥虎山の別称がある。面積16町余四季のながめを楽しめる丘陵公園であり、山頂より南面すれば広島湾の風光を、西面すれば市街の8割を展望できる絶好の場所で市民散策の好適地である。西側山腹には山陽文徳殿、頼家の墓及び多聞院があり、南側山頂にはA.B.C.C（原爆傷害調査委員会）がある。



◎山陽文徳殿

比治山公園の山腹にあり、漢学者頼山陽の百年祭を記念するために昭和9年10月15日、本市が創建したものである。

◎頼家の墓

頼家一門の墓は多聞院附近にある。頼山陽の父春水・長男頼庵・叔父杏平等朱子学学者として藩主に仕えた人々および母梅寔等20教基にのぼるが津山陽・三樹三郎の墓はここにはない。



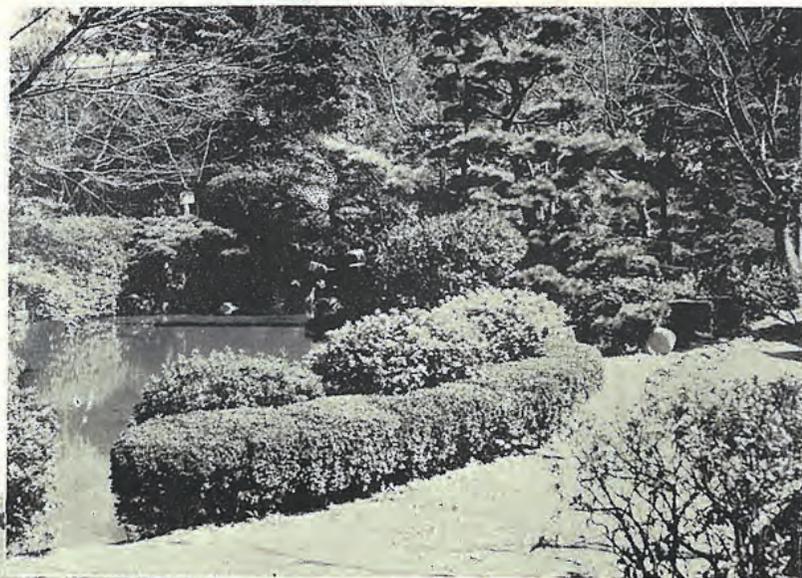
◎縮景園

上流川町にあり、旧藩主浅野家の別邸で「泉邸」として広く親しまれている。元和6年浅野長晃が起工し後累代の藩主が規模を広め補修した。浅野重晟の時、園地を中華民国の杭州西湖の景に模して面目を更新した。境域4町余坪あり、奇石珍木の配置は巧妙を極め、ちまたの雑念を一時忘却しきながら幽雅に遊ぶ感があり、行楽の人々にぎわっている。



◎広島遊園地

仁保町本浦の山腹にあり、春は桜とつつじ、秋は紅葉の名所として遊ぶ人が多い。



◎長寿園

市の北端、太田川の清流に沿う約300米の堤で桜樹多く、花見の名所として有名である。

◎平和大橋

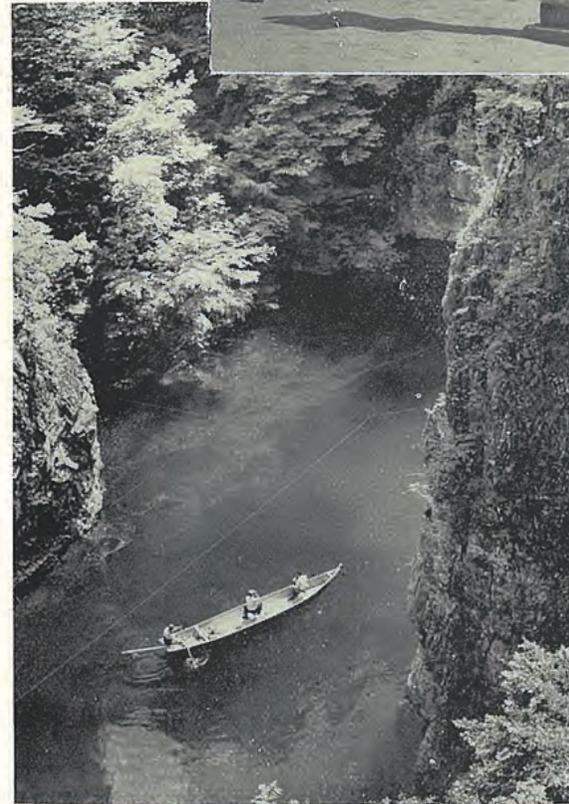
平和大通（百米道路）が貫く中島の平和記念公園の東側、元安川にかかる平和大橋と、西側の本川にかかる西平和大橋の欄干はともにイサム・野口氏の設計によるものでその新たなる感覚によるデザインは盛上がりつつある平和都市にふさわしい逸作である。



近郊主要観光地

◎宮島

神の島、詩の島としての宮島は日本三景の一つとして余りにも有名である。青い海に浮ぶ朱の鳥居は宮島の象徴であり平家一門の守護神をまつる厳島神社の朱塗りの回廊、自然美と人工美の混然調和した色調美は一幅の絵であり、詩でも



る。広島から郊外電車40分で宮島口着、更に連絡船10分余りで宮島棧橋に着く。

◎三段峽

広島市の西北、太田川の上流山県郡戸河内町から八幡村にまたがるえんえん16キロにわたり、わが国ではまれな火成岩の景勝けい谷である。広島からバスで3時間



◎野呂山

海拔800米、絶好の瀬戸内海展望の秀嶺で伊予灘を望見しつつ遠く四国の連山をおさめた景観は内海随一である。広島から国鉄呉線、川尻駅下車 / 時間30分

◎冠高原

広島市の近郊にある標高800mの準高台性の山々につらなる南面のよう美しい草原である。交通の便に恵まれ、近くには温泉郷もあり、春のわらび、秋の紅葉狩、冬は日帰りのスキー場として親しまれている。



第23編 附 録

市役所関係施設

名 称	所在地	電 話	名 称	所在地	電 話
市 役 所	国泰寺町	④ { 010/ 1112	(厚生局関係)		
東京事務所	千代田区日比谷公園市政会館内	東京/201~ ⑤ 1205	東公益質屋	稲荷町	—
競輪競馬事務局	宇品町	④ 4530	西公益質屋	天満町	—
社会保険 広島市民病院	基 町	② 2291	東 隣 保 館	尾長町	④ 1036
平和記念施設 管理事務所	平和記念公園内	③ 5246	西 隣 保 館	福島町	③ 1472
広島平和記念館	〃	③ 5246	東隣保館保育園	尾長町	④ 1036
広島市公会堂	〃	③ 4614	西隣保館保育園	福島町	③ 1472
広島平和 記念資料館	〃	③ 5246	青 崎 保 育 園	仁保町字洋	(呼)④3802
(総務局関係)			仁 保 保 育 園	仁保町淵崎	(呼)④1831
牛 田 出張所	牛田町	② 3252	楠 那 保 育 園	仁保町楠那	(呼)④1618
尾 長 出張所	愛宕町	④ 3793	大 河 保 育 園	仁保町大河	(呼)④0332
青 崎 出張所	仁保町青崎	④ 3802	元宇品 保 育 園	元宇品町	(呼)④1910
段 原 出張所	段原大畑町	④ 4052	南観音 保 育 園	南観音町 2丁目	(呼)③0236
比治山 出張所	東雲町	④ 3792	基 町 保 育 園	基 町	(呼)③0277
仁 保 出張所	仁保町淵崎	④ 1831	己 斐 保 育 園	己斐上町	(呼)③2943
大 河 出張所	旭 町	④ 3794	草 津 保 育 園	草津東町	③ 5779
皆 実 出張所	皆実町3丁目	④ 3801	江 波 保 育 園	江波南町	(呼)③4474
宇 品 出張所	宇品町	④ 5896	神 崎 保 育 園	河原町	(呼)③2400
似 島 出張所	似島町	似島 26	竹 屋 保 育 園	竹屋町	(呼)④5536
基 町 出張所	八丁堀	② 2750	古 田 保 育 園	古田町高須	(呼)③3501
十日市 出張所	覆 町	③ 2218	三 篠 保 育 園	楠木町3丁目	(呼)③1219
舟 入 出張所	江波町	③ 1621	こぼと 保 育 園	宇品町/3丁目	④ 6308
観 音 出張所	観音本町	③ 1936	庚 午 保 育 園	庚午北町 1/2丁目	—
己 斐 出張所	己斐町	③ 2327	わかくさ 保 育 園	若草町	—
三 篠 出張所	打越町	③ 2553	南三篠 保 育 園	南三篠町	④ 0220
草 津 出張所	草津東町	③ 4524	千 田 保 育 園	千田町2丁目	④ 3921
戸 坂 出張所	戸坂町	② 0016	戸 坂 保 育 園	戸坂町	—
			みゆき 保 育 園	草津浜町	—

保 養 院	宇品町3丁目	④	1345	(水道局関係)	基 町	②	{ 2201~ 2205
喜 生 園	佐伯郡観音村	(呼)五日市	21	水道局 (総務・会計・ 施設・給水課)			
産 院	宇品町3丁目	④	1345	牛田浄水場 (浄水課)	牛田町	③	0072
乳 児 院	〃	④	1345	水道局市役所 受 付	国泰寺町	①	{ 0101/ 1112
東 診 療 所	尾長町	④	1036	原 取 水 場	安佐郡 祇園町原	②	0689
西 診 療 所	福島町	③	1472	拡張事務所	牛田町(浄水 場内)	②	0334
母 子 寮	基 町	③	0277	宇品港湾事務所	宇品町	④	1098
身体障害者 授産場	江波町		—	己斐調整場	己斐町	③	0253
戦災児育成所	佐伯郡 五日市町	五日市	64	比治山調整場	比治山町	④	5888
福祉事務所	国泰寺町	④	{ 0101/ 1112	元宇品調整場	元宇品町	④	3018
向 西 館	中広町	③	0749	向洋加圧 ポンプ所	安芸郡府中町	④	3308
と 畜 場	福島町	③	1452	大河加圧 ポンプ所	仁保町大河		—
東 保 健 所	富士見町	④	1151	(消防局関係)			
優生保護相談所	〃	④	1151	消 防 局	大手町8丁目	③	{ 4211~ 4213
性病診療所	〃	④	1151	東 消 防 署	段原大畑町	①	{ 5181/ 5182
身体不自由児 療育相談所	〃	④	1151	西 消 防 署	大手町8丁目	③	0269
西 保 健 所	東観音町	③	5746	(選挙管理委員 会関係)			
舟入病院	舟入幸町	③	{ 0170/ 0171	選挙管理委員会 事務局	国泰寺町	④	{ 0101/ 1112
中央診療所	〃	③	{ 0170/ 0171	(教育委員会関 係)			
(産業局関係)				教育委員会事務 局	国泰寺町	④	{ 0101/ 1112
中央卸売市場	水主町	③	2041	浅野図書館	〃	④	5542
工芸指導所	東雲町	④	0527	中央公民館	基 町	④	2552
商工相談所	国泰寺町	④	{ 0101/ 1112	児童図書館	〃		—
観光案内所	松原町(広島 百貨店内)	④	1877	児童文化会館	〃	③	3425
園芸指導所	庚午北町		—	頼山陽文徳殿	比治山公園内		—
定期家畜市場	福島町	③	2717	(監査委員関係)			
(建設局関係)				監 査 事 務 局	国泰寺町	④	{ 0101/ 1112
港湾事務所 (市営棧橋)	宇品町	④	1098	(市議会関係)			
広島海員会館	〃	④	4908	市議会事務局	国泰寺町	④	1656
東部復興事務所	基 町	③	1506				

備考 電話欄の②=中局、③=西局、④=南局を示す。

主 要 官 公 署

名 称	所 在 地	名 称	所 在 地
(広島県庁関係)		(総理府関係)	
広 島 県 庁	霞 町	人事院広島地方事務所	基 町
県 議 会 事 務 局	〃	広島管区監察局	〃
県教育委員会事務局	〃	中国管区警察局	霞 町
県選挙管理委員会事務局	〃	(裁判所関係)	
県人事委員会事務局	〃	広島高等裁判所	基 町
県農業会議事務局	〃	広島地方裁判所	〃
県監査委員事務局	〃	広島家庭裁判所	〃
広島県地方 労働委員会事務局	〃	広島簡易裁判所	〃
安芸海区漁業調整 委員会事務局	宇品町	(法務省関係)	
県 税 事 務 所	霞 町	広島高等検察庁	基 町
広島県衛生研究所	宝 町	広島地方検察庁	〃
広島県食品工業試験場	比治山本町	広島地方区検察庁	〃
広島県水産試験場	草津南町	広島法務局	〃
広島第一総合 公共職業補導所	基 町	中国公安調査局	上流川町
広島第二公共職業補導所	霞 町	下関入国管理事務所 広島港出張所	宇品町
広島身体障害者 公共職業補導所	宇品町8丁目	広島矯正保護管区本部	吉島町
広島中央児童相談所	基 町	広島少年鑑別所	宇品町
広島県教育研究所	雑魚場町	広島保護観察所	〃
広島耕地出張所	尾長町	広島拘留所	基 町
広島土木出張所	基 町	広島刑務所	吉島町
広島復興事務所	〃	(厚生省関係)	
広島港事務所	宇品町	中国医務出張所	宇品町
広島県警察本部	霞 町	中国地区麻薬 取締官事務所	霞 町
広島県警察学校	〃	中部復員連絡局広島支部	仁保町
広島県消防学校	〃	広島検疫所	宇品町
広島東警察署	稲荷町	広島社会保険出張所	鷹匠町
広島西警察署	大手町/丁目	(農林省関係)	
宇 品 警 察 署	宇品町	広島食糧事務所	東蟹屋町

広島食糧事務所 広島出張所	水主町
内海区水産研究所	宇品町
広島営林署	基町
広島統計調査事務所	皆実町
広島統計調査事務所 広島出張所	水主町
神戸植物防疫所広島支所	宇品町
(労働省関係)	
広島労働基準局	霞町
広島労働基準監督署	基町
広島公共職業安定所	〃
広島総合職業補導所	南観音町
広島婦人少年室	霞町
(建設省関係)	
中国四国地方建設局	霞町
広島国道工事事務所	仁保町
太田川工事事務所	基町
広島営繕工事事務所	霞町
(文部省関係)	
教育施設部 広島工事事務所	千田町
(大蔵省関係)	
中国財務局	霞町
広島国税局	〃
国税庁広島監察官室	〃
国税庁広島監督官室	〃
税務講習所広島支所	〃
広島東税務署	大手町
広島西税務署	水主町
広島税関支署	宇品町
(通商産業省関係)	
広島通商産業局	基町
広島鉱山保安監督部	〃

広島工芸品検査所 広島支部	基町
地質調査所広島駐在所	〃
工業技術院電気試験所 広島支所	三篠本町
(運輸省関係)	
中国海運局	宇品町
第六管区海上保安本部	〃
広島海上保安部	〃
広島港工事事務所	〃
広島陸運局	二葉の里
広島陸運事務所	〃
広島地方気象台	江波町
(日本国有鉄道関係)	
広島鉄道管理局	二葉の里
中国地方自動車事務所	〃
広島地方資材部	〃
広島駅	松原町
横川駅	横川町
己斐駅	己斐町
宇品駅	宇品町
(郵政省関係)	
広島郵政局	基町
広島郵政監察局	〃
中国電波管理局	宇品町
広島郵政研修所	〃
広島地方貯金局	千田町
(日本専売公社関係)	
広島地方局	皆実町
広島出張所	富士見町
(日本電信電話公社関係)	
中国電気通信局	基町
中国電気通信資材配給局	〃

広島電気通信部	東白鳥町	広島搬送通信部	比治山本町
広島電話局	下中町	広島無線通信部	基町
広島西電話局	北榎町	広島電信施設所	〃
広島南電話局	国泰寺町	広島統制電話中継所	比治山本町
広島電報局	基町	二葉無線中継所	二葉の里
広島駅前電報局	松原町	広島電気通信学園	宇品町
宇品電報局	宇品町		

主要商工業事業所

事業所名	所在地	事業内容
(商 業)		
株式会社ヒロスイ	草津南町	鮮魚
中国石油株式会社	舟入川口町	石油
株式会社福屋	八丁堀	百貨店
株式会社広島天満屋	鉄砲町	〃
広島マツダモーターズ株式会社	〃	自動三輪車
東芝商事株式会社広島支店	〃	電気器具
十和株式会社	京橋町	織維雑貨
株式会社広島ダイハツ商会	桐木町	自動三輪車
広島百貨株式会社	松原町	百貨店
広島いすゞ自動車株式会社	西蟹屋町	自動車
広島県織維製品商業協同組合	西魚屋町	織維製品
株式会社小田政商店	研屋町	〃
山陽モーターズ株式会社	千田町	自動車
広島日産自動車商会	三篠本町	〃
広島トヨタ自動車株式会社	広瀬北町	〃
日本食堂株式会社広島営業所	松原町	食堂
パ レ ス	三川町	キヤパレー
大和毛織株式会社	京橋町	織維製品

福助商事株式会社 中国支店
 森田ポンプ工業株式会社 広島出張所
 山陽木材防腐株式会社 広島出張所
 株式会社 セビロヤ洋服店
 カ サ プ ラ ン カ
 株式会社 管野商店
 広島駅弁当株式会社
 (工 業)
 西美電気工業株式会社
 藤野綿業株式会社
 中国火薬株式会社 広島工場
 株式会社 川田鉄工所
 株式会社 新興金属工業所
 蔵田金物株式会社 大洲工場
 大東ゴム工業株式会社
 中本印刷株式会社
 中国電力株式会社 大洲製作所
 野口ゴム工業株式会社
 株式会社 アミー製菓
 広島電球株式会社
 鈴木化学工業株式会社
 有限会社 ビガー本舗
 広島糧工株式会社
 松尾糧食工業株式会社
 株式会社 熊平製作所
 金輪船渠株式会社
 株式会社 宇品造船所
 株式会社 中国新聞社
 広島硝子工業株式会社
 中国塗料株式会社
 新興ゴム工業株式会社

大手町1丁目
 大手町8丁目
 舟入川口町
 堀川町
 下流川町
 吉島羽衣町
 松原町
 東蟹屋町
 〃
 仁保町堀越
 仁保町青崎
 大洲町
 〃
 〃
 〃
 〃
 段原日の出町
 旭町
 出汐町
 菅実町
 〃
 宇品町
 〃
 〃
 金輪島
 元宇品町
 上流川町
 南千田町
 吉島本町
 舟入川口町

織 維 製 品
 機 械 器 具
 防 腐 加 工 木 材
 洋 服
 キ ャ バ レ ー
 金 物
 駅 弁 当
 電 気 遮 断 器
 脱 脂 綿
 火 薬
 自 動 三 輪 車 部 品
 動 力 ポ ン プ
 建 物 金 具
 ゴ ム 製 品
 活 版 印 刷
 変 圧 器
 ゴ ム 靴
 乳 菓
 電 球
 グ ル タ ミ ン 酸 ソ ー ダ
 乳 菓 子
 乳 金 庫 船
 船
 〃
 新 種 開
 各 種 瓶 料
 塗 料
 ゴ ム 製 品

長谷川ゴム工業株式会社
 熊野製缶株式会社
 三宅製針株式会社
 広島サツシユ工業株式会社
 株式会社 津田式ポンプ製作所
 三菱造船株式会社 広島造船所
 興亜ゴム工業株式会社
 明星ゴム工業株式会社
 三次製紙株式会社
 日本針工業株式会社
 万国製針株式会社
 株式会社 ワ イ ズ
 住野工業株式会社
 株式会社 信義商会
 (そ の 他)
 瀬戸内海汽船株式会社
 広島港運株式会社
 広島県貨物自動車株式会社
 日本通運株式会社 広島支店
 山佐運輸株式会社
 広島電鉄株式会社
 広島バス株式会社
 株式会社 広島タクシー
 N・H・K(広島中央放送局)
 J・O・E・R(ラジオ中国)
 中国電力株式会社
 広島ガス株式会社

舟入川口町
 江波町
 上天満町
 中広町
 南観音町
 〃
 楠木町
 〃
 〃
 〃
 〃
 〃
 三篠本町
 打越町
 昭和町
 宇品町
 〃
 西蟹屋町
 〃
 三川町
 千田町
 大洲町
 上柳町
 上流川町
 上柳町
 小町
 基町

ゴ ム 製 品
 製 缶
 縫 針
 鋼 製 建 具
 ボ ン プ
 船 舶
 ゴ ム 製 品
 〃
 和 紙
 ミ シ ン 針
 縫 針
 乳 菓
 足 袋 こ は ぜ
 紙 製 コ ッ プ
 水 運
 貨 物 運 輸
 貨 物 運 送
 〃
 〃
 電 車 ・ バ ス
 バ ス
 タ ク シ ー
 ラ ジ オ 放 送
 ラ ジ オ 放 送
 電 気 供 給
 ガ ス

主要金融機関

名称	所在地	名称	所在地
(銀行)		広島県厚生信用組合	東魚屋町
日本銀行 広島支店	袋町	農林中央金庫 広島支所	尾道町
広島銀行 本店	紙屋町	商工組合中央金庫 広島支所	東魚屋町
伊予銀行 広島支店	平田屋町	国民金融公庫 広島支所	袋町
協和銀行 広島支店	袋町	広島県信用農業協同組合 連合会	大手町
三和銀行 広島支店	大手町	広島県信用漁業協同組合 連合会	宇品町
住友銀行 広島支店	紙屋町	広島県労働金庫	出汐町
第一銀行 広島支店	八丁堀	住宅金融公庫 広島支所	霞町
大和銀行 広島支店	立町	広島市西部農業協同組合	古田町
中国銀行 広島支店	鉄砲町	広島証券融資株式会社	山口町
東京銀行 広島支店	基町	(手形交換所)	
日本勧業銀行 広島支店	上流川町	広島手形交換所	大手町
日本興業銀行 広島支店	猿楽町	(保険)	
富士銀行 広島支店	胡町	第一生命保険 広島支社	基町
三井銀行 広島支店	革屋町	朝日生命保険 広島支社	〃
三菱銀行 広島支店	〃	第百生命保険 広島支社	〃
山口銀行 広島支店	平田屋町	平和生命保険 広島支社	〃
住友信託銀行 広島支店	紙屋町	三井生命保険 広島支社	〃
三菱信託銀行 広島支店	西魚屋町	住友生命保険 広島支社	紙屋町
安田信託銀行 広島支店	鉄砲町	大同生命保険 広島支社	紙屋町
広島相互銀行 本店	八丁堀	千代田生命保険 広島支社	大手町
西日本相互銀行 広島支店	革屋町	日本生命保険 広島支社	〃
呉相互銀行 広島支店	紙屋町	協栄生命保険 広島支社	鉄砲町
愛媛相互銀行 広島支店	胡町	太陽生命保険 広島支社	下流川町
福徳相互銀行 広島支店	基町	東邦生命保険 広島支社	西魚屋町
広島信用金庫	横川町	日産生命保険 広島支社	立町
平和信用金庫	堺町	安田生命保険 広島支社	革屋町
広島市農業協同組合	大手町	大和生命保険 広島支社	小町
広島市信用組合	西魚屋町	東京生命保険 広島支社	袋町

富国生命保険 広島支社	袋町	長尾証券株式会社	山口町
明治生命保険 広島外務部	〃	野島証券株式会社	山口町
大正海上火災保険 広島支店	八丁堀	日興証券株式会社	〃
東京海上火災保険 広島支店	袋町	山一証券株式会社	立町
住友海上火災保険 広島支店	紙屋町	野村証券株式会社	革屋町
千代田火災海上保険 広島支店	大手町	大和証券株式会社	西魚屋町
日産火災海上保険 広島支店	〃	日本勧業証券株式会社	上流川町
興亜火災海上保険 広島支店	〃	八幡証券株式会社	銀山町
共栄火災海上保険 広島支店	〃	丸広証券株式会社	〃
同和火災海上保険 広島支店	基町	大一証券株式会社	山口町
富士火災海上保険 広島支店	〃	興隆証券株式会社	下柳町
日本火災海上保険 広島支店	〃	ウツミ屋証券株式会社	上柳町
日動火災海上保険 広島支店	国泰寺町	御宝証券株式会社	銀山町
日新火災海上保険 広島支店	尾道町	大阪商事株式会社	〃
大東京火災海上保険 広島支店	立町	彌山証券株式会社	山口町
安田火災海上保険 広島支店	研屋町	丸二証券株式会社	銀山町
大成火災海上保険 広島出張所	猿楽町	安芸証券株式会社	〃
(証券)		広島証券株式会社	下柳町
広島証券株式会社	銀山町		

病院

経営主体	病院名	病床数	主要科目	所在地
法人立	広島赤十字病院	353	全科	千田町 / 丁目
県立	県立広島病院	3/3	〃	宇品町 / 4丁目
国立	国立広島病院	25/	結核	宇品町
社会保険 団体	非現業共済組合連合会 吉島病院	242	〃	吉島町官有地
市立	社会保険広島市民病院	208	全科	基町
国立	広島鉄道病院	193	〃	尾長町
〃	広島逓信病院	100	〃	基町

会社附属	三菱造船附属病院	9/	全科	南観音町
法人立	広島記念病院	8/	〃	油屋町
市立	舟入病院	78	内科(法定伝染病)	舟入幸町
法人立	同愛会病院	57	内科・小児科	水主町
個人立	高橋病院	55	内科・外科	下中町
県立	若草園	50	肢体不自由児施設	尾長町
個人立	島病院	45	外科	細工町
〃	土谷病院	42	外科・耳鼻科	大手町8丁目
市立	広島市保養院	4/	内科	宇品町
会社附属	中電病院	4/	全科	大手町7丁目
個人立	広島脳病院	4/	精神科	白島西中町
〃	杉本病院	4/	眼科	大手町7丁目
〃	沢崎病院	40	産婦人科	段原大畑町
〃	岡田病院	39	呼吸器科	元宇品町
〃	大内病院	33	外科	大手町7丁目
〃	植田病院	3/	産婦人科	立町
法人立	比治山病院	30	内科・小児科・精神科	東雲町
個人立	原田病院	29	外科	広瀬元町
〃	永田病院	27	内科・産婦人科	古田町古江
〃	岡本病院	26	外科	基町
〃	松田病院	26	精神科	翠町
法人立	愛人会病院	62	内科・小児科	大手町1丁目
個人立	更生堂病院	24	外科	織町
会社附属	日鋼病院	22	全科	仁保町
個人立	竹内病院	22	外科	宇品町
〃	水野病院	22	内科	研屋町
〃	回生病院	22	内科・外科	西観音町
法人立	更生病院	22	〃	草津町
個人立	武市病院	2/	外科	荒神町
〃	網本病院	2/	産婦人科	国泰寺町
〃	正岡病院	2/	〃	猫屋町

国立	日本専売公社広島病院	20	内科・外科	皆実町 / 丁目
市立	広島市立産院	20	産科	宇品町
個人立	平和病院	20	産婦人科・耳鼻科	猿楽町
〃	中村病院	20	内科・小児科	東観音町
〃	中山病院	20	内科・産婦人科	段原新町
〃	藤井病院	20	外科	塩屋町
〃	大下病院	20	〃	小網町
〃	吉崎病院	20	〃	段原大畑町
〃	秋山病院	20	産婦人科	横川町2丁目
〃	井植病院	20	〃	上流川町
〃	真田病院	20	〃	皆実町2丁目
〃	上田病院	20	〃	大手町 / 丁目
〃	荒木病院	20	外科	横川町
〃	坪井病院	20	皮膚科	上流川町
〃	林病院	20	耳鼻咽喉科	国泰寺町
〃	金田病院	20	胃腸科	鉄砲町

昭和30年/2月20日 印刷
昭和31年/月3日 発行

編集 広島市総務局総務課
発行所 広島市役所
広島市国泰寺町39番地
電話南④0101・1112
印刷所 広鉄印刷株式会社
広島市東蟹屋町117
電話南④8115
【非売品】

318.2/
30

広島市公文書館
昭和59年 月 日
21539-85
贈者 山木 茂

318-10

